

令和2年度
文部科学省委託調査

令和2年度「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」

効果的な入職の在り方に関する研究

（公立高等学校における多様な人材を獲得するための特別の選考等と入職後の指導力等との関連性を定量的に把握するための調査研究）

成果報告書

令和3年3月

株式会社浜銀総合研究所

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、株式会社浜銀総合研究所が実施した令和2年度「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続が必要です。

目次

第1章 調査概要	2
1. 調査の目的・実施方法.....	2
2. 調査結果の概要・まとめ.....	5
第2章 アンケート調査結果.....	8
1. 回答者の属性等	8
(1) 勤務経験年数等	8
(2) 学歴、卒業・修了した学部・学科	11
2. 取得免許、試験、志望理由等	12
(1) 取得・保有の免許状について	12
(2) 受験した採用試験について	14
(3) 志望理由・受験の際の課題認識等	17
3. 現在の指導等についての認識	22
(1) 教科指導等について.....	22
(2) 授業実践・生徒指導等について	25
(3) 自身の資質や他者との連携・協働等の状況について	28
(4) 満足度や課題認識等.....	31
第3章 ヒアリング調査結果（概要）	34
(1) 民間企業等での勤務経験を有する現職教員対象のヒアリング調査	34
(2) 教育委員会対象のヒアリング調査	38

参考資料.....	45
1. 調査票.....	46
2. 基礎集計表.....	56
(1) 回答者全体の集計表.....	56
(2) 民間企業等勤務経験の有無別の集計表.....	61
(3) 教員としての通算勤務年数が10年以下、民間企業等勤務経験の有無別の集計表.....	71

第 1 章

調査概要

第1章 調査概要

1. 調査の目的・実施方法

(1) 調査の背景・目的

近年、学校が抱える課題がより複雑・困難となっている一方、教員の大量退職に伴う大量採用が進行している中で、初任者であっても教員として高い実践的指導力が求められるとともに、優秀な人材の確保が課題となっている。特に、社会が急激に変化する中で、複雑化・多様化する教育課題に対応するためには、教師の資質能力について一層の高度化が図られる必要がある。

多様な人材・優秀な人材の確保のため、各都道府県教育委員会等では、受験年齢上限の撤廃や特別免許状の活用による特別の選考等の取組が行われている。特別の選考等については、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～（答申）（中教審第184号）」において「特別免許状授与の手続の改善を図る」ことや、「教員免許を有しない有為な外部人材を教員として確保するための方策」について検討が必要との方向性が示されており、制度の活用促進や外部人材等獲得のための仕組み構築推進の必要性が高まっている。

このように、多様な人材・優秀な人材確保のための制度・仕組みに関する検討等を進めることが求められているが、検討を効果的に進めるために必要となる、政策推進のための論拠となり得る客観的なデータは、これまで必ずしも十分に把握されてこなかった。

本調査研究は、高等学校段階に着目し、民間企業等での勤務経験をした上で入職した教員¹の実績（指導力の自己認識等）や、学校現場に及ぼし得る影響、入職後の状況における課題点等について調査・分析を行い、入職後の指導力等の現状を明らかにすることを目的として実施した。

(2) 調査の種類・概要

本調査研究は、北海道・埼玉県・和歌山県の各教育委員会に協力をいただき²、①公立高等学校現職教員対象のアンケート調査、②民間企業等での勤務経験を有する現職教員対象のヒアリング調査、③教育委員会対象のヒアリング調査、の3つの調査を実施した。

¹ 本調査研究の企画当初は、特別免許状の活用などの特別の選考等を経て入職した教員に着目する狙いがあったが、アンケート調査対象の抽出・選定や実施規模等との対応関係を踏まえ、特別免許状授与者を含む「民間企業等勤務経験者」に着目する形で調査・分析を行った。なお、本調査研究では、「民間企業社員・団体職員としての勤務経験」又は「公務員としての勤務経験」をもって「民間企業等勤務経験」を把握することとした。

² 地域性の違いや、近年の教員採用試験における応募者数・競争倍率の状況、特別選考の実施状況を踏まえ、個別に依頼を行い、協力を得た。調査実施に当たり多大な御協力を賜りましたこと、御礼申し上げます。

①公立高等学校現職教員対象のアンケート調査

北海道・埼玉県・和歌山県の公立高等学校から一定数の学校を抽出し³、その学校に在籍する現職教員の方々を対象に⁴アンケート調査を実施した。

アンケート調査は、ウェブ上に設定する回答フォームを通じて、令和2年12月の時期に回答していただいた。調査では、民間企業等での勤務経験の有無や教員としての勤務年数等の個人属性に関する情報のほか、入職の経路や、現在の指導等についての自信等について調査を行った。本調査研究では、特に「現在の指導等についての自信」に関する項目について、民間企業等での勤務経験の有無別に比較を行うことで、民間企業等での勤務経験を有する教員（以下、「民間企業等勤務経験者」という。）の入職後の指導力等の現状を明らかにすることを試みた。

アンケート調査項目の設定に当たっては、全国各都道府県における「教員育成指標」の内容を参照した。また、TALIS（OECD 国際教員指導環境調査）で尋ねられている項目も参照し、教員として求められる・期待される指導力の内容について検討し、アンケート調査で把握すべきと考えられた調査項目を設定した。

なお、今回の調査で把握される教員の指導力等については、入職時にもともと有していた資質・能力等によるものと、入職後の経験・研修等を経て効果的に高められたものと両方が組み合わさった結果であると考えられる。このことから、民間企業等勤務経験の有無別に指導力等の状況の比較を行う上では、厳密には、教員としての勤務年数等の条件を揃えて比較をすることが求められる。本調査研究では、「教員としての通算勤務年数が10年以下の方」に限っての比較分析を実施したが、アンケート調査対象の抽出・選定や実施規模等に関する制約から、より詳細な形で条件を揃えての比較分析を行うこと等は困難であった。

この点については調査研究上の課題があるが、上述のとおり、外部人材等獲得等を検討するための論拠となり得るデータはこれまで必ずしも十分に把握されてこなかったと考えられたことから、調査対象のサンプリングの方法も含め、厳密な形ではないものの、今後の議論に資するようなデータを示すことを試みた。

また、アンケート調査の自由記述で得られた回答や、「民間企業等勤務経験を有する現職教員対象のヒアリング調査」、「教育委員会対象のヒアリング調査」で得られた情報をあわせて提示することで、多角的な検討が可能になるように留意した。

³ 調査対象者となる本務教員数を約2,500人とし、概ね、抽出率が15%弱の水準になるように依頼する学校数を定め、調査対象校の抽出を行った（北海道27校、埼玉県20校、和歌山県5校に対し依頼を行った）。調査対象校は、依頼をした教育委員会との調整の上、無作為抽出・任意抽出のいずれかを選択して実施した。調査対象校へは、依頼状、調査回答のためのアンケートページのURL等を示した説明書、調査項目一覧の3種類の書類を、郵便又はメールにて送付した。対象校へのメールで送付は、各教育委員会より実施していただいた。

⁴ 本調査研究の企画当初は、入職後6年目までの教員を対象に調査をすることを想定していたが、アンケート調査対象の抽出・選定や実施規模等との対応関係を踏まえ、勤務年数や担当教科等の限定はせず、原則として採用選考試験を経て採用された教諭（本務者）全員を対象として調査の依頼を行った。

第1章

本報告書に掲載したアンケート調査の集計結果等に関しては、次のような点に留意されたい。

- 図表中に掲載している「n=〇〇」の表記は、当該設問の回答件数（集計対象件数）を意味する。
- 集計結果の割合（％）は、小数点第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。
- 設問には選択肢からひとつだけ回答するものと、選択肢から複数の項目を回答するものがあり、複数回答する場合の設問では、選択肢別の集計結果の割合合計が100%を超える場合がある。
- 報告書では、解釈をしやすいするため、一部回答結果の数値を足し合わせて掲載している。報告書巻末には、参考資料として、今回実施した質問紙調査の全調査項目と、集計区分別の集計結果（各選択肢に対する回答件数、割合）を掲載している。
- 民間企業等勤務経験の有無別の比較を行うに当たり、参考資料の集計表には χ^2 検定の結果を示し、数値の差異が統計的に有意なものと考えられるかについて検討できるようにしている。比較分析の際の報告書本文中のコメントは、参考資料に示した χ^2 検定の結果に基づいている（5%水準で有意であった結果について参照した）。

②民間企業等での勤務経験を有する現職教員対象のヒアリング調査

アンケート調査の対象とした学校の教員のうち、一部の方に協力をいただき、ヒアリング調査を実施した。ヒアリング調査では、アンケート調査でも把握を行った、指導に関する自信や課題認識等について尋ねたほか、民間企業等勤務経験後に教職を志望した理由や、入職の経緯・経路等について詳細を把握した。

本調査研究では、4名の方に協力をいただいた。調査は電話又はオンライン会議システムを活用して、令和2年12月と令和3年1月の時期に、対象一人につき30分～1時間程度の時間で実施をした。

本報告書ではA～Dの記号によってヒアリング対象者4名の回答を整理し、第3章に調査結果の概要を掲載した。ヒアリング調査により、4名の方から聞かれた中での共通点等について整理・把握することを試みた。

③教育委員会対象のヒアリング調査

北海道・埼玉県・和歌山県の各教育委員会に協力をいただき、採用・配置を行う側の視点から、「民間企業等勤務経験者の近年の応募状況等」、「民間企業等勤務経験者へ期待すること・求めるもの」、「ターゲットとしての広報等の工夫、採用試験制度上での工夫等」、「入職後の働きぶりや定着の状況についての認識、生徒（や保護者、他の教員、学校組織等）に及ぼしている良い影響等」、「配置・研修等に関し留意している点」、「入職を増やすための今後の展望や困難さについての認識」、「その他民間企業等勤務経験者の効果的な入職を検討する上で必要と考える点」等についてヒアリングを行った。

調査は電話又はオンライン会議システムを活用して、令和3年2月・3月の時期に、それぞれ1時間程度の時間で実施をした。

本報告書では、第3章に調査結果の概要を掲載した。それぞれの自治体の現状や、考え方の共通点・差異等を把握することを試みた。

2. 調査結果の概要・まとめ

(1) アンケート調査結果から把握されたこと

アンケート調査では、主に、民間企業等勤務経験の有無（民間企業社員・団体職員、公務員としての勤務経験の有無）により指導力等に差異がみられるかに関して分析を行った。その結果、民間企業等勤務経験者は、「教科横断的なスキルの指導（例：創造性、批判的思考力、問題解決能力）」、「生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする」、「キャリア教育の観点から生徒に指導・助言等をする」、「広い教養・常識を有している」などについて、「自信を持っている」、「できている」、「あてはまる」といった肯定的な回答割合が高いことが明らかになった。

「教員としての通算勤務年数が10年以下の方」に限った分析では、「教材の選定・作成をすること」、「生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする」、「キャリア教育の観点から生徒に指導・助言等をする」、「広い教養・常識を有している」について、同様に肯定的な回答割合が高くなっていた。

自由記述による回答で得られた情報も踏まえると、民間企業等勤務経験者は、キャリア教育等の観点からの進路指導が可能であることに加え、経験を交えての授業での説明・指導等ができること、社会のルール・社会人として求められる力等に関する指導ができることなどに関し、自信等を有しているのではないかと推察される。

このほか、今回の集計・分析からは、民間企業等勤務経験者のほうが統計的に有意にネガティブな結果になる調査項目はほとんどなかったが、自由記述の回答により、生徒への接し方や指導の方法など、課題と認識されている点に関しても情報を得ることができた。

なお、今回集計対象として着目した民間企業等勤務経験者について、約9割が「一般選考」での入職であった。大学等在学期間中には公立学校教員採用選考試験に関する準備等をしていなかった者が約5割であり、また、約3割は高等学校等卒業直後の大学等在学期間中以外のタイミングで普通免許状を取得している。教員を志望した理由として、「経験・技能等を活かせる」と回答する割合が約5割となっているが、様々な経緯で教員を志望し、入職している状況にあることがうかがえた。

(2) ヒアリング調査結果から把握されたこと

① 民間企業等での勤務経験を有する現職教員対象のヒアリング調査

現職教員を対象としたヒアリング調査からも、民間企業等での勤務を経てから教員として入職する際の経緯は多様であることがうかがえた。民間企業等での勤務経験が活かされたと思う場面については、直接的に教科の内容と仕事の上での経験・専門性が関連していたということのほか、授業等の場面で経験談を踏まえて話ができることなど、アンケート調査の自由記述の回答で得られた内容とも重なる話が聞かれた。

民間企業等勤務経験者の入職に関し今後の制度設計を検討することを踏まえたとき、業務量の軽減や働き方改革推進に関することのほか、採用選考試験の頻度を増やすこと、専門性等をより活かした配属をすること、段階的に仕事に慣れていくような仕組みを検討することなどが重要になるのではないかとこの指摘もあった。

②教育委員会対象のヒアリング調査

今回調査に協力いただいた北海道・埼玉県・和歌山県について、いずれも現時点で民間企業等勤務経験者を明確な採用のターゲットとしているわけではないことがうかがえたが、民間企業等勤務経験者に期待することとしては、「スペシャリスト」、「学校の教育力を高める存在として」、「学校の特色化・活性化を図る中でスキル・力を発揮する存在として」といったことや、「産業系の学科等での新たな技術の取得」、「進路指導での経験を活かした指導」、「海外での経験などによる効果」などが挙げられた。

入職後の配置・研修等の実態として、原則としては他の入職者と差異はないということではあったが、一部、専門性や経験を踏まえた配置や、特別免許状取得者に対する追加的な研修等は、実施されていることもあるということがうかがえた。

今後の制度設計を検討することを踏まえたとき、学校現場でのニーズをより明確にしてそれに合致した人材をターゲットとした募集・採用を行うといった考え方が必要であること、応募を増やすためには教員の仕事自体のネガティブなイメージを払拭していく必要があること、採用にあたり民間企業等からの「転職」ということに対するイメージの転換を図っていく必要があることなど、いくつかの観点から課題があるということもうかがえた。

(3) まとめ・今後の検討課題等

本調査研究では、公立高等学校の教員に関し、民間企業等勤務経験者の入職後の指導力等の現状を明らかにすることを目的とし、アンケート調査・ヒアリング調査を実施した。

アンケート調査については、調査対象のサンプリングの方法や実施規模、比較分析の方法等、十分ではないものの、一部の調査項目で、民間企業等勤務経験を有する者のほうが指導力等に関して肯定的な回答割合が高いといった結果が得られた。アンケートの自由記述により得られた情報や、ヒアリング調査により得られた情報も含め、多様な人材・優秀な人材確保のための制度・仕組みに関する検討等を進める上で、参考となる結果を示すことができたのではないかと考えられる。

一方で、仮に民間企業等勤務経験者に関して入職後数年で辞められてしまうという傾向がある場合、今回アンケートに回答いただいた方は「入職後定着がうまくできた先生」であったということにもなり、分析結果については様々な解釈がありうると考えられる。

既述のとおり、教員の指導力等については、入職時にもともと有していた資質・能力等によるものと、入職後の経験・研修等を経て効果的に高められたものと両方が組み合わさった結果であると考えられる。今後、本調査研究で得られた知見を踏まえつつ、教員の入職前の多様な経験の内容・経験年数や入職経路の違い、担当教科、教員としての勤務年数等の諸条件を考慮した上での比較分析が可能となるよう、より大規模かつ代表性のあるサンプルで調査を実施し、エビデンスを得ていくということも重要になると考えられる。

第2章

アンケート調査結果

第2章 アンケート調査結果

1. 回答者の属性等⁵

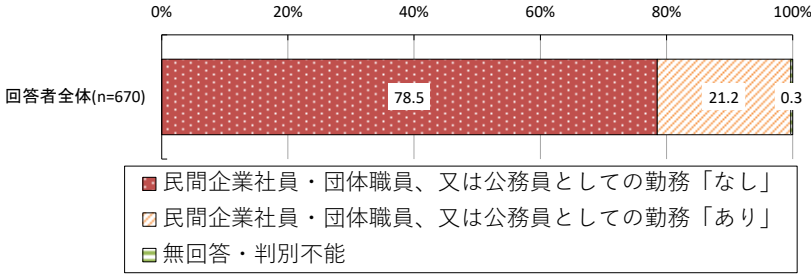
(1) 勤務経験年数等

① 民間企業等勤務経験の有無・勤務年数

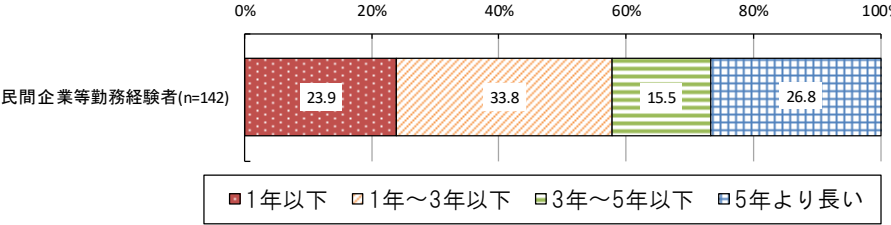
アンケート調査の有効回答件数は 670 件⁶であった。このうち、民間企業社員・団体職員、又は公務員としての勤務経験を有すると回答があったのは 21.2%であった。

民間企業社員・団体職員、又は公務員としての勤務年数としては、「3 年以下」に該当する者が約 6 割となっている。なお、民間企業等勤務経験者のうち、16.2%は公務員としての経験のみを有する者、83.8%は民間企業社員・団体職員としての経験を有する者であった⁷。

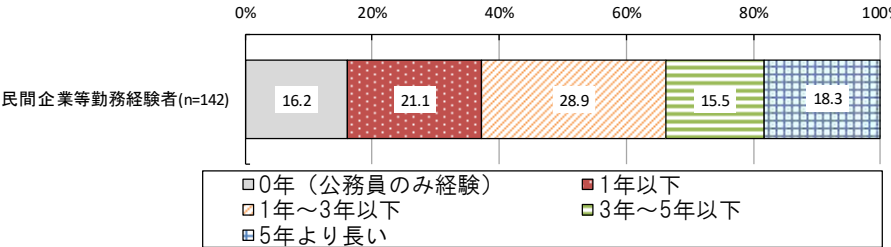
図表 2-1-1 回答者のうち民間企業等勤務経験（民間企業社員・団体職員としての勤務経験）の有無



図表 2-1-2 民間企業等勤務経験者の、民間社員・団体職員、又は公務員としての勤務年数



図表 2-1-3 民間企業等勤務経験者の、民間社員・団体職員としての勤務年数



⁵ 回答者の属性に関し、性別については民間企業等勤務経験の有無別に統計的に有意な差異はみられなかった。

⁶ 調査対象者となる本務教員数を約 2,500 人として抽出・依頼を行ったことから、おおよそ 3 割弱の回答率であったと想定される。なお、母集団で想定される割合に比して、回答者に占める民間企業等勤務経験者の割合が高いのではないかと推察される。これは、本調査の目的を認識の上、民間企業等勤務経験者がより多く回答したからではないかと考えられる。

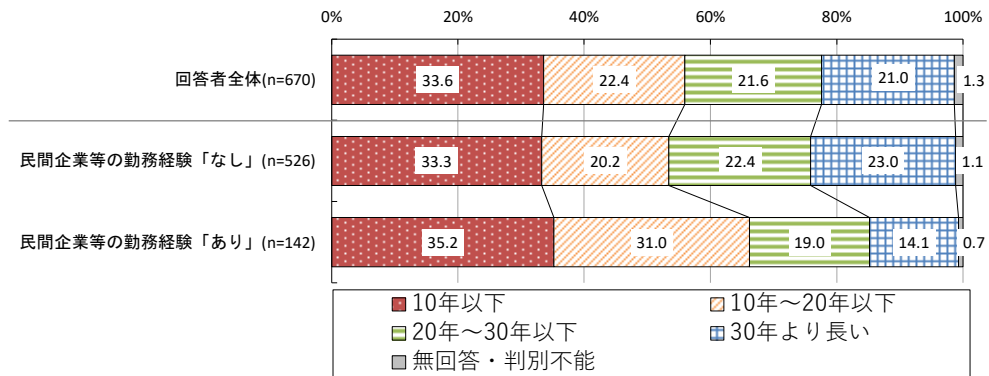
⁷ 一部、民間社員・団体社員としての経験と、公務員としての経験の両方を有する場合もある。

②教員としての勤務年数

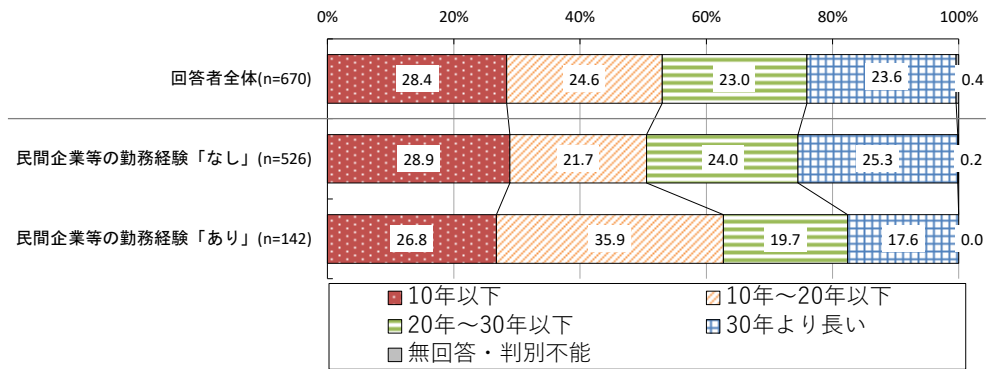
回答者の公立学校の教諭（本務者）としての通算勤務年数は、「30年より長い」者から、「10年以下」の者まで、ほぼ均等に分布しているが、「10年以下」に該当する者の割合が若干高くなっている。民間企業等勤務経験の有無別にみると、民間企業等勤務経験者の方が通算勤務年数は短い傾向にある。

講師や臨時的任用、私立学校での勤務経験を含んだ「教員としての勤務経験年数」でみた場合、民間企業等勤務経験者では「10年～20年以下」に該当する者の割合が高くなっている。

図表 2-1-4 公立学校の教諭（本務者）としての通算勤務年数



図表 2-1-5 講師や臨時的任用、私立学校での勤務経験を含む「教員としての勤務経験年数」

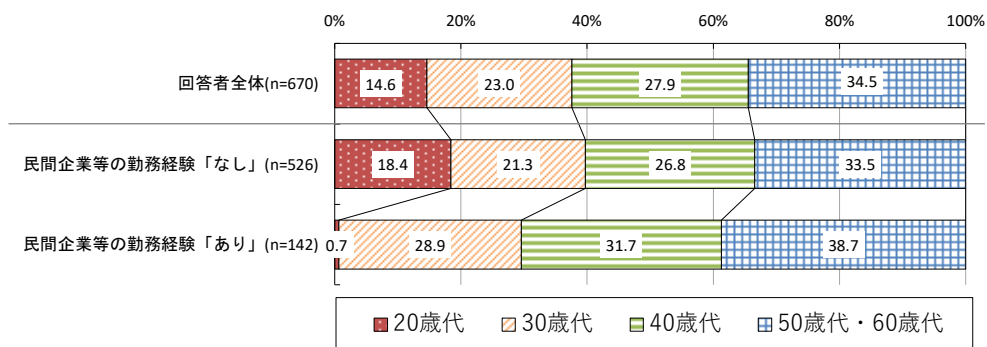


第2章1.

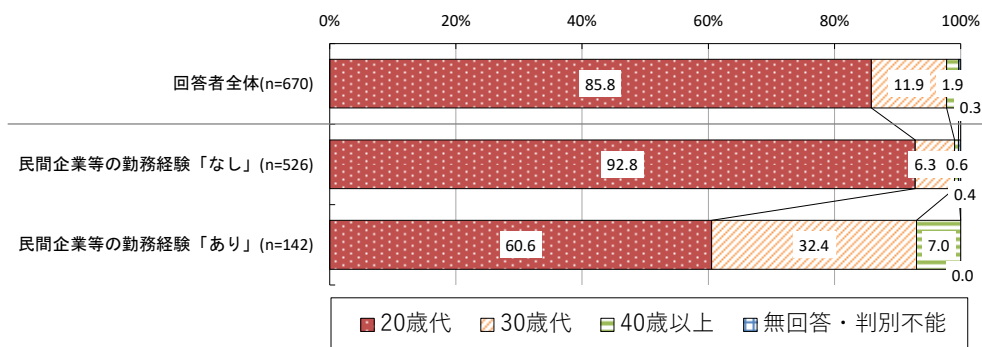
③年齢

回答者の現在の年齢について、民間企業等勤務経験者に関しては、「20歳代」の回答がほとんどみられなかった。
 「公立の高等学校の教諭（本務者）として最初に働き始めたときの年齢」は、民間企業等勤務経験者では「30歳代」や「40歳以上」の回答割合が比較的高く、約4割となっている。

図表 2-1-6 現在の年齢



図表 2-1-7 公立の高等学校の教諭（本務者）として最初に働き始めたときの年齢

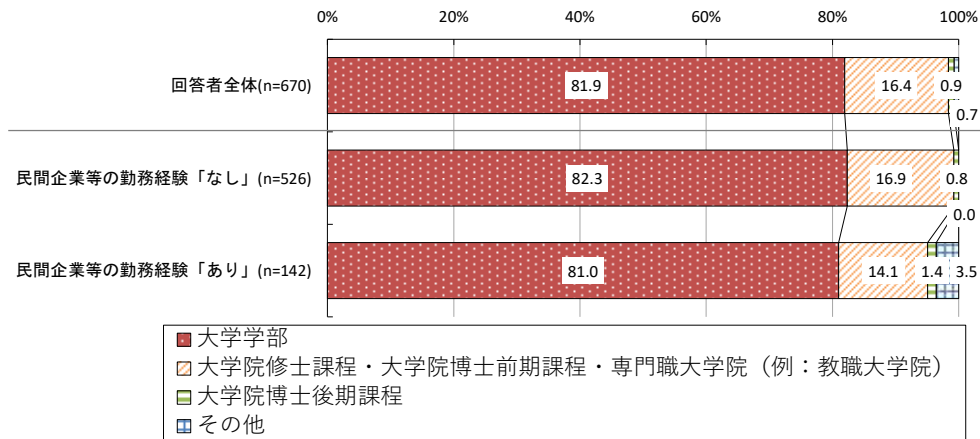


(2) 学歴、卒業・修了した学部・学科

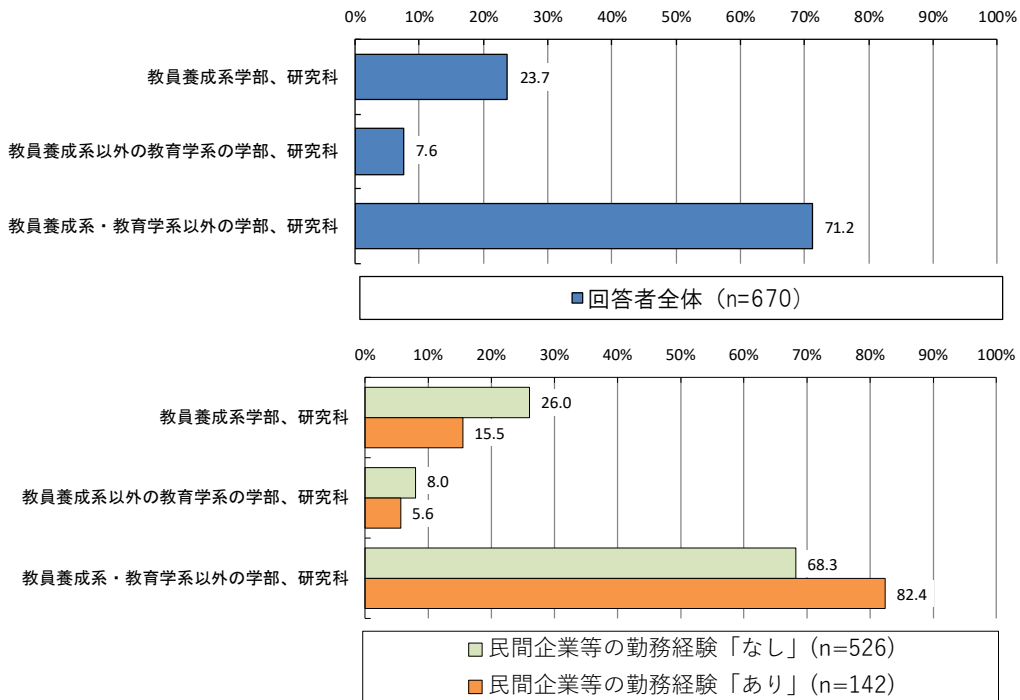
最終学歴については、民間企業等勤務経験者では「その他」の回答割合が若干高くなっている。なお、「その他」の回答内容としては、「大学院中退」、「専攻科修了」、「工業高校卒業」などの回答があった。

卒業・修了した大学等の学部・学科の種類については、回答者全体では「教員養成系・教育学系以外の学部、研究科」の割合が約7割であるが、民間企業等勤務経験者では約8割と比較的高くなっている。

図表 2-1-8 最終学歴



図表 2-1-9 卒業・修了した大学等の学部・学科（複数選択）



第2章2.

2. 取得免許、試験、志望理由等

(1) 取得・保有の免許状について

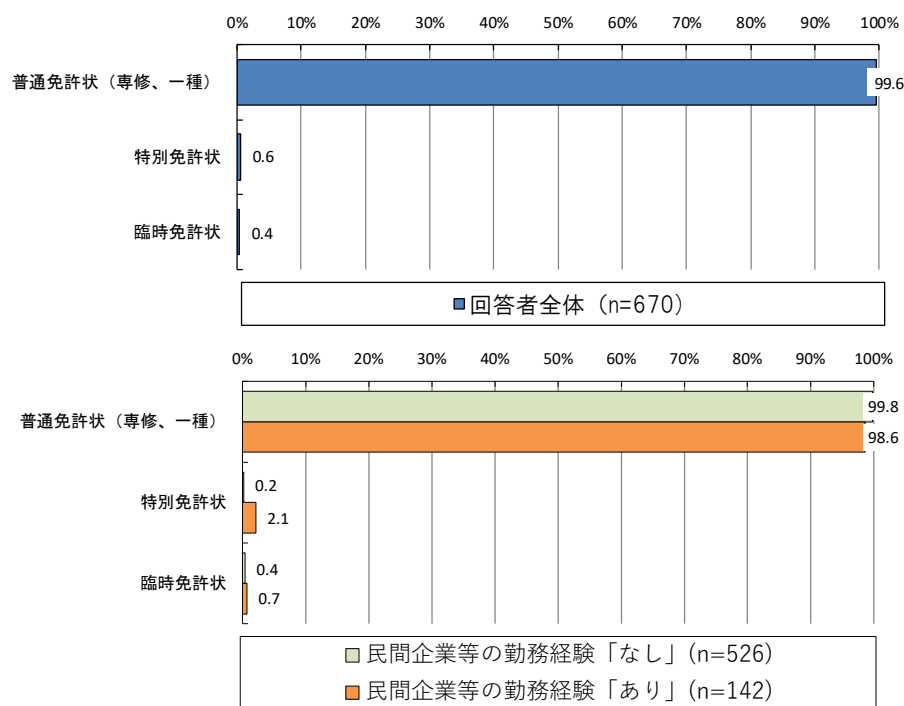
①教員免許状の種類、取得したタイミングや方法等

公立の高等学校教員採用選考試験を経て採用された際に取得していた（授与された）教員免許状の種類は、民間企業等での勤務経験がある者・ない者ともに、ほとんどが「普通免許状（専修、一種）」であった。

普通免許状を取得したタイミングや方法については、回答者全体では「高等学校等卒業直後の大学等在学中に取得」が約9割であるが、民間企業等勤務経験者では「大学等を卒業・修了後、大学等に再度入学し科目等履修生等として取得」、「大学等を卒業・修了後、大学等に再度入学し通信制課程で取得」、「その他」の割合が比較的高くなっている。なお、民間企業等勤務経験者での「その他」の回答内容としては、「勤務しながら大学等にも通学して取得」、「退職後大学等に入学して取得」、「認定試験で取得」などの回答があった。

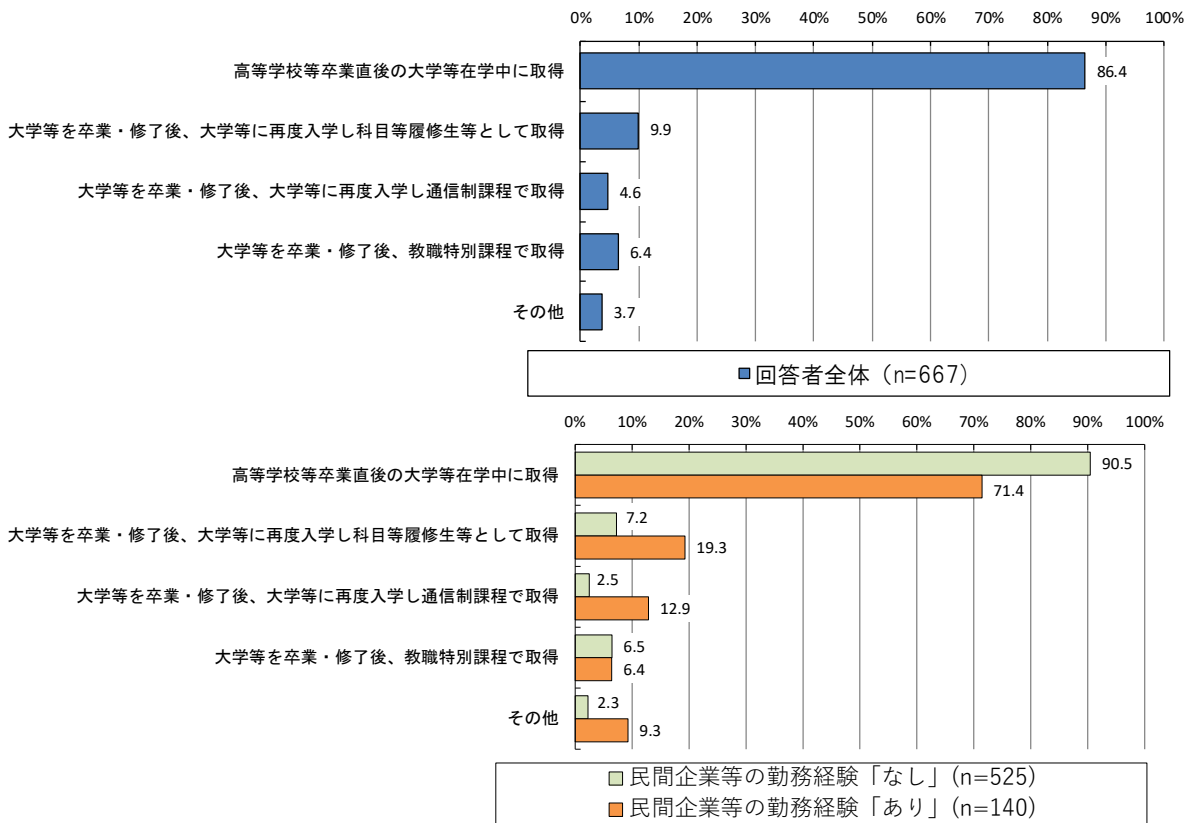
保有している免許状の学校等の種類に関しては、民間企業等勤務経験者では「高等学校教諭免許状のみ」の割合が比較的高くなっている⁸。

図表 2-2-1 公立の高等学校教員採用選考試験を経て採用された際に取得していた（授与された）教員免許状の種類（複数回答）

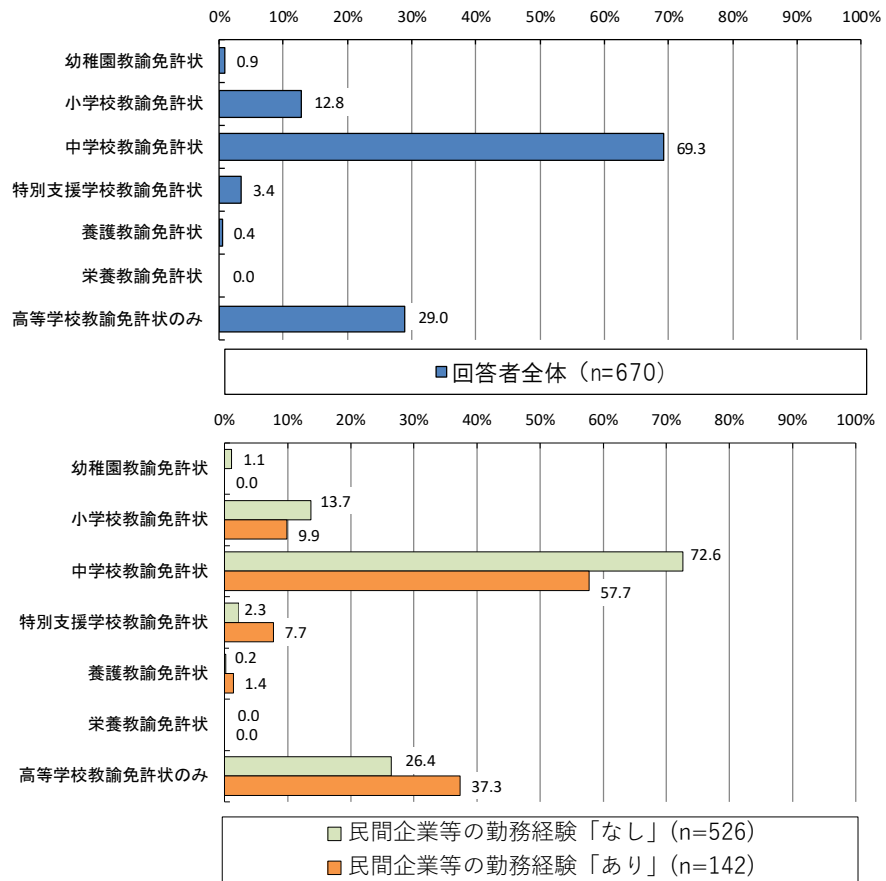


⁸ このほか、高等学校について保有する免許状の教科等については、今回の調査回答者に関しては民間企業等勤務経験の方が、「工業」の免許取得者の割合が約10ポイント高くなっている。

図表 2-2-2 普通免許状を取得したタイミングや方法（複数回答）



図表 2-2-3 高等学校以外に保有している免許状の種類（複数回答）



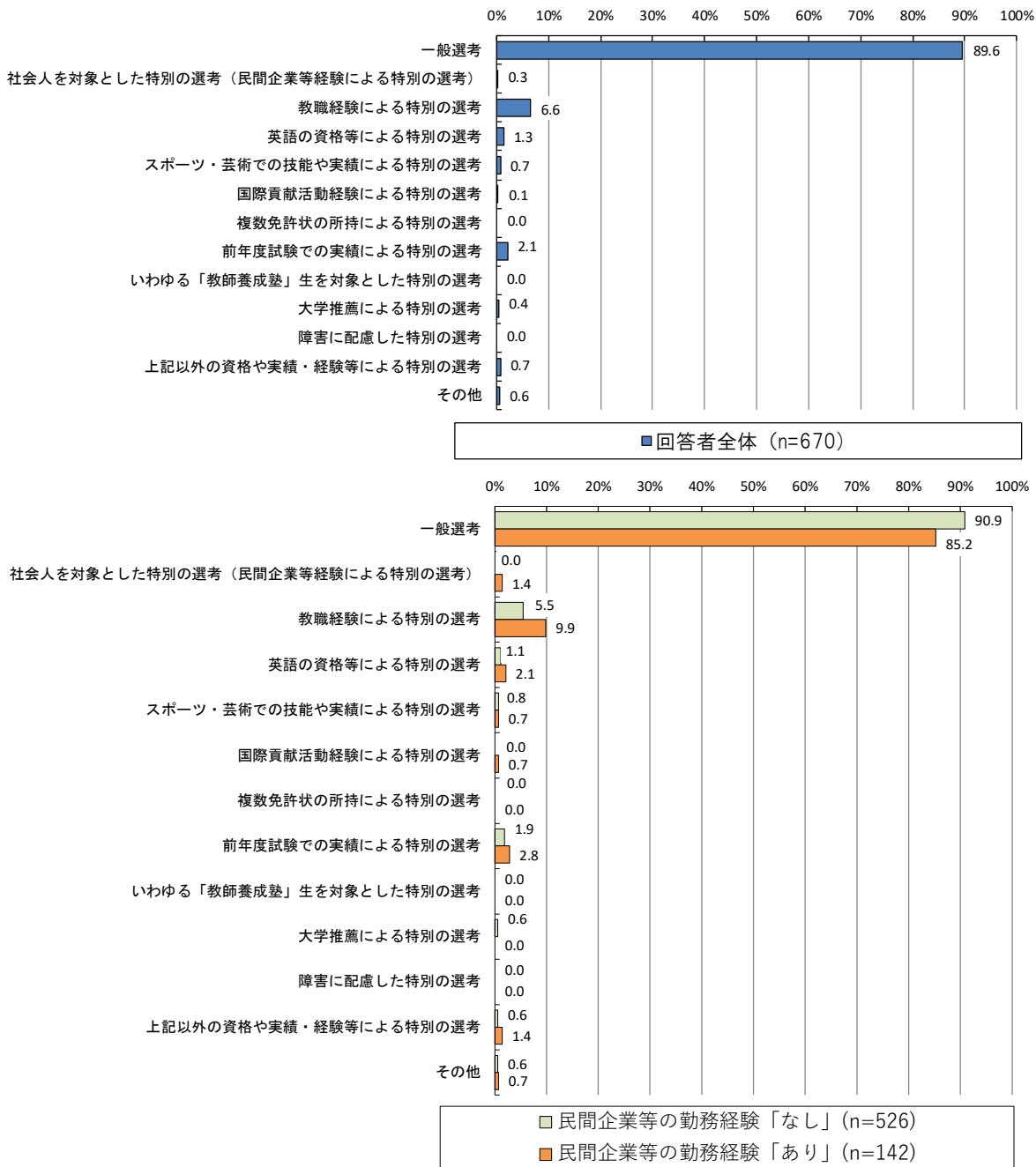
第2章2.

(2) 受験した採用試験について

①最終的に教諭（本務者）としての採用が決まった際に適用されたもの

採用選考試験において、最終的に教諭（本務者）としての採用が決まった際に適用されたものについては、民間企業等での勤務経験がある者・ない者ともに、約9割が「一般選考」である。
 なお、民間企業等勤務経験者については「教職経験による特別の選考」の回答割合が若干高く、約1割となっている。

図表 2-2-4 最終的に教諭（本務者）としての採用が決まった際に適用されたもの（複数回答）



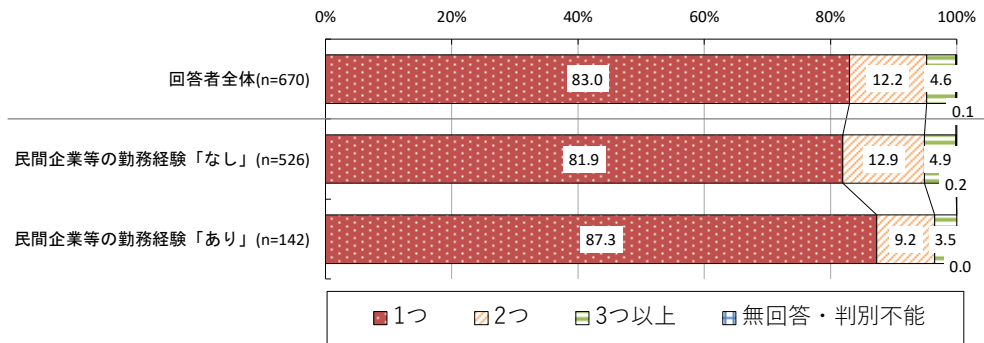
②採用選考試験の受験の状況

教諭（本務者）として採用された年度に、いくつかの都道府県・市等の公立学校教員採用選考試験を受験したかについて、民間企業等での勤務経験がある者・ない者ともに、「1つ」との回答割合が8割以上となっている。

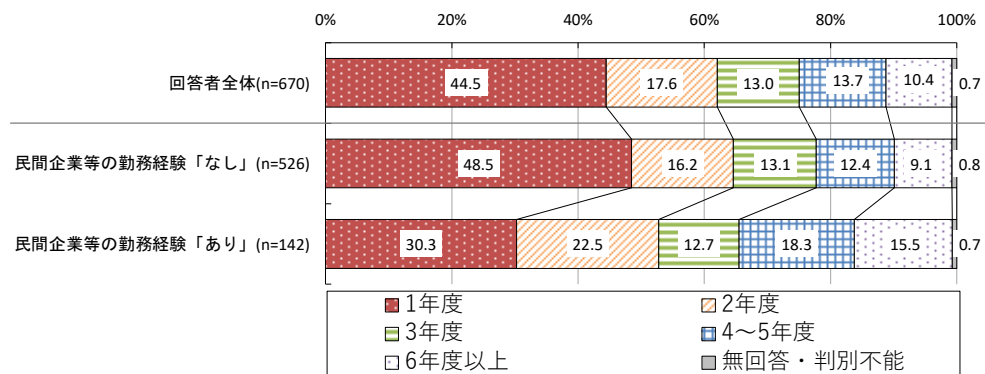
採用されるまでに何年度にわたって採用選考試験を受験したかについては、民間企業等勤務経験者の方が、複数年度にわたって受験をした者の割合が比較的高くなっている。

採用選考試験に関する準備期間について、大学等在学期間中と大学等卒業・修了後の期間とに区分して把握すると、民間企業等勤務経験者では、大学等在学期間中には準備等をしていなかった者が約5割となっている。大学等卒業・修了後における準備期間としては、「1年以下」に該当する者の割合が最も高くなっているが、「3年より長い」の割合も約2割と比較的高くなっている。

図表 2-2-5 採用された年度に受験した都道府県・市等の件数(採用された都道府県・市等を含む)

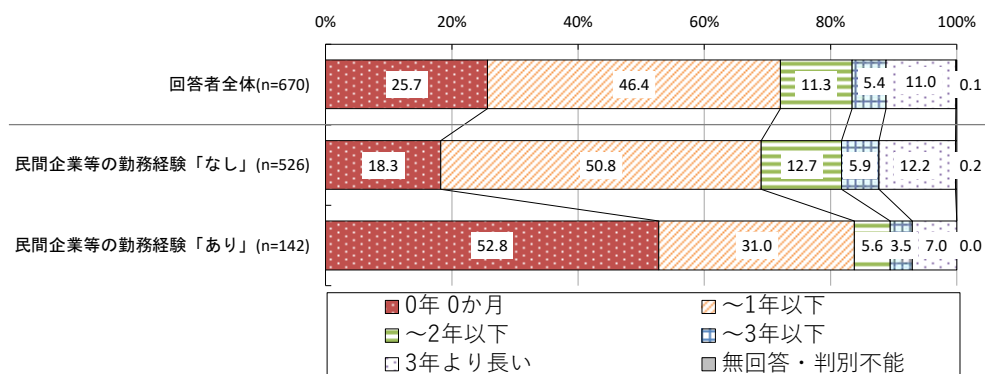


図表 2-2-6 採用されるまで何年度にわたって採用選考試験を受験したか(採用された受験年度を含む)

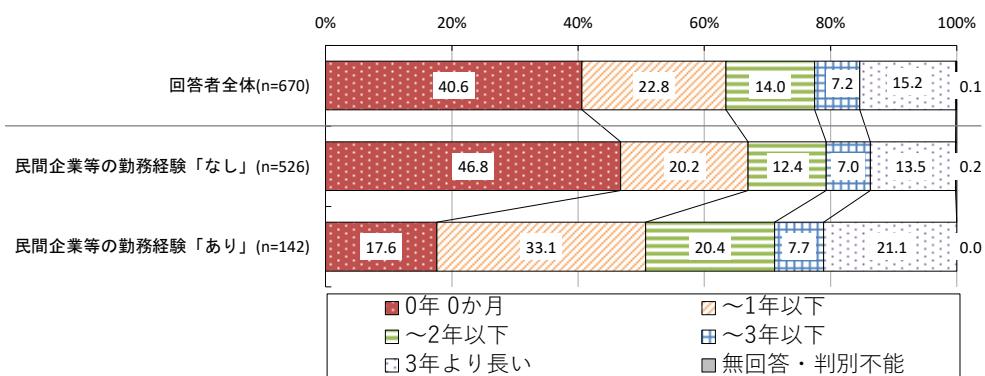


第2章2.

図表 2-2-7 採用選考試験に関する準備期間（高等学校等卒業直後の大学等在学期間中の準備期間）



図表 2-2-8 採用選考試験に関する準備期間（大学等卒業・修了後の準備期間⁹）



⁹ 大学等に再度入学し準備した期間を含む。

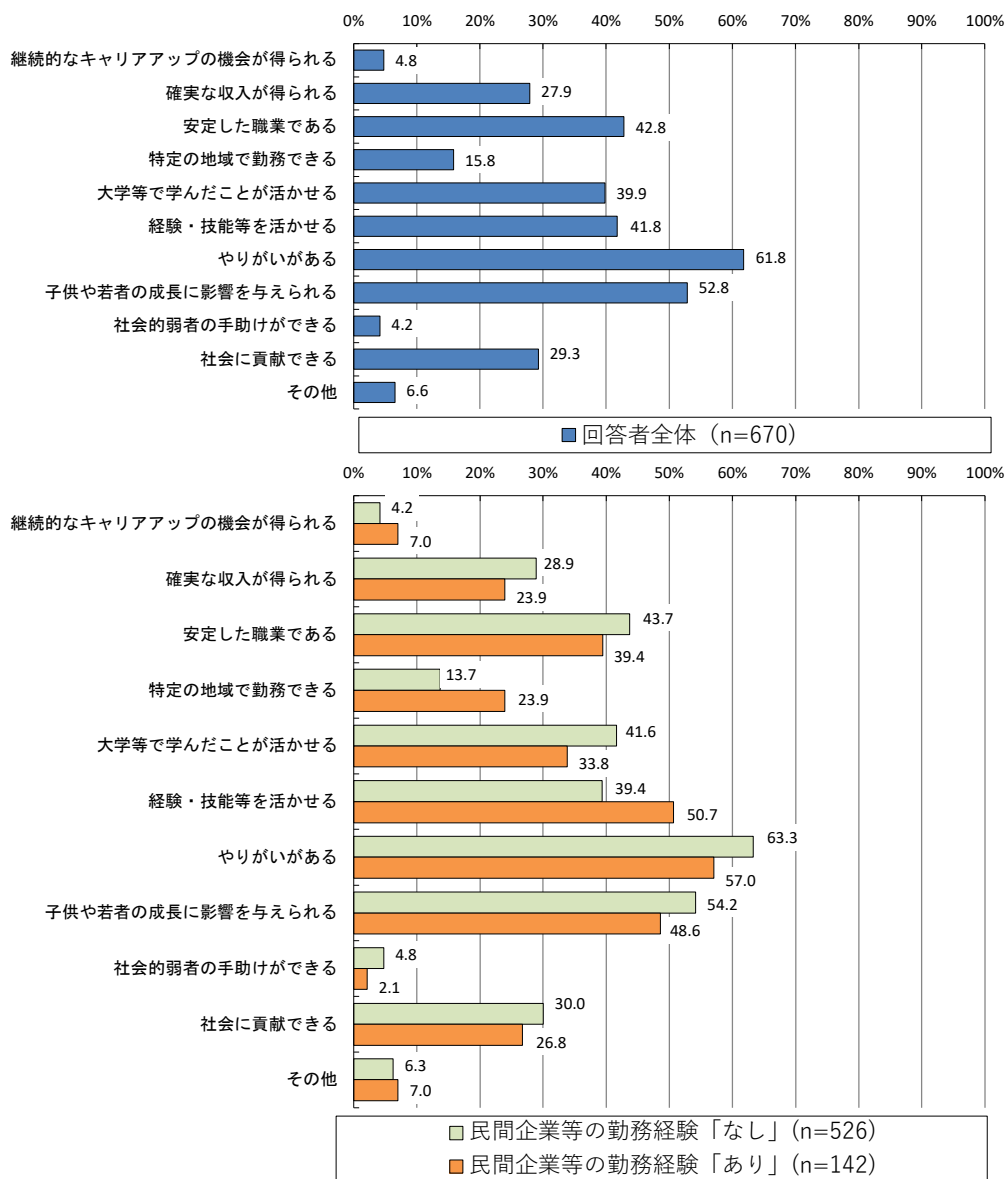
(3) 志望理由・受験の際の課題認識等

①教員を志望した理由

教員を志望した理由については、民間企業等での勤務経験がある者・ない者ともに、「やりがいがある」の回答割合が約6割と最も高くなっている。民間企業等勤務経験者では、「経験・技能等を活かせる」の回答割合が約5割と比較的高くなっている。また、「特定の地域で勤務できる」の回答割合も、民間企業等勤務経験者において比較的高くなっている。

自由記述による回答¹⁰では、民間企業等勤務経験者が教員を志望した理由として、「子供との関わり、成長の支援」、「専門性の発揮、教科指導」、「待遇の安定、平等な待遇」、「『地元』での就職」、「部活動・クラブ活動等の指導」などに関する回答があった。

図表 2-2-9 教員を志望した理由（複数回答）



¹⁰ 自由記述による回答は「教員以外の他の仕事での勤務年数」が1年以上あった者から回答を得ており、本報告書では、民間企業社員・団体職員、又は公務員としての勤務経験がある者の回答に着目して回答内容の整理を行った。(以下、自由記述による回答に関して同様)

第2章2.

図表 2-2-10 教員を志望した理由（民間企業等勤務経験者、自由記述回答）

回答内容の概要分類	回答内容（抽出・抜粋）
子供との関わり、 成長の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○カネをとおさず人と関わりを持てることに魅力を感じた。 ○子どもの成長のサポートという、未来に直結した仕事であるから。 ○生徒の成長に大きく影響を与える怖さはあるが、成長した姿を見る喜びを感じたから。 ○人を相手にした職業で、子どもの成長に関わり、やりがいがあるから。
専門性の発揮、教科 指導	<ul style="list-style-type: none"> ○専門教科の指導が可能であり、教科の良さを伝えられるため。 ○塾講師と比較して、教科の良さや楽しさを自由に教えられると考えたから。 ○キャリア教育に携わるため。 ○民間で働いていたときに経験したことを生徒に伝えなかったから。
待遇の安定、平等な 待遇	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の能力を活かすことができ、なおかつ性別による採用や待遇、キャリアアップの機会等に差がなく、男女平等に働くことができる仕事であるため。 ○結婚退職等がなく、長く続けることができる安定した職業であった。
「地元」での就職	<ul style="list-style-type: none"> ○地元を離れた場所で自分の希望する職業に就いていたが、実家のことも考え地元に戻る決心をした際に、自分にできること、したいことを長い目で考えた上で教職を考えた。 ○自身が受けた地域社会からの恩を返すため。
部活動・クラブ活動 等の指導	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動の指導がしたかったから。 ○プロとして競技スポーツをしていて、技能などを高校生に教えたいと思ったから。

※124 件の回答があったものの中から、抽出・抜粋等をして一部を掲載した。

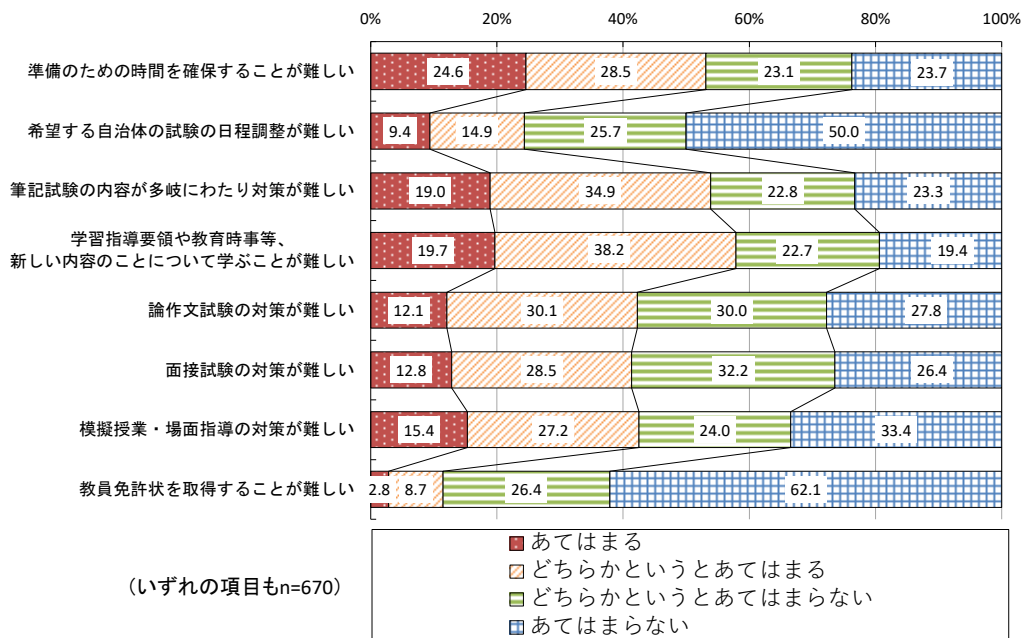
②採用選考試験を受験するに当たっての課題

採用選考試験を受験するに当たって感じた課題について、回答者全体としては、「学習指導要領や教育時事等、新しい内容のことにについて学ぶことが難しい」について、「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」の回答割合の合計が最も高くなっている。なお、「あてはまる」の回答に関しては、「準備のための時間を確保することが難しい」の回答割合が最も高くなっている。

この回答について、民間企業等勤務経験の有無で比較すると、民間企業等勤務経験者では、「準備のための時間を確保することが難しい」などに関して「あてはまる」又は「どちらかというにあてはまる」の回答割合が比較的高くなっている。

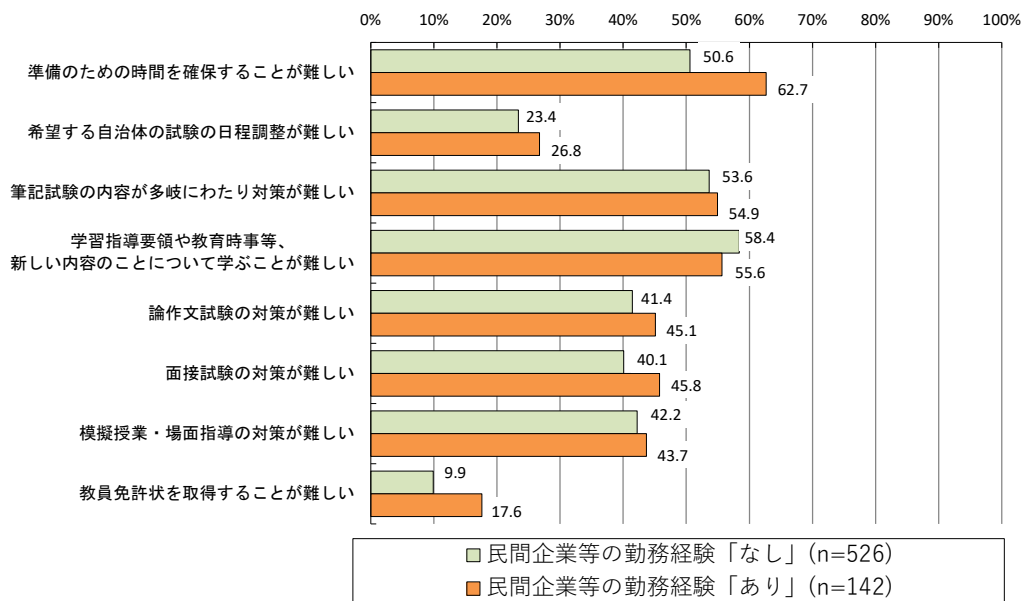
自由記述による回答では、民間企業等勤務経験者が採用選考試験を受験するに当たって感じた課題として、「時間の確保」、「受験の機会」、「提出書類」、「面接試験の対策」、「筆記試験の対策」などに関する回答があった。

図表 2-2-11 採用選考試験を受験するに当たっての課題（回答者全体）



第2章2.

図表 2-2-12 採用選考試験を受験するに当たっての課題（民間企業等勤務経験の有無別の比較）



※「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」を足し合わせた回答割合。

図表 2-2-13 採用選考試験を受験するに当たっての課題（民間企業等勤務経験者、自由記述回答）

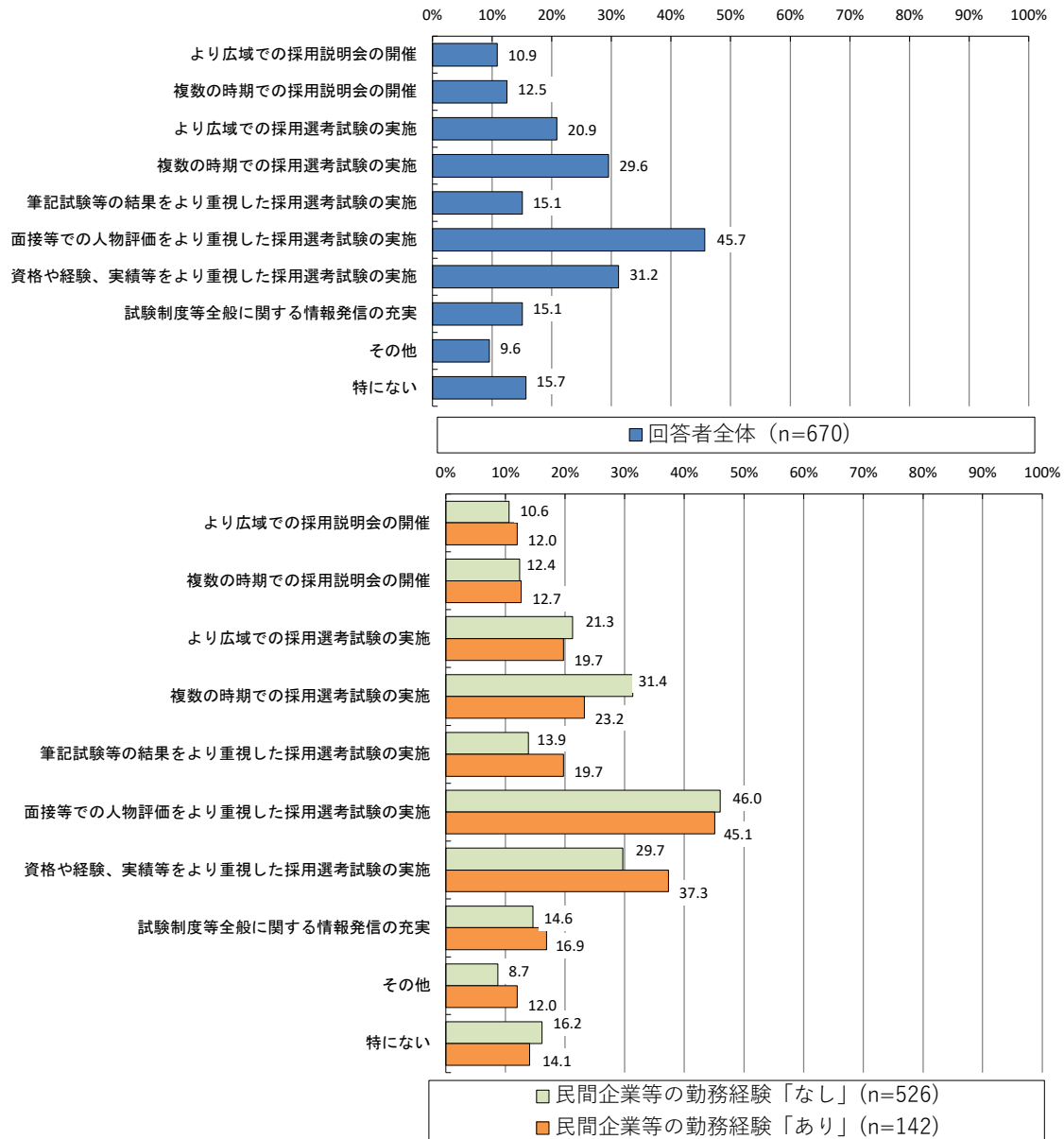
回答内容の概要分類	回答内容（抽出・抜粋）
時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○勤務しながら勉強の時間を確保すること。 ○働きながら試験対策をすることが困難であり、課題でした。 ○一般教養の内容が幅広く、働きながら学習するために必要な時間の工面と適切な教材選択に課題を感じた。
受験の機会	<ul style="list-style-type: none"> ○受験タイミングが各自治体で年間1回しかないので受験の機会が限られる事。 ○特定科目は毎年試験があるわけではない。希望する科目は10年採用がなかった。結局、希望科目以外の採用になった。
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ○職場の上長に「人物評価表」をお願いしなければいけなかったこと。 ○働きながらであると書類を準備するのに、かなり時間がかかる。
面接試験の対策	<ul style="list-style-type: none"> ○面接試験がどのように行われるか知らなかった。 ○面接では、教職経験がないと答えにくい質問がある。 ○一般企業に就業していたため、学校の管理職との模擬面接などができなかったところにビハインドを感じました。
筆記試験の対策	<ul style="list-style-type: none"> ○一次試験の教職教養の対策が難しいと感じました。一般教養はある程度対策できたのですが、教職教養は参考書を用意しても難しいと感じました。 ○一次の筆記試験対策(専門科目以外の分野の勉強) ○大学卒業後、10年以上経てから採用試験に挑戦したため、大学在学時よりも教育を取り巻く様々な状況やカリキュラムなどが変化しており、適応するのに時間がかかった。

※「特になし」等を除く71件の回答があったものの中から、抽出・抜粋等をして一部を掲載した。

③採用選考試験に関し、充実したほうがよいと思う制度等

採用選考試験に関し、充実したほうがよいと思う制度等については、民間企業等での勤務経験がある者・ない者ともに、「面接等での人物評価をより重視した採用選考試験の実施」の回答割合が最も高くなっている。なお、民間企業等勤務経験者の「その他」の回答内容としては、「民間企業等勤務経験者の積極的採用の検討」などの回答があった。

図表 2-2-14 採用選考試験に関し、あればよいと思う制度・充実したほうがよいと思う制度等（複数回答）



3. 現在の指導等についての認識¹¹

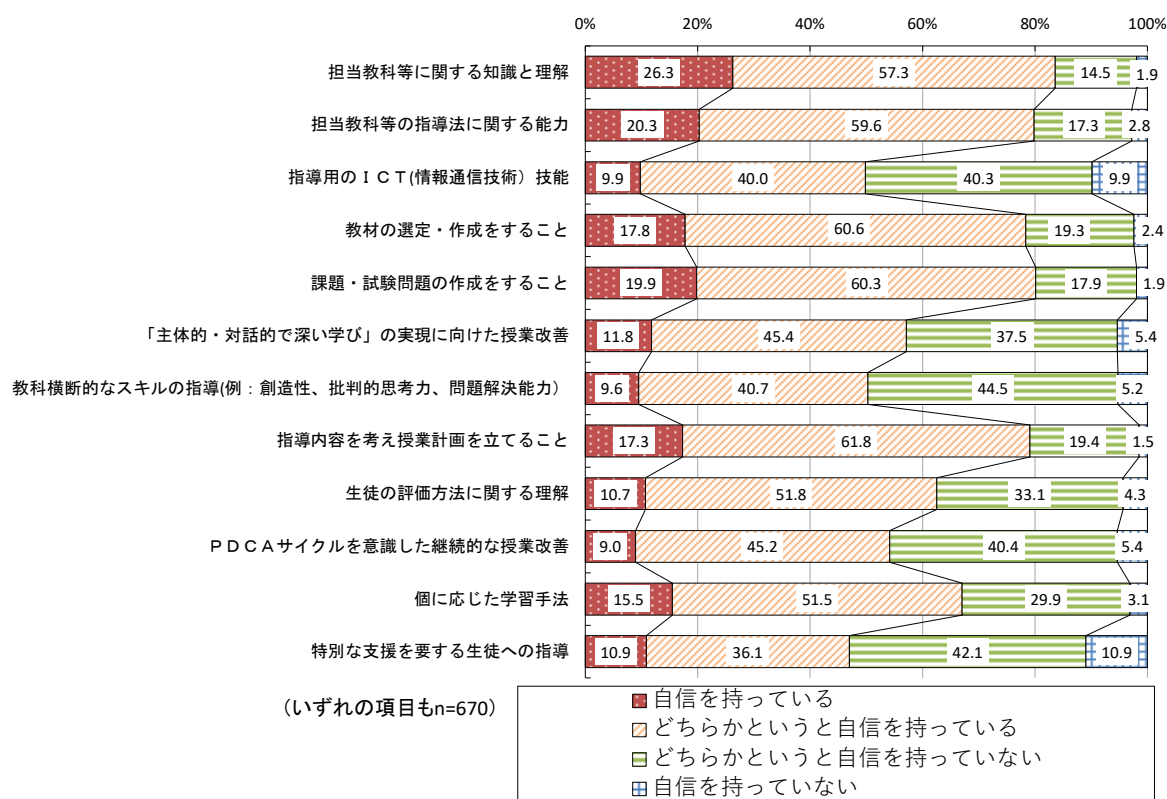
(1) 教科指導等について

教科指導等に関し、回答者全体としては、「担当教科等に関する知識と理解」などについて「自信を持っている」又は「どちらかという自信を持っている」の回答割合が比較的高く、「指導用のICT（情報通信技術）技能」や「教科横断的なスキルの指導」、「特別な支援を要する生徒への指導」などについては比較的低くなっている。

この回答について、民間企業等勤務経験の有無で比較すると、民間企業等勤務経験者では、「教科横断的なスキルの指導」について、「自信を持っている」又は「どちらかという自信を持っている」の回答割合が高く、回答結果に統計的に有意な差があった。また、「教員としての通算勤務年数が10年以下の方」に限った上での比較においては、「教材の選定・作成をすること」に関し、「自信を持っている」又は「どちらかという自信を持っている」の回答割合が高く、回答結果に統計的に有意な差があった¹²。

自由記述による回答では、「民間企業等での勤務の経験が活かされていると思うこと」として、「経験を交えた授業での説明・指導」、「進路指導・生活指導等」、「人間関係、コミュニケーション能力」、「新しい考え方等ができる」などに関する回答があった。「自信がないと思うこと」としては、「生徒に応じた関わり方・指導」、「授業方法等」、「ICTの活用」、「全般的な知識・経験等の不足」などに関する回答があった。

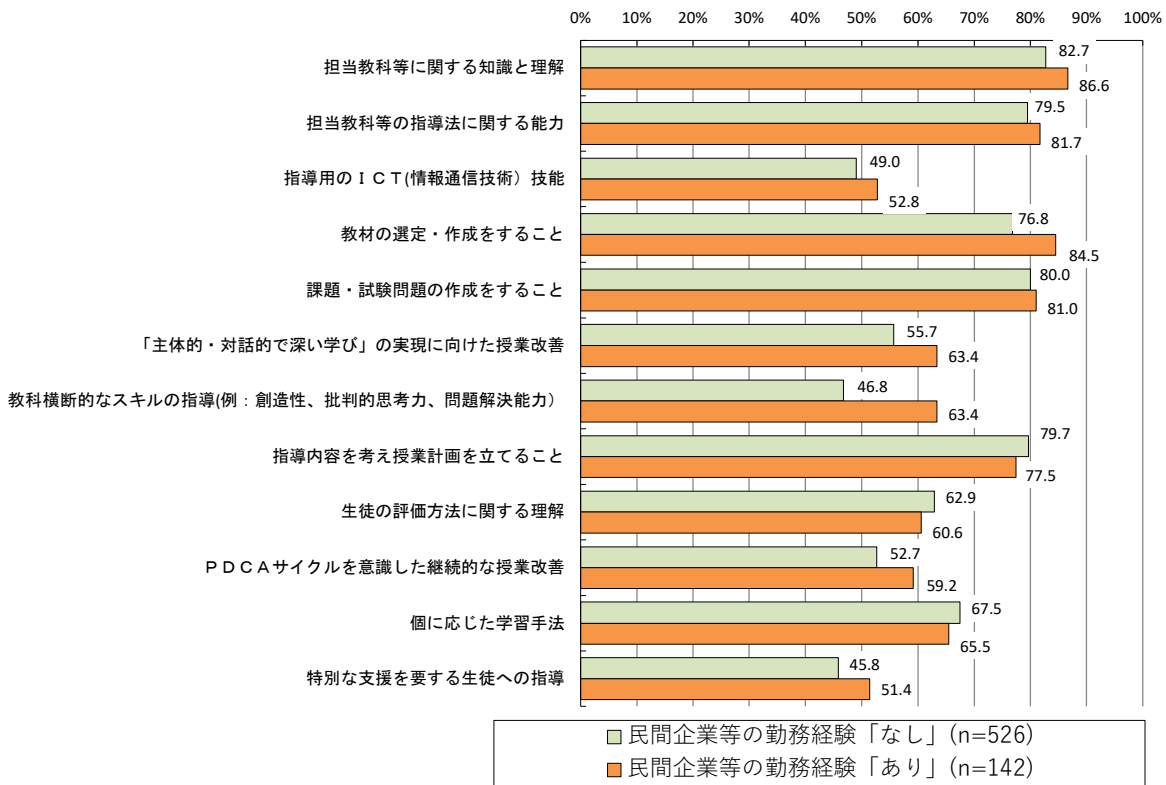
図表 2-3-1 教科指導等に関する自信（回答者全体）



¹¹ 民間企業等の勤務経験の有無によって、担任・副担任をもっているか否か、また、何年生の担任・副担任をもっているかに関しては、統計的に有意な差異はみられなかった。このほか、現在主に担当している教科について、今回の調査回答者に関しては民間企業等勤務経験者の方が、「数学」や「保健体育」の割合が5ポイント以上低く、「工業」の割合は5ポイント以上高くなっている。

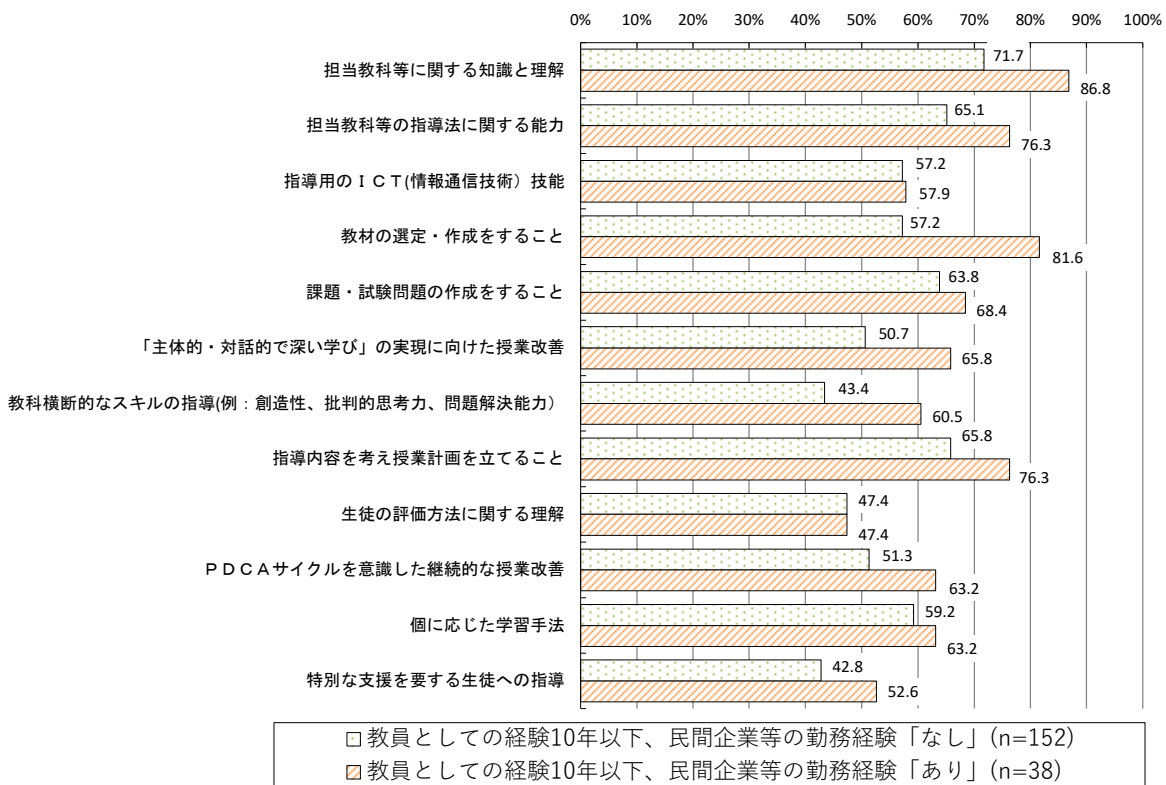
¹² 集計対象の件数が少ない点には留意が必要である。

図表 2-3-2 教科指導等に関する自信（民間企業等勤務経験の有無別の比較）



※「自信を持っている」と「どちらかというと自信を持っている」を足し合わせた回答割合。

図表 2-3-3 教科指導等に関する自信（教員としての通算勤務年数が10年以下、民間企業等勤務経験の有無別の比較）



※「自信を持っている」と「どちらかというと自信を持っている」を足し合わせた回答割合。

第2章3.

図表 2-3-4 教科指導等に関し、民間企業等での勤務の経験が活かされていると思うこと（民間企業等勤務経験者、自由記述回答）

回答内容の概要分類	回答内容（抽出・抜粋）
経験を交えた授業での説明・指導	<ul style="list-style-type: none"> ○体験談を交えて説明することができる。生徒の具体的な質問に答えることができる。 ○学んでいる技術等が実際にどのように活かされていたか話することができる。 ○教科と社会での利用との関係性の具体的な説明ができる。 ○企業で経理事務をしていたので、簿記などを指導する際、実務に基づいた指導ができる。
進路指導・生活指導等	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導について、就職する上での心構え等。 ○職業に対する心構えが大学卒業後すぐに教員になった者とは大きく異なる。 ○実社会で生きていくことや働く事の大変さを話せる。 ○社会人としてどのように立ち居振る舞いすべきかについて、教科の中の生徒指導で話し、活かすことができる。
人間関係、コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ○営業をやっていたので、生徒への関わり方。 ○プレゼンテーション能力。 ○一般社会の感覚が多少なりともわかるので、保護者対応などの際に活用できることがある。 ○社会常識とコミュニケーション能力、広い視野。
新しい考え方等ができる	<ul style="list-style-type: none"> ○固定観念に縛られず新しい試みを積極的に行っている。 ○時間を合理的に使うこと。 ○横断的かつ柔軟に発想できること。 ○OKPIを設定して学習への取り組み方を示す。定量目標を設定してPDCAサイクルを回すこと。

※「特になし」等を除く 87 件の回答があったものの中から、抽出・抜粋等をして一部を掲載した。

図表 2-3-5 教科指導等に関し、特に自信がないと思うこと（民間企業等勤務経験者、自由記述回答）

回答内容の概要分類	回答内容（抽出・抜粋）
生徒に応じた関わり方・指導	<ul style="list-style-type: none"> ○いわゆる進学校ではない学校の生徒に効果的に教科指導すること。理解力が低い生徒への教え方がよくわからない。 ○「努力を要する」層への学習への動機づけ。 ○大学進学重視の学校の経験が少ないため、受験指導に対して自信が持てない。
授業方法等	<ul style="list-style-type: none"> ○30～40 人学級に対する教科指導について自信がありません。 ○生徒との対話を活かしながらも予定の範囲まで進める能力。 ○伝え方、話し方。
ICT の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○リモートなどのオンラインによる授業。 ○ICT を活用した授業及び主体的・対話的な学びを深める授業。
全般的な知識・経験等の不足	<ul style="list-style-type: none"> ○まだまだ勉強不足な面がある。 ○教科・生徒・進路指導や保護者・地域対応については日々努力するしかない。

※「特になし」等を除く 68 件の回答があったものの中から、抽出・抜粋等をして一部を掲載した。

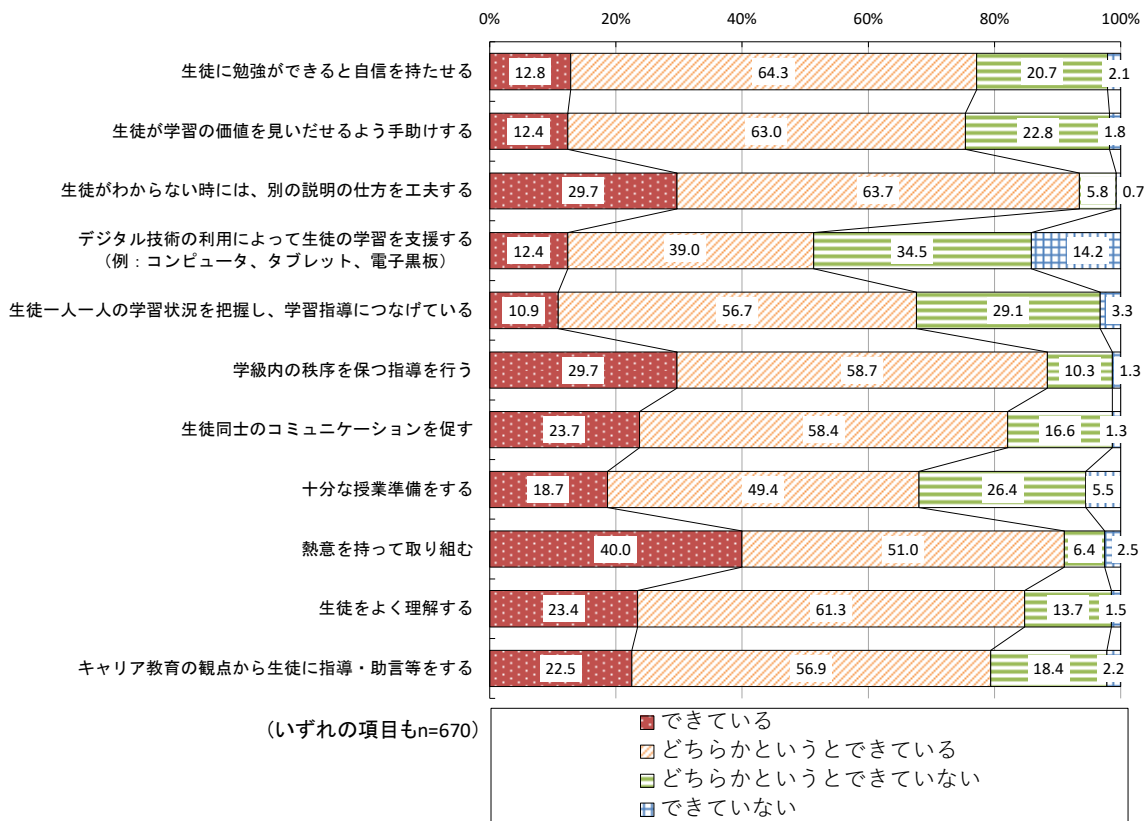
(2) 授業実践・生徒指導等について

授業実践、生徒指導等に関し、回答者全体としては、「生徒がわからない時には、別の説明の仕方を工夫する」、「熱意を持って取り組む」などについて「できている」又は「どちらかというできている」の回答割合が比較的高く、「デジタル技術の利用によって生徒の学習を支援する」などについては比較的低くなっている。

この回答について、民間企業等勤務経験の有無で比較すると、民間企業等勤務経験者では、「生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする」、「キャリア教育の観点から生徒に指導・助言等をする」について、「できている」又は「どちらかというできている」の回答割合が高く、回答結果に統計的に有意な差があった。また、「教員としての通算勤務年数が10年以下の方」に限った上での比較においても、「生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする」と「キャリア教育の観点から生徒に指導・助言等をする」に関し、「できている」又は「どちらかというできている」の回答割合が高く、回答結果に統計的に有意な差があった¹³。

自由記述による回答では、「民間企業等での勤務の経験が活かされていると思うこと」として、「社会のルール、社会人として求められる力等に関する指導」、「進路指導・生徒指導等」、「多角的な考え方、柔軟な対応力等」などに関する回答があった。「できていないと思うこと」としては、「個々に応じた指導等」、「生徒への適切な態度・接し方」、「教員間での連携」、「評価方法等」などに関する回答があった。

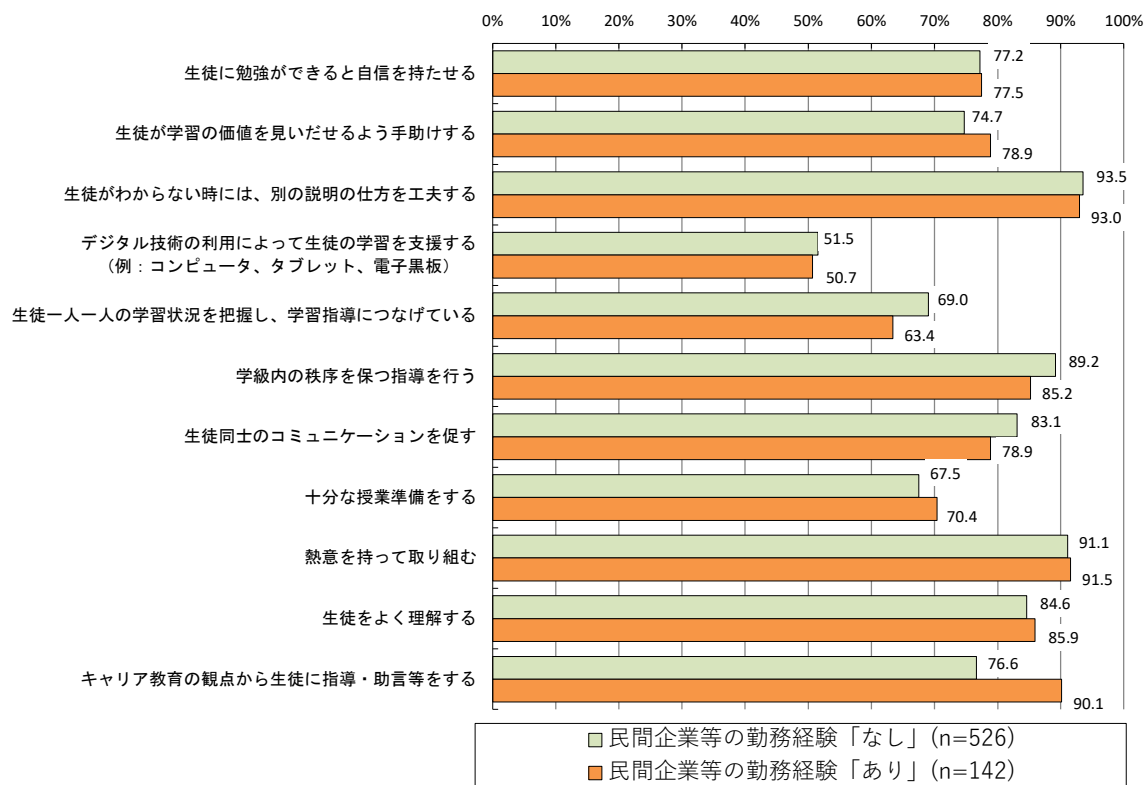
図表 2-3-6 授業実践・生徒指導等に関し、どの程度できていると思うか（回答者全体）



¹³ 集計対象の件数が少ない点には留意が必要である。

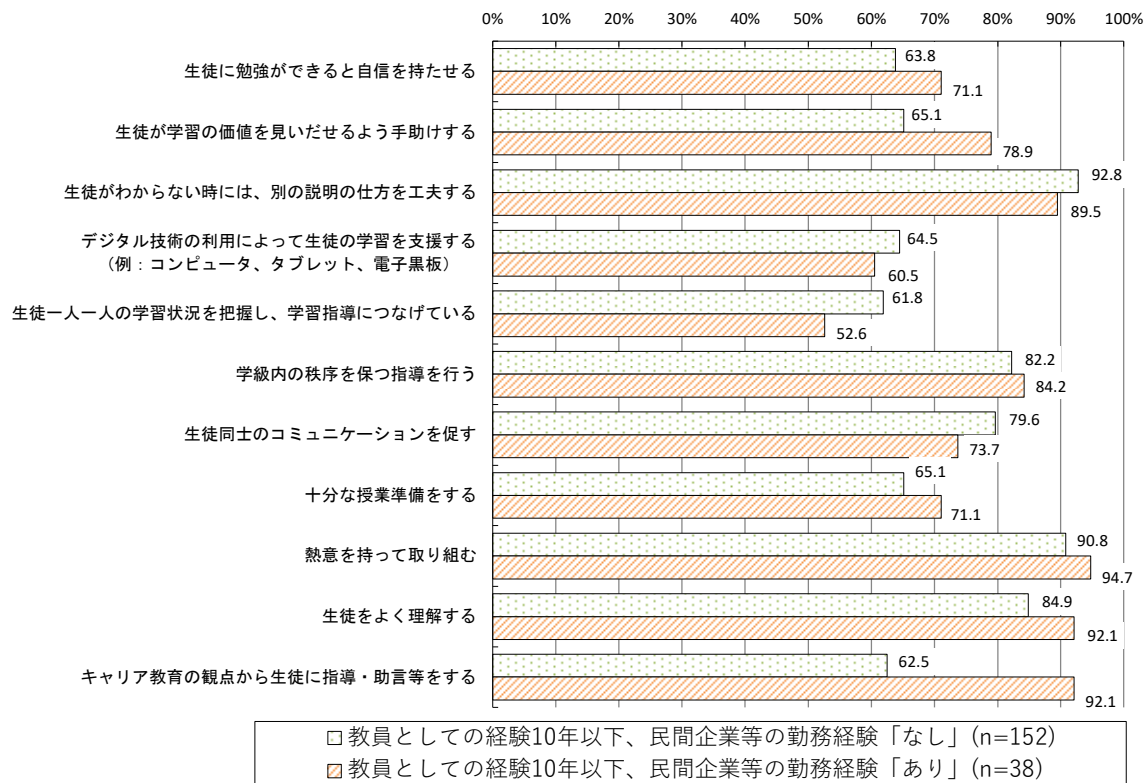
第2章3.

図表 2-3-7 授業実践・生徒指導等に関し、どの程度できていると思うか（民間企業等勤務経験の有無別の比較）



※「できている」と「どちらかというのでできている」を足し合わせた回答割合。

図表 2-3-8 授業実践・生徒指導等に関し、どの程度できていると思うか（教員としての通算勤務年数が10年以下、民間企業等勤務経験の有無別の比較）



※「できている」と「どちらかというのでできている」を足し合わせた回答割合。

図表 2-3-9 授業実践・生徒指導等に関し、民間企業等での勤務の経験が活かされていると思うこと（民間企業等勤務経験者、自由記述回答）

回答内容の概要分類	回答内容（抽出・抜粋）
社会のルール、社会人として求められる力等に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> ○民間が求める応用力を持った人材を育てるという視点で授業実践や進路指導を行う姿勢を持っていること。 ○学校生活と民間企業との違いなどを通して社会人としての基礎力指導。 ○社会が求めるスキル（ソフトスキル）などについて話をできる点。
進路指導・生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> ○紆余曲折を経た人生経験を生徒に話し、進路指導に役立てるようにしている。 ○社会で働くことを見据えた、生徒指導をすることができる。会社選びや、就職試験に対する考え方を伝えることができる。 ○社会人のマナーを身に付けていること、進路指導、教員文化以外を知っていると生徒から相談されやすい。
多角的な考え方、柔軟な対応力等	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者対応や、理不尽な事柄に関して、精神的にバランスを取る事。 ○広い視野。様々な角度から物事を見て、とらえることが活かされている。既成の価値観に左右されない考え方。 ○一面的でない柔軟な対応。

※「特になし」等を除く 75 件の回答があったものの中から、抽出・抜粋等をして一部を掲載した。

図表 2-3-10 授業実践・生徒指導等に関し、特にできていないと思うこと（民間企業等勤務経験者、自由記述回答）

回答内容の概要分類	回答内容（抽出・抜粋）
個々に応じた指導等	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスにおけるマネジメント的指導になりがちで、生徒の心の深部にまで関わるような指導ができていない。 ○個々の生徒と十分にコミュニケーションを図り、個々の実態に応じて指導の個別化を図ること。
生徒への適切な態度・接し方	<ul style="list-style-type: none"> ○強く指導することができず、生徒に甘く見られてしまうことがあります。 ○出来ていないことに対して適正な評価をつけられていない。補習や再テストなど、何かしらの助け舟を出しすぎている。
教員間での連携	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導の方法についての、教員間のすり合わせ。 ○生徒指導は個人で取り組むものでないので、日々の連携を強化することが大切である。
評価方法等	<ul style="list-style-type: none"> ○指導目標の設定に伴った評価制度の構築。 ○評価に関する観点が定量評価が中心となってしまう。定性評価をしたいが、時間的な余裕がない。

※「特になし」等を除く 52 件の回答があったものの中から、抽出・抜粋等をして一部を掲載した。

第2章3.

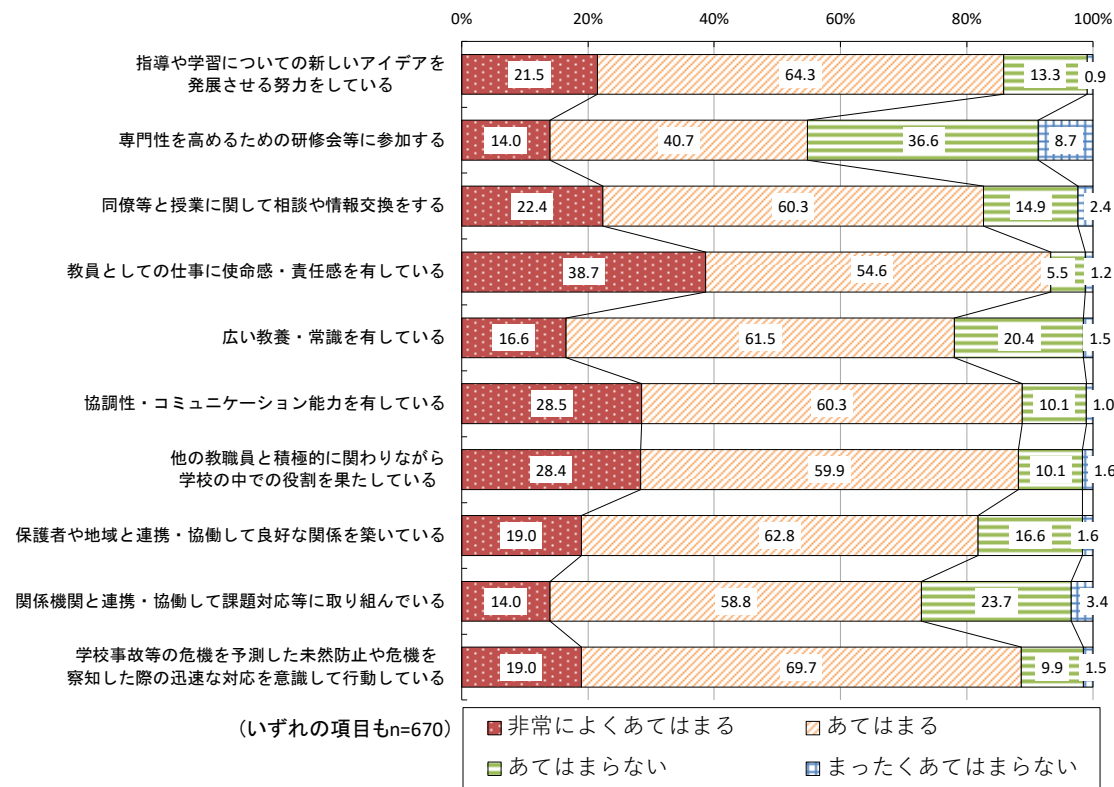
(3) 自身の資質や他者との連携・協働等の状況について

自身の資質や他者との連携・協働等に関し、回答者全体としては、「教員としての仕事に使命感・責任感を有している」などについて「非常によくあてはまる」又は「あてはまる」の回答割合が比較的高く、「専門性を高めるための研修会等に参加する」などについては比較的低くなっている。

この回答について、民間企業等勤務経験の有無で比較すると、民間企業等勤務経験者では、「広い教養・常識を有している」について、「非常によくあてはまる」又は「あてはまる」の回答割合が高く、回答結果に統計的に有意な差があった。また、「教員としての通算勤務年数が10年以下の方」に限った上での比較においても、「広い教養・常識を有している」に関し、「非常によくあてはまる」又は「あてはまる」の回答割合が高く、回答結果に統計的に有意な差があった¹⁴。

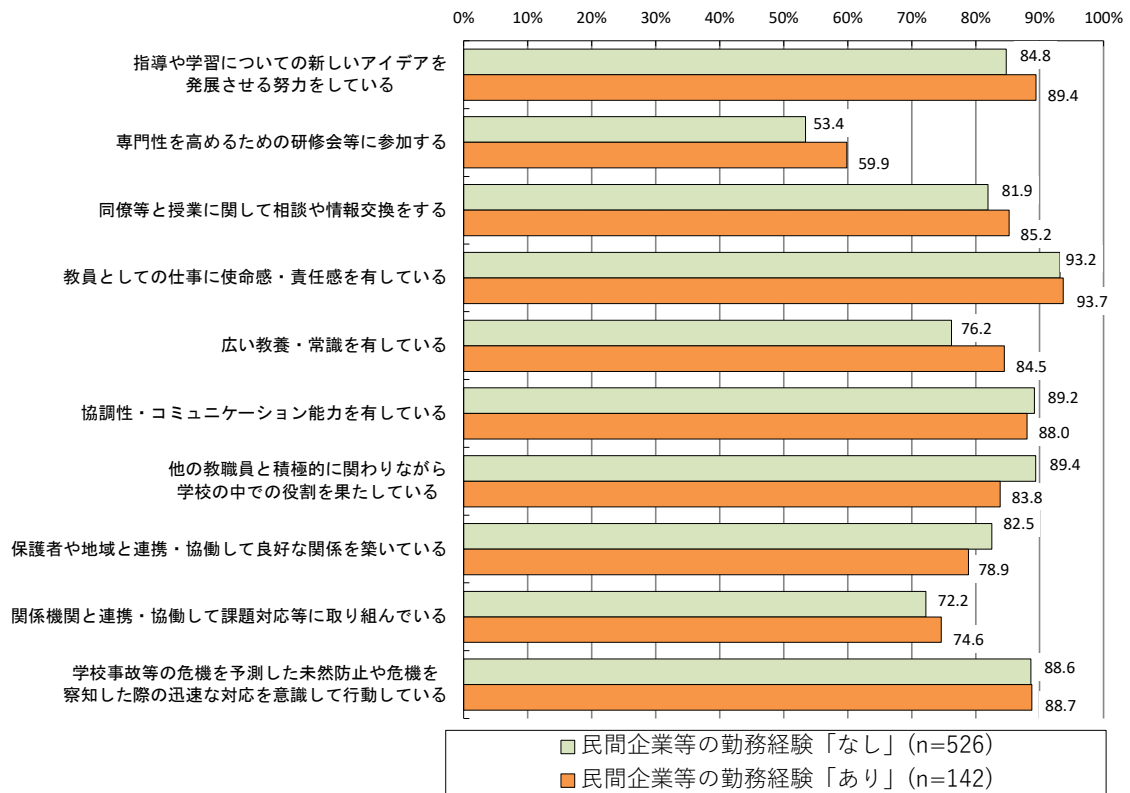
自由記述による回答では、「民間企業等での勤務の経験が活かされていると思うこと」として、「積極性、情報収集力等」や「保護者等、内外の人間関係」などに関する回答があった。「できていないと思うこと」としては、「研修等への参加」や「他の教員とのコミュニケーション・連携」などに関する回答があった。

図表 2-3-11 自身の資質や他者との連携・協働等の状況についてあてはまるもの（回答者全体）



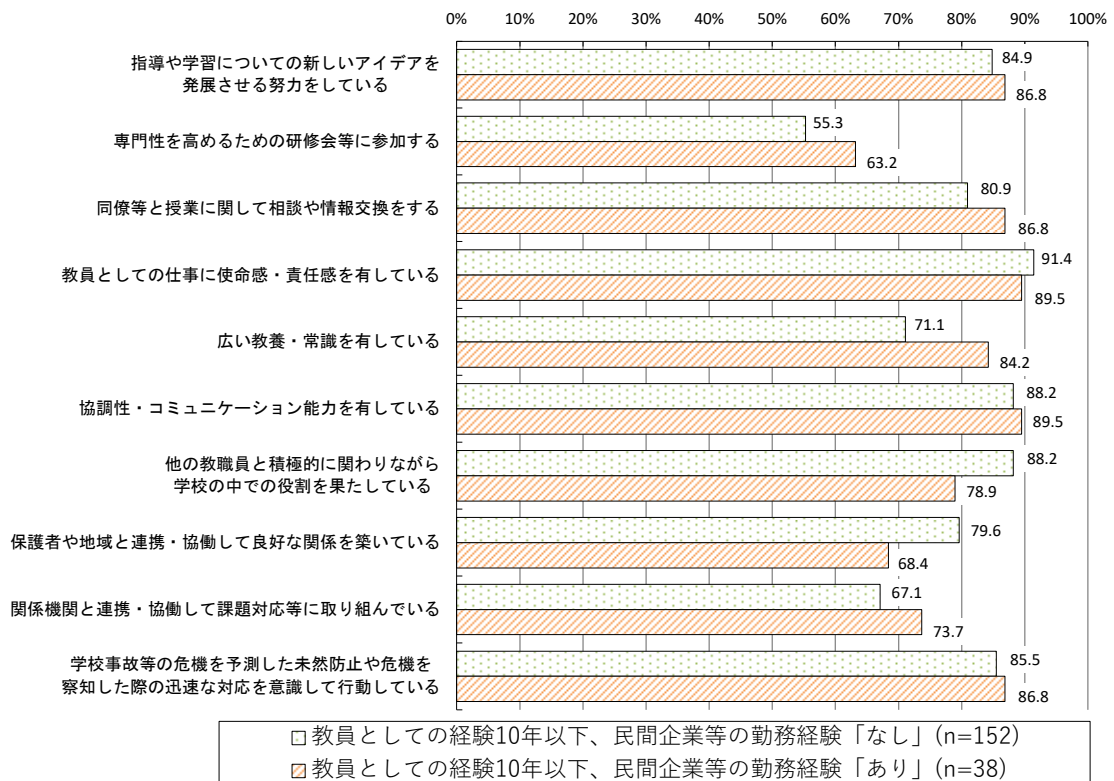
¹⁴ 集計対象の件数が少ない点には留意が必要である。なお、「保護者や地域と連携・協働して良好な関係を築いている」に関しては、民間企業等勤務経験者のほうが「あてはまる」といった回答割合が低い傾向がみられた。

図表 2-3-12 自身の資質や他者との連携・協働等の状況についてあてはまるもの（民間企業等勤務経験の有無別の比較）



※「非常によくあてはまる」と「あてはまる」を足し合わせた回答割合。

図表 2-3-13 自身の資質や他者との連携・協働等の状況についてあてはまるもの（教員としての通算勤務年数が10年以下、民間企業等勤務経験の有無別の比較）



※「非常によくあてはまる」と「あてはまる」を足し合わせた回答割合。

第2章3.

図表 2-3-14 自身の能力・専門性等を高めることや他の教員・保護者との関係性等に関し、民間企業等での勤務の経験が活かされていると思うこと（民間企業等勤務経験者、自由記述回答）

回答内容の概要分類	回答内容（抽出・抜粋）
積極性、情報収集力等	<ul style="list-style-type: none"> ○教科横断や深い学び等、新しいことに積極的に取り組むことができる。 ○自分の能力を引き出すために新しいことに何事にも挑戦している。 ○技術の最新のトレンドを追いかける意識をもって、情報を収集していること。 ○他業界と積極的に交流し、研修等にも積極的に参加する。 ○「人とのつながり」が大切であるとともに、日々自己進化を図っていかなければならない仕事だったためその意識は未だに大切にしている。
保護者等、内外の人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○働き、子育てをしながら、民間企業で働く苦しみを知っているため、保護者と共感し合える場面が多く、教職しかしていない教員よりも、保護者からの信頼感を得やすいと感じている。 ○社会常識や様々な立場の人の境遇を知ることができ、教員以外の人と対話を持てる。 ○良好な人間関係を作るための考え方や行動に配慮できる。 ○大きな仕事を動かすときの根回しなど、コミュニケーションはとれている。 ○学校外の人々とのネットワークづくりが得意である。

※「特になし」等を除く 61 件の回答があったものの中から、抽出・抜粋等をして一部を掲載した。

図表 2-3-15 自身の能力・専門性等を高めることや他の教員・保護者との関係性等に関し、特にできていないと思うこと（民間企業等勤務経験者、自由記述回答）

回答内容の概要分類	回答内容（抽出・抜粋）
研修等への参加	<ul style="list-style-type: none"> ○専門性を高めるための研修会の参加などができていない。 ○多様化する保護者や変容している生徒への認識や対応についての研修が充分でない。 ○時間がとれないため、研修等に参加したくても時間がとれない。
他の教員とのコミュニケーション・連携	<ul style="list-style-type: none"> ○他の教員とのコミュニケーション。思いや情熱に相当な乖離がある。 ○他の教員と協力して業務をすることができていません。教員以前の民間時代の方が協力できていました。民間の方が分業制がしっかり取られており、グループ内で相談し合えるシステムになっていたからだと思います。 ○価値観の違いで指導にずれが出るときがある。

※「特になし」等を除く 35 件の回答があったものの中から、抽出・抜粋等をして一部を掲載した。

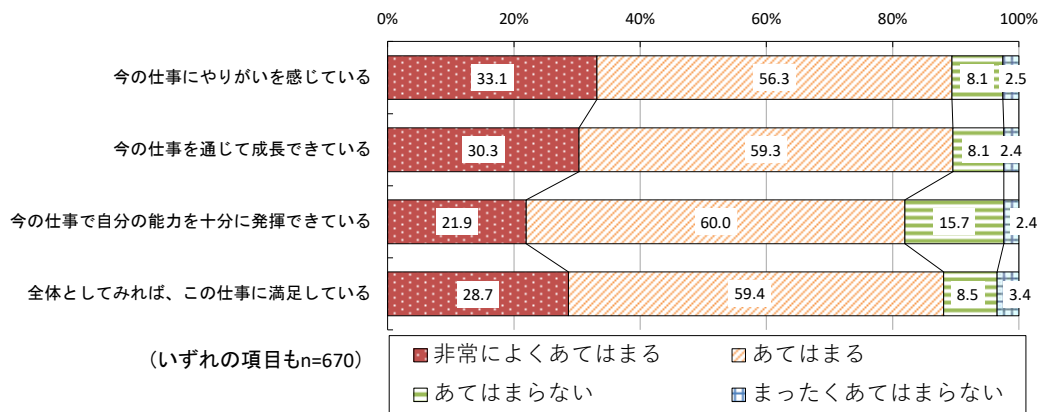
(4) 満足度や課題認識等

仕事に対する満足度等に関し、回答者全体としては、「全体としてみれば、この仕事に満足している」について「非常によくあてはまる」又は「あてはまる」の回答割合が約9割となっている。なお、「今の仕事で自分の能力を十分に発揮できている」の項目は、他の項目に比べて「非常によくあてはまる」又は「あてはまる」の回答割合が若干低くなっている。

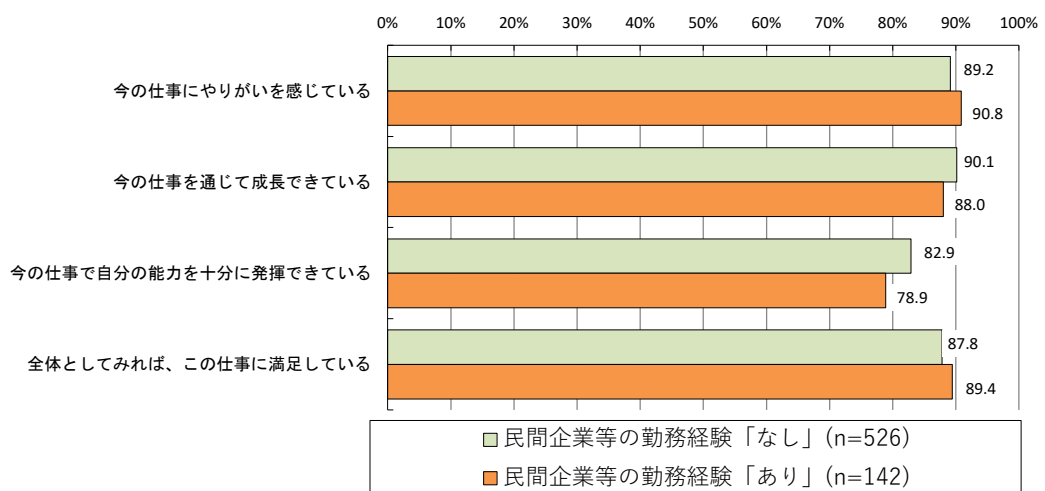
この回答について、民間企業等勤務経験の有無別に統計的に有意な差異はみられなかった。「教員としての通算勤務年数が10年以下の方」に限った上での比較においても同様であるが、有意確率10%水準では、民間企業等勤務経験者で「全体としてみれば、この仕事に満足している」についての「非常によくあてはまる」又は「あてはまる」の回答割合が高い傾向にあるという結果がみられた¹⁵。

自由記述による回答では、「教師としての仕事に関して感じていること等」として、「やりがい」、「変化に対応する必要性」、「仕事の効率性や業務量」、「働き方・処遇等（の改善）」などに関する回答があった。

図表 2-3-16 仕事に対する満足度等（回答者全体）



図表 2-3-17 仕事に対する満足度等（民間企業等勤務経験の有無別の比較）

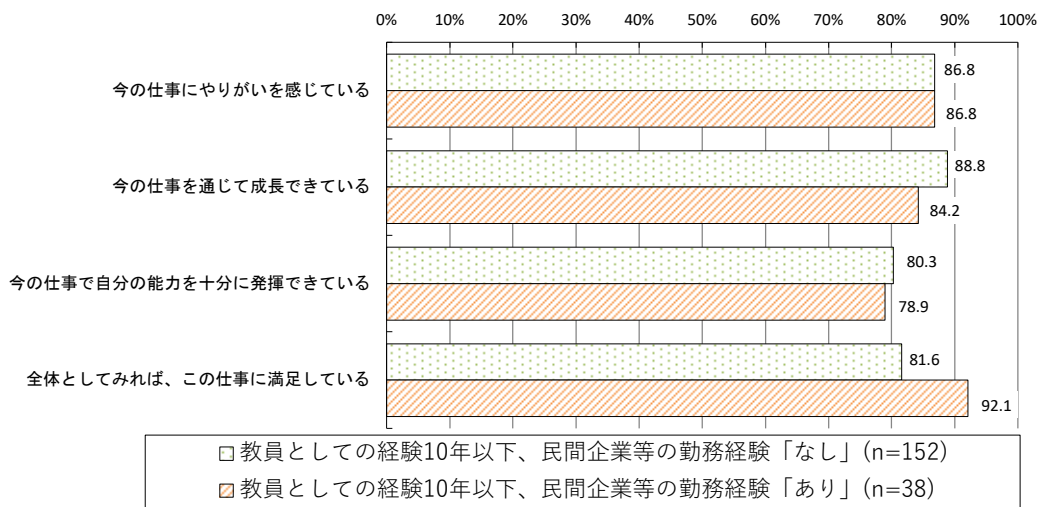


※「非常によくあてはまる」と「あてはまる」を足し合わせた回答割合。

¹⁵ 集計対象の件数が少ない点には留意が必要である。

第2章3.

図表 2-3-18 仕事に対する満足度等（教員としての通算勤務年数が10年以下、民間企業等勤務経験の有無別の比較）



※「非常によくあてはまる」と「あてはまる」を足し合わせた回答割合。

図表 2-3-19 教師としての仕事に関して感じていること等（民間企業等勤務経験者、自由記述回答）

回答内容の概要分類	回答内容（抽出・抜粋）
やりがい	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の成長に関わることができる喜びを感じながら仕事をしてきました。他の仕事ではなかなか感じる事ができないやりがいがある仕事だと思います。 ○やりがいがある。子どもたちに関わることで、未来を少しでも良くする事に貢献したい。素晴らしい仕事。 ○自分の裁量のできる仕事が多いのでやりがいがある。
変化に対応する必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○社会情勢の劇的な変化に十分対応できていない。 ○時代に応じて、自分自身も今までの常識を変えていかなければならない。常に学び続けることの必要性。 ○新しい情報や知識を吸収する場、時間があるとさらによい。
仕事の効率性や業務量	<ul style="list-style-type: none"> ○民間企業と比べると非効率なことがたくさんあると感じている。多くの業務を短時間で少人数でこなさねばならないことが多く、苦しい場面もある。 ○仕事量が小規模校になればなるほど多く、定時に近い時間で帰れない。 ○限られた時間で如何に効果を上げるかという、『仕事や時間の効率をよくする』という考え方が不足している業界だと感じる。
働き方・処遇等（の改善）	<ul style="list-style-type: none"> ○休むべき時にきちんと休むべきだと思う。健康や家庭を犠牲にしている同僚が多いように感じる。 ○優秀な人材が教師という仕事を目指すためにも、金銭面での待遇の改善や、教材研究の時間確保のための、仕事の精選が行われると良い(福利厚生は非常に恵まれている)。 ○やりがいは感じるがやりがいだけで続けていくのは困難な仕事だと思う。待遇・環境改善されなければ今後教員希望者はいなくなるのではないかなと思う。

※「特になし」等を除く 92 件の回答があったものの中から、抽出・抜粋等をして一部を掲載した。

第3章

ヒアリング調査結果（概要）

第3章 ヒアリング調査結果（概要）

（1）民間企業等での勤務経験を有する現職教員対象のヒアリング調査

①入職経路・きっかけ等について

今回、ヒアリング調査には、4人の方に対応をしていただいたが、それぞれ、金融機関、看護・福祉職、専門商社、システムエンジニアとしての経験を有する方であった（以下、記号で表記）。

特別免許状を取得して入職したBの方以外は大学等在学中に教員免許を取得しており、もともと教員になりたいと考えていたが、Dの方は在学中には教員採用試験は受けておらず、勉強等もしていないということであった。

民間企業等就職後は、A・C・Dの方はそれぞれ、働きながら時間を確保して試験準備をしている。ただし、C以外の方は、正式に採用される前に講師・臨時採用での経験をしている。

なお、今回ヒアリング調査に協力いただいた方はいずれも、民間企業等で5年前後の経験をされた上で教員になった方であった。

図表 3-1-1 民間企業等での勤務経験の概要、入職経路・きっかけ等について

民間企業等での勤務経験の概要、入職経路・きっかけ等について	
A	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関に約4年勤務。その間教員採用試験を毎年受けて不採用が続いていたが、講師をしないかと声をかけられた。講師をしていた年の試験で採用が決まり、翌年から正式な形で教員となった。 大学は教育学部ではないが、教員免許は大学卒業時に有していた。親が教員だったこともあり、在学中から教員を目指していた。その後も、働きながら試験を受けるための勉強を続けていた。
B	<ul style="list-style-type: none"> 看護・福祉職として約6年勤務。もともとは教員免許を有していなかったが、特別免許状を取得して入職した。前職を辞めて実家のある地域に戻るようになったが、卒業校を訪問した際に案内を受けて、試験を受けることになった。 最初は臨時採用で入職し、その年に採用試験を受けた。試験を受けるに当たり一般教養の勉強は準備をしたが、もともと勉強していたわけではなかったのが大変ではあった。他方、臨時採用で経験があったため、模擬授業はそれほど大変ではなかった。
C	<ul style="list-style-type: none"> 専門商社で営業職として約6年間勤務。もともと教員になりたいと思っており、大学4年生の時に教員採用試験の受験もしたが、不採用であったため一般企業に就職した。 就職後3年間は試験を受けなかったが、4年目以降から試験を受け、試験を受けるようになってから3回目の試験で採用になった。 入社前の朝早い時間と帰宅後の時間に勉強をした。仕事の内容と科目がリンクしているところがあり、試験の準備をする上でその点はよかったと思う。
D	<ul style="list-style-type: none"> システムエンジニアとして約5年半勤務。もともと学生の時から教員になりたいという考えはあったが、仕事の相手からお金をいただくという経験を一度はした方がよいのではないかと、教員になってから他の仕事に転職するのは難しいのではないかとこの考えから、大学卒業後は民間企業に勤めていた。 学生時代に免許は取得したが、教員採用試験を受けるための勉強等はしていなかった。就職後に採用試験を受けるに当たっては、空いた時間に過去の問題やテキスト等を見て準備をした。最初は臨時採用で採用され、その後再度試験を受けた。

②経験が活かされたと思う場面について

いずれの方についても民間企業等での勤務経験が活かされる場面があると回答があり、A・Bの方については教科の内容と仕事の上での経験・専門性が関連していたということであった。

また、A・Cの方からは、授業等の場面で経験談を踏まえて話ができるということが強みであるという話が聞かれた。Cの方からは、生徒指導の面でも民間企業等での経験を持って説得力のある話ができる、といった話もあった。

A・C・Dの方に関しては、就職に関する話をするときや、企業との関係性を持つ際に強みが発揮できるのではないかとということも聞かれた。

このほか、Dの方からは、業務効率化や、校則等を見直す視点を持てるということで、民間企業等での経験が活かされているのではないかと話もあった。

図表 3-1-2 民間企業等での勤務経験が活かされたと思う場面について

民間企業等での勤務経験が活かされたと思う場面について	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記や情報処理、マーケティングを含む経済学の内容を教える際に実務経験が絡むため、経験談を踏まえて話ができ。金融機関に就職が決まった生徒に札勘定を教えるなど、実務的なことを教えることもできる。 ・色々な面で民間経験がマイナスになったなと思うことは一つもない。 ・民間企業の厳しさをわかっているの、企業開拓に行く時はその辺が体に染みついているので、上手く話題に入っていける。企業の方々、お会いした方々と人間関係を作って帰ってくるというのはそう難しいことではない。間違いなく民間の経験は活かしている。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の内容によって前職としての経験が活かされるものがあつた。例えばどこが国家試験を受けるに当たって大切なのか、現場に出た後にどこが大切になるのかといったこともわかっていたので、自分が得意な分野については苦勞することはなかった。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・経験談を話すことができるのが一番の宝だと思う。サラリーマンをやっているこういう商談があつたとか、こういうピンチがあつたとか、そういう話は自分にしかできないと思う。 ・受験のことについては詳しくないが、社会で何が求められるか、人事採用担当としてどういった人材が欲しいと思われるかということはある。対外的に企業との関係性を持つといったことについても力を発揮できるのではないかとと思う。 ・生徒指導の面でも、社会人としての経験が活かしていると思う。学校生活で一番大事なのは、遅刻、欠席、早退しないことだと考えているが、会社に勤めるに当たって求められる人材としても「休まない、病気になるないで健康な人」ということだと思ふ。生徒に説明する上で、説得力を持って話することができる。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・前職の仕事柄、パソコンを使ってデータ処理をしたり情報を整理したりする仕組みを作るといったことには慣れていたので、そのあたりは活かされたと思う。このようにしたら作業効率化できるといったことを提案したり、自分で変えていったりというのは前職の経験が活かしているのではないかとと思う。 ・多くの生徒は大学等進学後に民間企業に就職するというのを考えているなかで、就職活動をしていない人に比べれば多少話ることができるのかなと思ふ。 ・また、学校には結構杓子定規的なルールがあるが、そのあたりを「おかしい」と考えたり、柔軟に考え対応を変えたりすることができるということが自分自身の強みでもあるのではないかとと思う。

第3章

③入職後の仕事についての認識・ギャップ等について

入職後の仕事・働き方等に関し、民間企業等の時との違いを少なからず感じるがあったという話があった。

Aの方からは、教員としての仕事の性質上、「際限がない」というところがあると説明された。非効率な部分があるという指摘がC・Dの方からあり、民間企業等とは異なる価値観・考え方があるということがうかがえた。

A・B・Cの方からは、「教える」ということについて、他の先生方がすごいと思ったという話も聞かれた。B・Dの方からは、授業で話をする際、又は生徒指導の観点から、相手とする人（生徒）の人数が多いということが教員の仕事の一つの特徴であるということがうかがえた。

図表 3-1-3 入職後、教員としての仕事についての認識・ギャップ等について

入職後、教員としての仕事についての認識・ギャップ等について	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業は利益を上げるところに目的があるが、教員は子供・生徒たちを育てるところに目的があり、なかなか数値化して見えないところがある。やればやるほど成長するが、明確なゴール設定がないので、際限がなくなってしまうところがある。 ・他の先生は人間的に素晴らしいと思える方が多いという印象で、さすが人を教える立場で人格者の方が多いなと思った。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・前職で集団指導をすることがあったため、相手に伝えたりすることについては苦手ではなかったが、授業の意図などを時間内にきっちり伝えるということについて、他の先生方を見ていてすごいなと思った。 ・生活指導に関しては、担任でないときと担任をもっているときとで生徒との距離の取り方が異なるので、その点戸惑うこともあった。担任をもつとクラス全体を見た上で個々を見る必要があり、生徒の個々の性格の把握等をした上で全体のまとまりを作っていく必要がある。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業は役職者によって細かく序列が決まっているが、学校は、校長・教頭以外は皆一緒というような感じである。それが特徴ではあるが、トップダウンではなく、色々な話し合いをして皆が納得しないといけないといった面があり、意思決定がうまくいかず時間がかかるということになっているのではないかと思う。 ・指導方法、「教える」ということについては、最初から先生になった人たちはすごいなと思うところはある。いつか追いつくことなのではあるが、指導力の面で差を感じることもあった。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に配属されたのは生徒指導が厳しい学校で、朝生徒が周りの人に迷惑をかけないように最寄りの駅で教員が指導するということがあったが、このようなことも教員の仕事なのか、とは思った。 ・始業前に欠席の連絡を受けることになっており、毎朝当番を決めて電話連絡の対応をしていたが、別にメールで受け付ければよいのではないかと、ということも思っていた。 ・民間企業では工数が決まっていてそれにより利益がどの程度出ることなのかということを考えていたが、教員はいつまでも働けるし、効率が悪いなというところは色々と感じるところではある。 ・前職で少人数の中でコミュニケーションをとることには慣れていたが、クラスで授業をするとなると、40人程度の人の前で話をする事になり、自分の話がどれほど相手に伝わっているのだろうか、最初のころは結構心配であった。

④今後民間企業等勤務経験者が教員として入職するに当たっての考え等

今後民間企業等勤務経験者が教員として入職するに当たって課題になりうる点について尋ねたところ、A・C・Dの方から部活動等の業務負担があることが指摘された。

Bの方からは、特別免許状等の制度があまり知られていないのではないかと指摘があり、また、入職者は、部活動のことも含め様々な仕事に対応することが求められる仕事であるということ認識する必要があるという指摘もあった。

このほか、Aの方からは試験の頻度を増やすこと、Cの方からは専門性等をより活かした配属をすること、Dの方からは免許制度の在り方を改善することについて意見等が聞かれた。A・Bの方からは、段階的に仕事に慣れていくような仕組みも必要かもしれないという話も聞かれた。

図表 3-1-4 今後民間企業等勤務経験者が教員として入職するに当たって

今後民間企業等勤務経験者が教員として入職するに当たって	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の負担を軽減する必要があるかもしれない。また、給料を上げれば優秀な方が集まるはずであり、検討する余地はあるのではないかと。 ・いきなり教壇に立つのではなく、「慣らし運転」のような期間は必要かもしれない。 ・採用試験について、年に1回ではなく、例えば1か月に1回とかで受けられるようになるとよいかもしれない。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、制度的なことが知られていないのではないかと思う。看護・福祉職として働く友人も、資格・経験を活かして教員になれることを知らないのではないかと思う。 ・業務量について、大変だからお金がもっとほしいということではなく、新しい教科書で新しく勉強しなおして、それを生徒に伝えるという授業準備・教材研究にすごく時間がかかる。さらにその他の業務もどんどん入ってくるということに向き合う必要がある。 ・私自身は、生徒会の顧問を通じて、少人数の集団をまとめることや学校行事の運営の大変さなどを知り、その経験が担任をもった際に活かされた。入職後そのように段階的に経験を積むということも重要かもしれない。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の仕事は教科指導、分掌の仕事、部活動の大きく三つで整理できるのではないかと思うが、部活動の顧問をやらない・やりたくないという人もいて、個々人の間で仕事の分量のバランスが崩れてしまうところがあり、もっと公平に分担するような仕組みが必要なのではないかとも思う。 ・教員と生徒のミスマッチということもあるのではないかと。専門性が非常に高い先生は、意欲的な生徒のところではやったほうが生徒にとっても教員にとってもよいだろうが、人事異動があるなかで、必ずしもそのようにはなっていない。ただ、学校に多様な先生がいることが生徒のためになるということもあり、なかなか難しいところなのではないかと認識している。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・待遇の改善が必要であると思う。基本的に部活動は学校から切り離すべきだと考えている。民間では土曜・日曜・休日に出勤すると、もちろん残業代はついて、場合によっては手当が上乗せされて、ということになるが、教員はそういうわけでもないのに、待遇面での不満は出てくるのではないかと。また、決してそのスポーツ等が専門ではないなかで顧問にならなければならない、外部から指導する人を呼んでもらうような仕組みがあるとよいのではないかと思う。 ・もし社会人経験がある人を増やしたいのであれば、教員免許を要件にする必要はないのではないかと思う。採用試験で判断すればよく、免許の有無で資質があるか否かを担保することがそもそもできていないと思われる。

第3章

(2) 教育委員会対象のヒアリング調査

①北海道教育委員会

北海道教育委員会では「民間企業等勤務経験者」という形での分類等はしていないということであったが、現状等について、スポーツに関しての特別の選考の事例や、特別免許状の取得を前提とした採用のことについて話を伺った。

スポーツに関する特別の選考を経て入職した方については、部活動の顧問・監督として力を発揮している事例もあり、配置・人事異動の際にその点が考慮される部分もあるとのことであった。

今後の「民間企業等勤務経験者」の入職（を増やす）ということに関しては、特定の経験を活かしてもらおうと考えた場合に各学校からどういう人材を求めるかについて要請等が明確にあるわけではなく、積極的に採用の対象とするだけのエビデンスがないため検討が難しいということであった。また、現状として特別免許状で入職されるような方については、生徒指導や進路指導等の面での対応に不安を感じ辞退する場合があるという指摘もあった。

図表 3-2-1 北海道教育委員会での状況等について

<p>近年の応募状況等について(人数の増減、特定の属性の方の増加傾向など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等勤務経験者の応募状況等は、そのような分類では把握していないため、わからない。(採用試験全体での受験者数は減少傾向にある)。 ・スポーツ・芸術の特別選考は毎年数名が受験し、登録者も毎年数名はいる。工業や水産の分野での特別選考は区分としては設けているが、受験者なしという状況が続いている。 ・このほか、特定の教科・科目については、特別免許状の取得を前提とした社会人の特別選考も行っている。
<p>民間企業等勤務経験者へ期待すること・求めるもの、広報等の工夫、採用試験制度上での工夫等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等勤務経験者であるか否かを判別していないが、それなりの社会人経験の年数を経てきている人については、通常の大卒の方よりも、ある程度即戦力人になってもらおうという期待はあるのではないかとと思われる。 ・幅広く広報はしているが、例えば民間で働いている人向けに何か積極的に広報等をしているわけではない。
<p>入職後の働きぶりや定着の状況についての認識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関しての特別選考で採用された先生の話になるが、やはり実績のある先生であるため、生徒の教員に対する見る目も変わってくると思われる。 ・部活動の顧問・監督として力を発揮されているという事例もある。 ・北海道の地域特性から、スキーやスピードスケート、クロスカントリー、ジャンプなど、冬のスポーツで活躍された方の出願が多いと認識している。
<p>配置・研修等に関し留意している点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関する特別選考で入職した方は自身が専門とする部が設置されている高校に配置するよう配慮しているが、教科のバランスの中での配置も考える必要がある(該当者の教科が「保健体育」とは限らない)。 ・他方、特定の学校に長く在籍し続けることになる傾向もあり、人事異動の面で難しさを感じるところもある。 ・研修については初任者研修・中堅研修等、教員としての勤務年数に応じて定まった形で実施しており、特に民間企業等勤務経験者だからといって差異を設けることはしていない。

<p>入職を増やすための今後の展望や困難さについての認識、その他効果的な入職を検討する上で必要と考える点</p>	<ul style="list-style-type: none">・受験をしてくれる人が減っているのもっと幅広く募集・採用の対象としたいから民間企業等勤務経験者ということなのか、民間企業等の経験を積まれている中で特定の教科の免許を持っている方になってもらおうということなのか、さらに免許は有していなくても教育的な効果がある経験をされているので特別免許状を発行してでも採用しようということなのかで、採用についての考え方が異なると思われる。・後者の2つの観点については、各高校においてどういう人材を求めるかということにもよると思うが、そこまで要請等が明確になっているわけではない。前者については、常に門戸を開いているということで対応している。・民間企業等の経験を有する方を積極的に採用するというような判断をするためのエビデンスはないと思われるため、検討は難しい。・特別免許状による採用などに関しては、生徒指導や進路指導等の面で不安を感じて辞退をされる方などもおり、専門的な知識・技能というものを生徒に伝える上では非常にいい取組だとは思いますが、課題もあるというのが現状である。
--	--

②埼玉県教育委員会

埼玉県教育委員会では、志願者数のうち12～15%が民間企業等の経験を有する者である。民間企業等勤務経験者の合格率は、全体の合格率よりは低く、その中で、高校・特別支援学校の方が小・中学校より合格率が高いという傾向にあるということであった。

採用に当たり民間企業等勤務経験者を特別視しているわけではないものの、期待することとして、「スペシャリストとして」、「多様化への対応という観点で学校の教育力を高める存在として」、「学校の特色化・活性化を図る中でスキルや力を発揮する存在として」という3つのことが挙げられた。また、現状として、進路指導やキャリア教育で経験を活かした指導をするといったことがあるのではないかと指摘があった。

配置・研修の面でも、制度上特段の差異を設けているわけではないが、各学校では、経歴に応じて一定の配慮がなされているのではないかと指摘があった。研修に関しては、今後特別免許状による入職者を増やそうと考える場合には、研修等の在り方を検討する必要があるかもしれないといった話も聞かれた。

民間企業等勤務経験者の採用を考える上では広く募集を行っていくというよりも、学校のニーズや課題を踏まえた上で、ターゲットを絞って募集することを検討している。また、民間企業からの転職をキャリアアップとしてポジティブにみるということも必要なのではないかと指摘もあった。

図表 3-2-2 埼玉県教育委員会での状況等について

<p>近年の応募状況等について(人数の増減、特定の属性の方の増加傾向など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の志願者数は毎年減ってきている。受験時に志願者の方が申し出たものを基としたデータであるが、民間企業等勤務経験者の割合は、毎年12～15%程度という状況にある。 ・合格率としては、民間企業等勤務経験者の方が全体の合格率よりは低い状況にある。ただ、小・中学校よりも高校や特別支援学校の方が民間企業等勤務経験者の合格率が高い傾向にあるという状況にある。
<p>民間企業等勤務経験者へ期待すること・求めるもの、広報等の工夫、採用試験制度上での工夫等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・採用選考の場面では、公正・公平に面接等の試験を受けることになる。 ・そのうえで、教育委員会として期待していることとしては大きく3点。 <ul style="list-style-type: none"> ①スペシャリストとして、民間企業等で優れた知識や経験等を有している方を即戦力的な部分で期待している。 ②新しい時代への対応が求められる中、学校教育の多様化への対応や多様な人材が活躍する学校というところで、学校の教育力を高めていくことについての期待がある。 ③特に高校は特色ある学校づくりを進めているところで、学校の特色化・活性化を図る中でスキルや力を発揮することを期待している。 ・採用試験制度においては、その時々で求められる人材のターゲットや応募の状況等を踏まえて見直しをしながら対応してきた。 ・広報では、特別なことをしているわけではないが、採用案内のパンフレットで多様な人材が採用されていることをアピールするように工夫している。そのほか、特定の職種については協会等の団体に広報をしたり、特別な説明会等を実施したりしている。

<p>入職後の働きぶりや定着の状況についての認識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定着について、5年未満で退職する者の数や割合を調査したが、全体に比べて民間企業等勤務経験者が特段多い／少ないということにはなかった。ただ、一定数が退職しているのは確かである。 ・職務内容については、新卒でも民間企業等勤務経験者でも経歴に関係なく基本的に同様である。それぞれの経験やスキルを職務の場面に応じて活かせることはある。例えば、民間企業の経験から進路指導やキャリア教育において、その経験を活かした指導をするといったことは考えられる。
<p>配置・研修等に関し留意している点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配置については、基本的に民間企業等での勤務経験の有無に関係なく、教職員の特性・能力・勤務実績及び職務経験並びに、各学校の教職員構成及び地域社会との関係を考慮して適材を適時に配置している。ただし、「看護」で採用された教員は、看護師免許を有し、医療施設での勤務経験がある教員であるので、看護科のある高校に配置している。 ・研修は、経歴に関係なく他の教員と同様に年次研修等を受講し、資質能力の向上を図っている。特別免許状の者だけを対象とした研修は実施していない。ただ、各学校の中で経歴に応じて一定の配慮をされていると思われる。 ・小学校では、ほぼ全ての初任者が1年目から担任をもつが、高校では1年目から担任をもつケースはほとんどなく、教科指導を中心に1年間勤務することになる。そのような点から、民間企業等勤務経験者にとっては、高校が一番ソフトラッキングやステップアップをしやすいのではないかと考えられる。
<p>入職を増やすための今後の展望や困難さについての認識、その他効果的な入職を検討する上で必要と考える点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な人材を積極的に活用したいと考える一方で、特別免許状を発行することを前提とした採用について考えた場合、特別免許状を所有する教員の割合はどれくらいが適性なのかという点は課題の一つである。 ・民間企業等勤務経験者を対象とした特別選考や特別免許状による入職者を増やそうと考えた場合には、研修の在り方や定着の面で課題が出てくる可能性もあると考えている。 ・優秀な教員の採用が至上命題であり、優秀な教員を確保するためには志願者数を増やすということが最重要課題である。その観点から、民間企業等勤務経験者もターゲットにしていくことも取組の一つであると考えている。現状は、広く募集をしていくというよりは、学校のニーズや課題も踏まえた上でターゲットを絞って特別選考等を行っている。 ・転職をキャリアアップというポジティブなイメージで人物を見極めることができれば、民間企業等からの入職を効果的に増やすことに繋がっていくと考えている。

③和歌山県教育委員会

和歌山県教育委員会では、志願者数のうち5%が民間企業等での勤務経験を有する方であり、合格率は10~20%程度で、全体の割合よりは低い傾向にあるということであった。なお、和歌山県では、一つの特徴として、博士号取得者に対する特別の選考を行っている。

民間企業等勤務経験者に期待することとして、産業系の学科等で教える場合に新たな技術の取得が期待できること、進路指導での経験を活かした指導等が期待できること、海外での経験などにより生徒の視野・興味を広げるといった効果が期待できることなどが挙げられた。また、実際に入職した方について、従来の学校にはない発想での提案・アイデアを出してもらったという経験があるといった話もあった。

採用後の研修に関しては、基本的には入職の経路等による差異はないものの、特別免許状で入職する方については別途一週間程度の現場での研修を受けてもらったとのことであった。配置に関しても、民間企業等勤務経験者だからというわけではないが、能力・経験と学校の特性等の対応関係を意識した配置がなされているということであった。

今後について、一般的な話として、教員の仕事に関するマイナスのイメージを払拭していく必要はあるのではないかとということが挙げられた。また、民間企業等勤務経験者に目を向けていくにしても、公平性の観点から、どのような線引きをして考えるかということは課題になるという指摘があった。

なお、現在、高校の生徒に対する進路指導の際に教員という仕事も意識してもらおうという働きかけをしているということで、将来的な人材確保のための取組も検討していることがうかがえた。

図表 3-2-3 和歌山県教育委員会での状況等について

<p>近年の応募状況等について(人数の増減、特定の属性の方の増加傾向など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の受験者数に対し、近年では5%弱の人が民間企業等の経験者である。また、民間企業等での勤務経験がある受験者のうち、合格者は10%~20%である(全体の割合からすると若干合格率は低い傾向)。 ・なお、和歌山県では博士号を持っている方についての特別の選考を行っており、平成31年度受験の時から対象を拡大し、受験者としての数も増えてきている。
<p>民間企業等勤務経験者へ期待すること・求めるもの、広報等の工夫、採用試験制度上での工夫等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業系の学科で、工業系や農業系の学科に民間企業等で働いていた方が入られることになれば、やはり新たな教育というか、技術の取得が期待できるといったことはあると思われる。また、高校に関しては進路の指導の面で、民間企業で働いた経験を持って進路指導に当たってもらうことで、社会人になるための心構えであったりとか、又は経験を伝えることで生徒の意欲関心を高めるとか、そういったことは期待しているところである。 ・例えば海外で働いた経験を持っている方もいらっしゃるため、将来自分がどうなるのかわからない子供達に対して、一つの視野を広げると言う意味では、そういった方に喋ってもらうというだけでも子供達の興味付けは変わってくるので、良い刺激になっているのではないかと思っている。 ・これまで博士号を持たれている方への広報としては、大学院に出向いて採用募集について告知してまわっていた。また、民間企業で働いていて免許が休眠状態になっているような方を対象に、ハローワークに行き行ってポスターを掲示したりするといった活動もしていた。

<p>入職後の働きぶりや定着の状況についての認識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入職後の面談の中で、結構恐縮していると言うか、「1年目なので思う様に自分の力を発揮していないんです」というような、率直な意見もある。ただ、これは民間企業等勤務経験者だからというわけではないが、何年か経った後に校長先生から話を聞くと、力を発揮しているということで聞いている。 ・博士号を持たれている方については生徒指導に関わる部分は若干苦手な部分があるかもしれないが、スーパーサイエンスハイスクールに認定されている学校で活躍しているという事例もある。 ・教師しか知らない人間からすると、発想がユニークと言うか豊かと言うか、従来の方法から発想を変えているような提案・アイデアを出してもらったという経験もある。
<p>配置・研修等に関し留意している点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修については基本的には差異を設けていない。ただ、特別免許状で入職する方に関しては、その方の希望にもよるが、一週間程度の現場の高校での研修を受けてもらった。 ・配置に関しては、民間企業等での勤務経験があるからというわけではないが、その方の能力や経験を鑑みて、その点を重視している学校に配置するということがある。例えば機械を使う専門的な民間企業におられた方がいた場合は工業高校に配置したり、英語で海外経験があつて、特に優れているような能力を持っている方に関しては国際教育が盛んな学校に入ってもらったりというような工夫というか、配置を少し留意している。
<p>入職を増やすための今後の展望や困難さについての認識、その他効果的な入職を検討する上で必要と考える点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には採用試験を受けてもらう受験生を増やしていくということにつながると思われる。今一番危惧しているのは教員がブラックであるとか、いわゆるマイナスのイメージを数年前から持たれているというところ。働き方改革を進めていることは当然アピールをしており、また、大学等を訪問する際に企業に行った後に戻って先生になった人もいますよという話をしながら、少しでも教員になるということを意識に残してもらえるような声かけ等をしている。 ・今後学校が減ってきて再編する中では、企業等の経験を持った方に特に着目することにもなるかもしれないが、公平性の観点から、どこに線を引くかということが課題にもなるのではないかと思われる。 ・なお、現在、高校生に対する進路指導をする中で、教員免許を取ることを勧めている。例えば工業系について、工業高校の生徒が大学に行く際に免許を取って、仮に一般の企業に就職した後でも、免許があれば帰ってきて先生になれるということについて話をするのを進路指導でもお願いしているところである。

參考資料

1. 調査票

入職経路・経験と指導の現状等に関する調査 調査票¹⁶

アンケート御回答に当たってのお願い

- 本用紙はアンケート調査の内容をお示しするためのものです。調査の回答はウェブ上に設置している回答ページよりお願いします。
- このアンケートは、公立高等学校の採用選考試験を経て採用された教諭(本務者、再任用の場合を含む)の方を対象にしています(ただし、他の学校種の採用選考試験により教諭になった方、栄養教諭、実習教諭、養護教諭、講師、臨時的任用教員、職員等は本調査の対象ではありません)。
- それぞれの質問について、選択肢からあてはまるものを選ぶか、数字や文章で回答してください。
- 無記名アンケートです。回答結果は統計的に処理・集計を行います。このアンケートの結果に基づき、個人を特定したり、個別に評価を行ったりすることはありません。
- 場合によっては答えにくい部分があるかも知れませんが、実態や考えに最も近いものを選択してください。

あなた自身のことについて

1 あなたの勤務している学校の都道府県を選んでください。(ひとつ選択)

2 あなたの性別について、あてはまるものを選んでください。(ひとつ選択)

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

3 あなたの年齢について、教えてください。(数字で回答)

 歳 (2020年4月1日現在)

4 あなたの最終学歴について、教えてください。(ひとつ選択)

1. 大学学部
 2. 大学院修士課程・大学院博士前期課程・専門職大学院(例:教職大学院)
 3. 大学院博士後期課程
 4. その他()

¹⁶ レイアウトやフォント等、実際にオンライン上に設置した回答ページとは異なる。

5 あなたが卒業・修了した大学等の学部・学科について、教えてください。(すべて選択)

※複数の異なる大学等を卒業・修了した場合には、複数お答えください。

1. 教員養成系学部、研究科
2. 教員養成系以外の教育学系の学部、研究科
3. 教員養成系・教育学系以外の学部、研究科

6 あなたの勤務経験について、下記の①～⑤のそれぞれについて教えてください。(それぞれ、数字で回答)

※出産休暇、育児休業などの長期休暇・休業の期間は除外してください。

※必ずしも連続した期間勤務していなくても構いません。通算年数でお考えください。

※小数点以下は切り上げて、整数でお答えください。

※該当しないものがある場合は0(ゼロ)と記入してください。

①教員としての通算勤務年数

※講師や臨時的任用を含み、私立学校での勤務経験も含みます。

※教育委員会の指導主事としての勤務経験も含みます。

※学習塾等での勤務は③または④として回答してください。

年

②上記①のうち、公立学校の教諭(本務者)としての通算勤務年数

※高等学校以外の公立学校での勤務年数を含みます。

年

③教員以外の他の仕事での勤務年数

※いわゆるアルバイトの経験も含みます(ただし、大学等在籍中のアルバイトの経験は除く)。

年

④上記③のうち、「民間企業社員・団体職員」での勤務年数

※いわゆるアルバイトや、派遣社員・契約社員の場合は除きます。

年

⑤上記③のうち、「公務員」としての勤務年数

※いわゆるアルバイトや、派遣社員・契約社員の場合は除きます。

年

7 あなたが公立の高等学校の教諭(本務者)として最初に働き始めたときの年齢について、教えてください。(数字で回答)

歳

参考資料

8 現在担任をもっていますか。担任をもっている場合、何年生の担任であるかについても教えてください。(ひとつ選択の上、学年は数字で回答)

- | | | |
|--------------|----------------------|----|
| 1. 担任をもっている | <input type="text"/> | 年生 |
| 2. 副担任をもっている | <input type="text"/> | 年生 |
| 3. 担任をもっていない | | |

取得免許、試験、その他の経験について

9 あなたが公立の高等学校教員採用選考試験を経て採用された際に取得していた(授与された)教員免許状の種類について、教えてください。(すべて選択)

1. 普通免許状(専修、一種)
2. 特別免許状
3. 臨時免許状

(「普通免許状(専修、一種)」を選択した場合のみ)

10 「普通免許状」を取得したタイミングや方法はどのようなものですか。(すべて選択)

※複数の免許状を異なるタイミング・方法で取得した場合には、複数お答えください。

1. 高等学校等卒業直後の大学等在学中に取得
2. 大学等を卒業・修了後、大学等に再度入学し科目等履修生等として取得
3. 大学等を卒業・修了後、大学等に再度入学し通信制課程で取得
4. 大学等を卒業・修了後、教職特別課程で取得
5. その他 ()

11 高等学校以外に保有している免許状の種類について、教えてください。(すべて選択)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 幼稚園教諭免許状 | 2. 小学校教諭免許状 |
| 3. 中学校教諭免許状 | 4. 特別支援学校教諭免許状 |
| 5. 養護教諭免許状 | 6. 栄養教諭免許状 |
| 7. 高等学校教諭免許状のみ | |

12 高等学校について、あなたが保有する免許状の教科等を教えてください。(すべて選択)

- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1. 国語 | 2. 地理歴史 | 3. 公民 | 4. 数学 |
| 5. 理科 | 6. 音楽 | 7. 美術 | 8. 工芸 |
| 9. 書道 | 10. 保健体育 | 11. 保健 | 12. 看護 |
| 13. 看護実習 | 14. 家庭 | 15. 家庭実習 | 16. 情報 |
| 17. 情報実習 | 18. 農業 | 19. 農業実習 | 20. 工業 |
| 21. 工業実習 | 22. 商業 | 23. 商業実習 | 24. 水産 |
| 25. 水産実習 | 26. 福祉 | 27. 福祉実習 | 28. 商船 |
| 29. 商船実習 | 30. 職業指導 | 31. 外国語 | 32. 宗教 |
| 33. 柔道 | 34. 剣道 | 35. 情報技術 | 36. 建築 |
| 37. インテリア | 38. デザイン | 39. 情報処理 | 40. 計算実務 |

13 あなたが現在高等学校において主に担当している教科を教えてください。(すべて選択)

※主なものが複数ある場合や、年度によって担当の教科が異なる場合等はそれぞれお答えください。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 国語 | 2. 地理歴史 | 3. 公民 |
| 4. 数学 | 5. 理科 | 6. 保健体育 |
| 7. 芸術 | 8. 外国語 | 9. 家庭 (共通教科) |
| 10. 情報 (共通教科) | 11. 理数 | 12. 総合的な探求の時間 |
| 13. 農業 | 14. 工業 | 15. 商業 |
| 16. 水産 | 17. 家庭 (専門教科) | 18. 看護 |
| 19. 情報 (専門教科) | 20. 福祉 | 21. その他 |

14 あなたが受験した採用選考試験で、最終的に教諭 (本務者) としての採用が決まった際に適用されたものについて、教えてください。(すべて選択)

※「特別の選考」には、一部試験免除、加点、特別免許状を活用した選考、その他の特別な選考を含むものとしてお考えください。

1. 一般選考
2. 社会人を対象とした特別の選考 (民間企業等経験による特別の選考)
3. 教職経験による特別の選考
4. 英語の資格等による特別の選考
5. スポーツ・芸術での技能や実績による特別の選考
6. 国際貢献活動経験による特別の選考
7. 複数免許状の所持による特別の選考
8. 前年度試験での実績による特別の選考
9. いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別の選考
10. 大学推薦による特別の選考
11. 障害に配慮した特別の選考
12. 上記以外の資格や実績・経験等による特別の選考 ()
13. その他 ()

19 あなたが、公立学校教員採用選考試験を受験するに当たり、次のようなことはどの程度課題と感じましたか。(それぞれひとつ選択)

	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない
準備のための時間を確保することが難しい	1	2	3	4
希望する自治体の試験の日程調整が難しい	1	2	3	4
筆記試験の内容が多岐にわたり対策が難しい	1	2	3	4
学習指導要領や教育時事等、新しい内容のことについて学ぶことが難しい	1	2	3	4
論作文試験の対策が難しい	1	2	3	4
面接試験の対策が難しい	1	2	3	4
模擬授業・場面指導の対策が難しい	1	2	3	4
教員免許状を取得することが難しい	1	2	3	4

(6)の③(教員以外の他の仕事での勤務年数)で1年以上の回答がある者のみ)

あなたが公立学校教員採用選考試験を受験するにあたり課題と感じたことがあれば、具体的に教えてください。

20 公立学校教員採用選考試験に関し、あればよいと思う制度・充実したほうがよいと思う制度等があれば教えてください。(すべて選択)

1. より広域での採用説明会の開催
2. 複数の時期での採用説明会の開催
3. より広域での採用選考試験の実施
4. 複数の時期での採用選考試験の実施
5. 筆記試験等の結果をより重視した採用選考試験の実施
6. 面接等での人物評価をより重視した採用選考試験の実施
7. 資格や経験、実績等をより重視した採用選考試験の実施
8. 試験制度等全般に関する情報発信の充実
9. その他 ()
10. 特にない

現在の指導等について

21 あなたは、教科指導等に関し、現在次のようなことについてどの程度自信を持っていますか。（それぞれひとつ選択）

	自信を持っている	どちらかという自信を持っている	どちらかという自信を持っていない	自信を持っていない
担当教科等に関する知識と理解	1	2	3	4
担当教科等の指導法に関する能力	1	2	3	4
指導用の ICT (情報通信技術) 技能	1	2	3	4
教材の選定・作成をすること	1	2	3	4
課題・試験問題の作成をすること	1	2	3	4
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	1	2	3	4
教科横断的なスキルの指導 (例：創造性、批判的思考力、問題解決能力)	1	2	3	4
指導内容を考え授業計画を立てること	1	2	3	4
生徒の評価方法に関する理解	1	2	3	4
PDCA サイクルを意識した継続的な授業改善	1	2	3	4
個に応じた学習手法	1	2	3	4
特別な支援を要する生徒への指導	1	2	3	4

〔6〕の③（教員以外の他の仕事での勤務年数）で1年以上の回答がある者のみ

教科指導等に関し、あなたの教員以外の他の仕事（民間企業等）での勤務の経験が活かされていると思うことがあれば、具体的に教えてください。

教科指導等に関し、現在あなたが特に自信がないと思うことがあれば、具体的に教えてください。

22 あなたは、授業実践、生徒指導等に関し、現在次のようなことについて、どの程度できていると思いますか。(それぞれひとつ選択)

	できている	どちらかという うとできている	どちらかという うとできていない	できていない
生徒に勉強ができると自信を持たせる	1	2	3	4
生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする	1	2	3	4
生徒がわからない時には、別の説明の仕方を工夫する	1	2	3	4
デジタル技術の利用によって生徒の学習を支援する(例: コンピュータ、タブレット、電子黒板)	1	2	3	4
生徒一人一人の学習状況を把握し、学習指導につなげている	1	2	3	4
学級内の秩序を保つ指導を行う	1	2	3	4
生徒同士のコミュニケーションを促す	1	2	3	4
十分な授業準備をする	1	2	3	4
熱意を持って取り組む	1	2	3	4
生徒をよく理解する	1	2	3	4
キャリア教育の観点から生徒に指導・助言等をする	1	2	3	4

(6)の③(教員以外の他の仕事での勤務年数)で1年以上の回答がある者のみ)
 授業実践、生徒指導等に関し、あなたの教員以外の他の仕事(民間企業等)での勤務の経験が活かされていると思うことがあれば、具体的に教えてください。

授業実践、生徒指導等に関し、現在あなたが特にできていないと思うことがあれば、具体的に教えてください。

参考資料

23 以下のことは、あなたにどの程度あてはまりますか。(それぞれひとつ選択)

	非常によく あてはまる	あてはまる	あてはまら ない	まったく あてはまら ない
指導や学習についての新しいアイデアを発展させる努力をしている	1	2	3	4
専門性を高めるための研修会等に参加する	1	2	3	4
同僚等と授業に関して相談や情報交換をする	1	2	3	4
教員としての仕事に使命感・責任感を有している	1	2	3	4
広い教養・常識を有している	1	2	3	4
協調性・コミュニケーション能力を有している	1	2	3	4
他の教職員と積極的に関わりながら学校の中での役割を果たしている	1	2	3	4
保護者や地域と連携・協働して良好な関係を築いている	1	2	3	4
関係機関と連携・協働して課題対応等に取り組んでいる	1	2	3	4
学校事故等の危機を予測した未然防止や危機を察知した際の迅速な対応を意識して行動している	1	2	3	4

(6)の③(教員以外の他の仕事での勤務年数)で1年以上の回答がある者のみ)

自身の能力・専門性等を高めることや他の教員・保護者との関係性等について、あなたの教員以外の他の仕事(民間企業等)での勤務の経験が活かされていると思うことがあれば、具体的に教えてください。

自身の能力・専門性等を高めることや他の教員・保護者との関係性等について、現在あなたが特にできていないと思うことがあれば、具体的に教えてください。

満足度や課題認識等

24 以下のことは、あなたにどの程度あてはまりますか。(それぞれひとつ選択)

	非常によく あてはまる	あてはまる	あてはまら ない	まったく あてはまら ない
今の仕事にやりがいを感じている	1	2	3	4
今の仕事を通じて成長できている	1	2	3	4
今の仕事で自分の能力を十分に発揮できている	1	2	3	4
全体としてみれば、この仕事に満足している	1	2	3	4

〔6〕の③（教員以外の他の仕事での勤務年数）で1年以上の回答がある者のみ

あなたが現在教師としての仕事に関して感じていること等について、具体的に教えてください。

調査は以上です。御協力ありがとうございます。

参考資料

2. 基礎集計表

(1) 回答者全体の集計表

あなた自身のことについて

Q1 あなたの勤務している学校の都道府県を選んでください。

	件数	割合
		N=670
北海道	243	36.3
埼玉県	297	44.3
和歌山県	130	19.4
全体	670	100.0

Q2 あなたの性別について、あてはまるものを選んでください。

	件数	割合
		N=670
男性	508	75.8
女性	151	22.5
答えたくない	11	1.6
全体	670	100.0

Q3 あなたの年齢について、教えてください。

	件数	割合
		N=670
20代	98	14.6
30代	154	23.0
40代	187	27.9
50代	171	25.5
60代	60	9.0
全体	670	100.0

Q4 あなたの最終学歴について、教えてください。

	件数	割合
		N=670
大学学部	549	81.9
大学院修士課程・大学院博士前期課程・専門職大学院（例：教職大学院）	110	16.4
大学院博士後期課程	6	0.9
その他	5	0.7
全体	670	100.0

Q5 あなたが卒業・修了した大学等の学部・学科について、教えてください。（複数回答）

	件数	割合
		N=670
教員養成系学部、研究科	159	23.7
教員養成系以外の教育学系の学部、研究科	51	7.6
教員養成系・教育学系以外の学部、研究科	477	71.2
全体	670	-

Q6 あなたの勤務経験について、下記の①～⑤のそれぞれについて教えてください。

① 教員としての通算勤務年数

	件数	割合	割合 (除無回答等) N=667
		N=670	N=667
5年以下	88	13.1	13.2
～10年以下	102	15.2	15.3
～20年以下	165	24.6	24.7
～30年以下	154	23.0	23.1
30年より長い	158	23.6	23.7
無回答・判別不能	3	0.4	-
全体	670	100.0	100.0

② 上記①のうち、公立学校の教諭（本務者）としての通算勤務年数

	件数	割合	割合 (除無回答等) N=661
		N=670	N=661
5年以下	120	17.9	18.2
～10年以下	105	15.7	15.9
～20年以下	150	22.4	22.7
～30年以下	145	21.6	21.9
30年より長い	141	21.0	21.3
無回答・判別不能	9	1.3	-
全体	670	100.0	100.0

③ 教員以外の他の仕事での勤務年数

	件数	割合	割合 (除無回答等) N=668
		N=670	N=668
0年	459	68.5	68.7
～1年以下	50	7.5	7.5
～3年以下	68	10.1	10.2
～5年以下	38	5.7	5.7
5年より長い	53	7.9	7.9
無回答・判別不能	2	0.3	-
全体	670	100.0	100.0

④ 上記③のうち、「民間企業社員・団体職員」での勤務年数

	件数	割合	割合 (除無回答等) N=668
		N=670	N=668
0年	549	81.9	82.2
～1年以下	30	4.5	4.5
～3年以下	41	6.1	6.1
～5年以下	22	3.3	3.3
5年より長い	26	3.9	3.9
無回答・判別不能	2	0.3	-
全体	670	100.0	100.0

⑤ 上記③のうち、「公務員」としての勤務年数

	件数	割合 N=670	割合 (除無回答等) N=668
0年	634	94.6	94.9
～1年以下	10	1.5	1.5
～3年以下	8	1.2	1.2
～5年以下	7	1.0	1.0
5年より長い	9	1.3	1.3
無回答・判別不能	2	0.3	-
全体	670	100.0	100.0

Q7 あなたが公立の高等学校の教諭（本務者）として最初に働き始めたときの年齢について、教えてください。

	件数	割合 N=670	割合 (除無回答等) N=668
20代	575	85.8	86.1
30代	80	11.9	12.0
40歳以上	13	1.9	1.9
無回答・判別不能	2	0.3	-
全体	670	100.0	100.0

Q8 現在担任をもっていますか。担任をもっている場合、何年生の担任であるかについても教えてください。

	件数	割合 N=670
担任をもっている	260	38.8
副担任をもっている	206	30.7
担任をもっていない	204	30.4
全体	670	100.0

Q8 何年生の担任であるか教えてください。

	件数	割合 N=260
1年生	97	37.3
2年生	76	29.2
3年生	84	32.3
4年生	3	1.2
全体	260	100.0

【「副担任をもっている」と回答した方にうかがいます】

Q8 何年生の副担任であるか教えてください。

	件数	割合 N=206
1年生	73	35.4
2年生	64	31.1
3年生	68	33.0
4年生	1	0.5
全体	206	100.0

取得免許、試験、その他の経験について

Q9 あなたが公立の高等学校教員採用選考試験を経て採用された際に取得していた（授与された）教員免許の種類について、教えてください。（複数回答）

	件数	割合 N=670
普通免許状（専修、一種）	667	99.6
特別免許状	4	0.6
臨時免許状	3	0.4
全体	670	-

【Q9で「普通免許状（専修、一種）」と回答した方にうかがいます】

Q10 「普通免許状」を取得したタイミングや方法はどのようなものですか。（複数回答）

	件数	割合 N=667
高等学校等卒業直後の大学等在学中に取得	576	86.4
大学等を卒業・修了後、大学等に再度入学し科目等履修生等として取得	66	9.9
大学等を卒業・修了後、大学等に再度入学し通信制課程で取得	31	4.6
大学等を卒業・修了後、教職特別課程で取得	43	6.4
その他	25	3.7
全体	667	-

Q11 高等学校以外に保有している免許状の種類について、教えてください。（複数回答）

	件数	割合 N=670
幼稚園教諭免許状	6	0.9
小学校教諭免許状	86	12.8
中学校教諭免許状	464	69.3
特別支援学校教諭免許状	23	3.4
養護教諭免許状	3	0.4
栄養教諭免許状	0	0.0
高等学校教諭免許状のみ	194	29.0
全体	670	-

参考資料

Q12 高等学校について、あなたが保有する免許状の教科等を教えてください。（複数回答）

	件数	割合	
		N=670	
国語	88	13.1	
地理歴史	99	14.8	
公民	94	14.0	
数学	108	16.1	
理科	85	12.7	
音楽	10	1.5	
美術	4	0.6	
工芸	1	0.1	
書道	10	1.5	
保健体育	80	11.9	
保健	5	0.7	
看護	2	0.3	
看護実習	0	0.0	
家庭	25	3.7	
家庭実習	1	0.1	
情報	54	8.1	
情報実習	0	0.0	
農業	27	4.0	
農業実習	0	0.0	
工業	49	7.3	
工業実習	2	0.3	
商業	56	8.4	
商業実習	0	0.0	
水産	1	0.1	
水産実習	0	0.0	
福祉	6	0.9	
福祉実習	0	0.0	
商船	0	0.0	
商船実習	0	0.0	
職業指導	2	0.3	
外国語	84	12.5	
宗教	0	0.0	
柔道	1	0.1	
剣道	1	0.1	
情報技術	1	0.1	
建築	2	0.3	
インテリア	0	0.0	
デザイン	0	0.0	
情報処理	0	0.0	
計算実務	0	0.0	
全体	670	-	

Q13 あなたが現在高等学校において主に担当している教科を教えてください。（複数回答）

	件数	割合	
		N=670	
国語	81	12.1	
地理歴史	76	11.3	
公民	60	9.0	
数学	101	15.1	
理科	68	10.1	
保健体育	75	11.2	
芸術	21	3.1	
外国語	81	12.1	
家庭（共通教科）	20	3.0	
情報（共通教科）	18	2.7	
理数	2	0.3	
総合的な探求の時間	27	4.0	
農業	25	3.7	
工業	45	6.7	
商業	43	6.4	
水産	0	0.0	
家庭（専門教科）	9	1.3	
看護	1	0.1	
情報（専門教科）	0	0.0	
福祉	4	0.6	
その他	18	2.7	
全体	670	-	

Q14 あなたが受験した採用選考試験で、最終的に教諭（本務者）としての採用が決まった際に適用されたものについて、教えてください。（複数回答）

	件数	割合	
		N=670	
一般選考	600	89.6	
社会人を対象とした特別の選考（民間企業等経験による特別の選考）	2	0.3	
教職経験による特別の選考	44	6.6	
英語の資格等による特別の選考	9	1.3	
スポーツ・芸術での技能や実績による特別の選考	5	0.7	
国際貢献活動経験による特別の選考	1	0.1	
複数免許状の所持による特別の選考	0	0.0	
前年度試験での実績による特別の選考	14	2.1	
いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別の選考	0	0.0	
大学推薦による特別の選考	3	0.4	
障害に配慮した特別の選考	0	0.0	
上記以外の資格や実績・経験等による特別の選考	5	0.7	
その他	4	0.6	
全体	670	-	

Q15 あなたが教諭（本務者）として採用された年度に、あなたはいくつの都道府県・市等の公立学校教員採用選考試験を受験しましたか。

	件数	割合		割合 (除無回答等) N=669
		N=670		
1つ	556	83.0	83.1	
2つ	82	12.2	12.3	
3つ	23	3.4	3.4	
4つ	6	0.9	0.9	
5つ	2	0.3	0.3	
無回答・判別不能	1	0.1	-	
全体	670	100.0	100.0	

Q16 あなたは教諭（本務者）として採用されるまで、何年度にわたって公立学校教員採用選考試験を受験しましたか。

	件数	割合		割合 (除無回答等) N=665
		N=670		
1年度	298	44.5	44.8	
2年度	118	17.6	17.7	
3年度	87	13.0	13.1	
4～5年度	92	13.7	13.8	
6年度以上	70	10.4	10.5	
無回答・判別不能	5	0.7	-	
全体	670	100.0	100.0	

Q17 あなたは教諭（本務者）として採用されるまで、どのくらいの期間、公立学校教員採用選考試験に関する準備をされましたか。大学等在学期間中と大学等卒業・修了後のそれぞれについてお答えください。

① 高等学校等卒業直後の大学等在学期間中の準備期間

	件数	割合 N=670	割合 (除無回答等) N=669
0年 0か月	172	25.7	25.7
～1年以下	311	46.4	46.5
～2年以下	76	11.3	11.4
～3年以下	36	5.4	5.4
～4年以下	62	9.3	9.3
4年より長い	12	1.8	1.8
無回答・判別不能	1	0.1	-
全体	670	100.0	100.0

② 大学等卒業・修了後の準備期間

	件数	割合 N=670	割合 (除無回答等) N=669
0年 0か月	272	40.6	40.7
～1年以下	153	22.8	22.9
～2年以下	94	14.0	14.1
～3年以下	48	7.2	7.2
～4年以下	30	4.5	4.5
4年より長い	72	10.7	10.8
無回答・判別不能	1	0.1	-
全体	670	100.0	100.0

Q18 あなたが、教員を志望した理由はどのようなことですか。（複数回答）

	件数	割合 N=670
継続的なキャリアアップの機会が得られる	32	4.8
確実な収入が得られる	187	27.9
安定した職業である	287	42.8
特定の地域で勤務できる	106	15.8
大学等で学んだことが活かせる	267	39.9
経験・技能等を活かせる	280	41.8
やりがいがある	414	61.8
子供や若者の成長に影響を与えられる	354	52.8
社会的弱者の手助けができる	28	4.2
社会に貢献できる	196	29.3
その他	44	6.6
全体	670	-

Q19 あなたが、公立学校教員採用選考試験を受験するに当たり、次のようなことはどの程度課題と感じましたか。

	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない	全体
件数	165	191	155	159	670
準備のための時間を確保することが難しい	63	100	172	335	670
希望する自治体の試験の日程調整が難しい	127	234	153	156	670
筆記試験の内容が多岐にわたり対策が難しい	132	256	152	130	670
学習指導要領や教育時事等、新しい内容のことに学ぶことが難しい	81	202	201	186	670
論文試験の対策が難しい	86	191	216	177	670
面接試験の対策が難しい	103	182	161	224	670
模擬授業・場面指導の対策が難しい	19	58	177	416	670
教員免許状を取得することが難しい					
割合	N=670	28.5	28.5	23.1	23.7
準備のための時間を確保することが難しい	N=670	9.4	14.9	25.7	50.0
希望する自治体の試験の日程調整が難しい	N=670	19.0	34.9	22.8	23.3
筆記試験の内容が多岐にわたり対策が難しい	N=670	19.7	38.2	22.7	19.4
学習指導要領や教育時事等、新しい内容のことに学ぶことが難しい	N=670	12.1	30.1	30.0	27.8
論文試験の対策が難しい	N=670	12.8	28.5	32.2	26.4
面接試験の対策が難しい	N=670	15.4	27.2	24.0	33.4
模擬授業・場面指導の対策が難しい	N=670	2.8	8.7	26.4	62.1
教員免許状を取得することが難しい					

Q20 公立学校教員採用選考試験に関し、あればよいと思う制度・充実したほうがよいと思う制度等があれば教えてください。（複数回答）

	件数	割合 N=670
より広域での採用説明会の開催	73	10.9
複数の時期での採用説明会の開催	84	12.5
より広域での採用選考試験の実施	140	20.9
複数の時期での採用選考試験の実施	198	29.6
筆記試験等の結果をより重視した採用選考試験の実施	101	15.1
面接等での人物評価をより重視した採用選考試験の実施	306	45.7
資格や経験、実績等をより重視した採用選考試験の実施	209	31.2
試験制度等全般に関する情報発信の充実	101	15.1
その他	64	9.6
特になし	105	15.7
全体	670	-

現在の指導等について

Q21 あなたは、教科指導等に関し、現在次のようなことについてどの程度自信を持っていますか。

	自信を持っている	どちらかという 自信を持っている	どちらかという 自信を持っていない	自信を持っていない	全体
件数	176	384	97	13	670
担当教科等に関する知識と理解	136	399	116	19	670
担当教科等の指導法に関する能力	66	268	270	66	670
指導用のICT(情報通信技術)技能	119	406	129	16	670
教材の選定・作成をすること	133	404	120	13	670
課題・試験問題の作成をすること	79	304	251	36	670
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	64	273	298	35	670
教科横断的なスキルの指導(例:創造性、批判的思考力、問題解決能力)	116	414	130	10	670
指導内容を考え授業計画を立てること	72	347	222	29	670
生徒の評価方法に関する理解	60	303	271	36	670
P D C Aサイクルを意識した継続的な授業改善	104	345	200	21	670
個に応じた学習手法	73	242	282	73	670
特別な支援を要する生徒への指導					
割合	N=670	26.3	57.3	14.5	1.9
担当教科等に関する知識と理解	N=670	20.3	59.6	17.3	2.8
担当教科等の指導法に関する能力	N=670	9.9	40.0	40.3	9.9
指導用のICT(情報通信技術)技能	N=670	17.8	60.6	19.3	2.4
教材の選定・作成をすること	N=670	19.9	60.3	17.9	1.9
課題・試験問題の作成をすること	N=670	11.8	45.4	37.5	5.4
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	N=670	9.6	40.7	44.5	5.2
教科横断的なスキルの指導(例:創造性、批判的思考力、問題解決能力)	N=670	17.3	61.8	19.4	1.5
指導内容を考え授業計画を立てること	N=670	10.7	51.8	33.1	4.3
生徒の評価方法に関する理解	N=670	9.0	45.2	40.4	5.4
P D C Aサイクルを意識した継続的な授業改善	N=670	15.5	51.5	29.9	3.1
個に応じた学習手法	N=670	10.9	36.1	42.1	10.9
特別な支援を要する生徒への指導					

参考資料

Q22 あなたは、授業実践、生徒指導等に関し、現在次のようなことについて、どの程度できていると思いますか。

		できている	どちらかという できている	どちらかという できていない	できていない	全体
件数	生徒に勉強ができるとう自信を持たせる	86	431	139	14	670
	生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする	83	422	153	12	670
	生徒がわからない時には、別の説明の仕方を工夫する	199	427	39	5	670
	デジタル技術の利用によって生徒の学習を支援する（例：コンピュータ、タブレット、電子黒板）	83	261	231	95	670
	生徒一人一人の学習状況を把握し、学習指導につなげている	73	380	195	22	670
	学級内の秩序を保つ指導を行う	199	393	69	9	670
	生徒同士のコミュニケーションを促す	159	391	111	9	670
	十分な授業準備をする	125	331	177	37	670
	熱意を持って取り組む	268	342	43	17	670
	生徒をよく理解する	157	411	92	10	670
	キャリア教育の観点から生徒に指導・助言等をする	151	381	123	15	670
割合	生徒に勉強ができるとう自信を持たせる	N=670 12.8	64.3	20.7	2.1	100.0
	生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする	N=670 12.4	63.0	22.8	1.8	100.0
	生徒がわからない時には、別の説明の仕方を工夫する	N=670 29.7	63.7	5.8	0.7	100.0
	デジタル技術の利用によって生徒の学習を支援する（例：コンピュータ、タブレット、電子黒板）	N=670 12.4	39.0	34.5	14.2	100.0
	生徒一人一人の学習状況を把握し、学習指導につなげている	N=670 10.9	56.7	29.1	3.3	100.0
	学級内の秩序を保つ指導を行う	N=670 29.7	58.7	10.3	1.3	100.0
	生徒同士のコミュニケーションを促す	N=670 23.7	58.4	16.6	1.3	100.0
	十分な授業準備をする	N=670 18.7	49.4	26.4	5.5	100.0
	熱意を持って取り組む	N=670 40.0	51.0	6.4	2.5	100.0
	生徒をよく理解する	N=670 23.4	61.3	13.7	1.5	100.0
	キャリア教育の観点から生徒に指導・助言等をする	N=670 22.5	56.9	18.4	2.2	100.0

Q23 以下のことは、あなたにどの程度あてはまりますか。

		非常によく あてはまる	あてはまる	あてはまらない	まったく あてはまらない	全体
件数	指導や学習についての新しいアイデアを発展させる努力をしている	144	431	89	6	670
	専門性を高めるための研修会等に参加する	94	273	245	58	670
	同僚等と授業に関して相談や情報交換をする	150	404	100	16	670
	教員としての仕事に使命感・責任感を有している	259	366	37	8	670
	広い教養・常識を有している	111	412	137	10	670
	協調性・コミュニケーション能力を有している	191	404	68	7	670
	他の教職員と積極的に関わりながら学校の中での役割を果たしている	190	401	68	11	670
	保護者や地域と連携・協働して良好な関係を築いている	127	421	111	11	670
	関係機関と連携・協働して課題対応等に取り組んでいる	94	394	159	23	670
	学校事故等の危機を予測した未然防止や危機を察知した際の迅速な対応を意識して行動している	127	467	66	10	670
	割合	指導や学習についての新しいアイデアを発展させる努力をしている	N=670 21.5	64.3	13.3	0.9
専門性を高めるための研修会等に参加する		N=670 14.0	40.7	36.6	8.7	100.0
同僚等と授業に関して相談や情報交換をする		N=670 22.4	60.3	14.9	2.4	100.0
教員としての仕事に使命感・責任感を有している		N=670 38.7	54.6	5.5	1.2	100.0
広い教養・常識を有している		N=670 16.6	61.5	20.4	1.5	100.0
協調性・コミュニケーション能力を有している		N=670 28.5	60.3	10.1	1.0	100.0
他の教職員と積極的に関わりながら学校の中での役割を果たしている		N=670 28.4	59.9	10.1	1.6	100.0
保護者や地域と連携・協働して良好な関係を築いている		N=670 19.0	62.8	16.6	1.6	100.0
関係機関と連携・協働して課題対応等に取り組んでいる		N=670 14.0	58.8	23.7	3.4	100.0
学校事故等の危機を予測した未然防止や危機を察知した際の迅速な対応を意識して行動している		N=670 19.0	69.7	9.9	1.5	100.0

満足度や課題認識等

Q24 以下のことは、あなたにどの程度あてはまりますか。

		非常によく あてはまる	あてはまる	あてはまらない	まったく あてはまらない	全体
件数	今の仕事にやりがいを感じている	222	377	54	17	670
	今の仕事を通じて成長できている	203	397	54	16	670
	今の仕事で自分の能力を十分に発揮できている	147	402	105	16	670
	全体としてみれば、この仕事に満足している	192	398	57	23	670
割合	今の仕事にやりがいを感じている	N=670 33.1	56.3	8.1	2.5	100.0
	今の仕事を通じて成長できている	N=670 30.3	59.3	8.1	2.4	100.0
	今の仕事で自分の能力を十分に発揮できている	N=670 21.9	60.0	15.7	2.4	100.0
	全体としてみれば、この仕事に満足している	N=670 28.7	59.4	8.5	3.4	100.0

(2) 民間企業等勤務経験の有無別の集計表

あなた自身のことについて

01 あなたの勤務している学校の都道府県を選んでください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
北海道	52	190	36.6	36.1
埼玉県	64	232	45.1	44.1
和歌山県	26	104	18.3	19.8
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.92593	

02 あなたの性別について、あてはまるものを選んでください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
男性	111	395	78.2	75.1
女性	31	120	21.8	22.8
答えたくない	0	11	0.0	2.1
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.20630	

03 あなたの年齢について、教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
20代	1	97	0.7	18.4
30代	41	112	28.9	21.3
40代	45	141	31.7	26.8
50代	37	134	26.1	25.5
60代	18	42	12.7	8.0
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00000	

04 あなたの最終学歴について、教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
大学学部	115	433	81.0	82.3
大学院修士課程・大学院博士前期課程・専門職大学院（例：教職大学院）	20	89	14.1	16.9
大学院博士後期課程	2	4	1.4	0.8
その他	5	0	3.5	0.0
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00020	

05 あなたが卒業・修了した大学等の学部・学科について、教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	有意差	p値
教員養成系学部、研究科	22	137	15.5	26.0	***	0.00879
教員養成系以外の教育学系の学部、研究科	8	42	5.6	8.0	X	0.34481
教員養成系・教育学系以外の学部、研究科	117	359	82.4	68.3	***	0.00095
全体	142	526	-	-		

06 あなたの勤務経験について、下記の①～⑤のそれぞれについて教えてください。

06 ① 教員としての通算勤務年数

	件数		割合		割合（除無回答等）	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=525
5年以下	15	73	10.6	13.9	10.6	13.9
～10年以下	23	79	16.2	15.0	16.2	15.0
～20年以下	51	114	35.9	21.7	35.9	21.7
～30年以下	28	126	19.7	24.0	19.7	24.0
30年より長い	25	133	17.6	25.3	17.6	25.3
無回答・判別不能	0	1	0.0	0.2	-	-
全体	142	526	100.0	100.0	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00776			

06 ② 上記①のうち、公立学校の教諭（本務者）としての通算勤務年数

	件数		割合		割合（除無回答等）	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	民間企業等での勤務経験「あり」 N=141	民間企業等での勤務経験「なし」 N=520
5年以下	21	99	14.8	18.8	14.9	19.0
～10年以下	29	76	20.4	14.4	20.6	14.6
～20年以下	44	106	31.0	20.2	31.2	20.4
～30年以下	27	118	19.0	22.4	19.1	22.7
30年より長い	20	121	14.1	23.0	14.2	23.3
無回答・判別不能	1	6	0.7	1.1	-	-
全体	142	526	100.0	100.0	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00676			

06 ③ 教員以外の他の仕事での勤務年数

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
0年	0	459	0.0	87.3
～1年以下	26	24	18.3	4.6
～3年以下	44	24	31.0	4.6
～5年以下	28	10	19.7	1.9
5年より長い	44	9	31.0	1.7
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00000	

参考資料

06 ④ 上記③のうち、「民間企業社員・団体職員」での勤務年数

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経歴「あり」	民間企業等での勤務経歴「なし」	民間企業等での勤務経歴「あり」 N=142	民間企業等での勤務経歴「なし」 N=526
0年	23	526	16.2	100.0
～1年以下	30	0	21.1	0.0
～3年以下	41	0	28.9	0.0
～5年以下	22	0	15.5	0.0
5年より長い	26	0	18.3	0.0
無回答	0	0	0.0	0.0
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00000	

06 ⑤ 上記③のうち、「公務員」としての勤務年数

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経歴「あり」	民間企業等での勤務経歴「なし」	民間企業等での勤務経歴「あり」 N=142	民間企業等での勤務経歴「なし」 N=526
0年	108	526	76.1	100.0
～1年以下	10	0	7.0	0.0
～3年以下	8	0	5.6	0.0
～5年以下	7	0	4.9	0.0
5年より長い	9	0	6.3	0.0
無回答	0	0	0.0	0.0
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00000	

07 あなたが公立の高等学校の教諭（本務者）として最初に働き始めたときの年齢について、教えてください。

	件数		割合		割合（除無回答等）	
	民間企業等での勤務経歴「あり」	民間企業等での勤務経歴「なし」	民間企業等での勤務経歴「あり」 N=142	民間企業等での勤務経歴「なし」 N=526	民間企業等での勤務経歴「あり」 N=142	民間企業等での勤務経歴「なし」 N=524
20代	86	488	60.6	92.8	60.6	93.1
30代	46	33	32.4	6.3	32.4	6.3
40歳以上	10	3	7.0	0.6	7.0	0.6
無回答・判別不能	4	2	0.0	0.4	-	-
全体	142	526	100.0	100.0	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00000			

08 現在担任をもっていますか。担任をもっている場合、何年生の担任であるかについても教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経歴「あり」	民間企業等での勤務経歴「なし」	民間企業等での勤務経歴「あり」 N=142	民間企業等での勤務経歴「なし」 N=526
担任をもっている	52	206	36.6	39.2
副担任をもっている	43	163	30.3	31.0
担任をもっていない	47	157	33.1	29.8
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.74366	

【「担任を持っている」と回答した方にうかがいます】

08.担任 何年生の担任であるか教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経歴「あり」	民間企業等での勤務経歴「なし」	民間企業等での勤務経歴「あり」 N=52	民間企業等での勤務経歴「なし」 N=206
1年生	17	78	32.7	37.9
2年生	14	62	26.9	30.1
3年生	21	63	40.4	30.6
4年生	0	3	0.0	1.5
全体	52	206	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.48879	

【「副担任を持っている」と回答した方にうかがいます】

08.副担任 何年生の副担任であるか教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経歴「あり」	民間企業等での勤務経歴「なし」	民間企業等での勤務経歴「あり」 N=43	民間企業等での勤務経歴「なし」 N=163
1年生	19	54	44.2	33.1
2年生	9	55	20.9	33.7
3年生	15	53	34.9	32.5
4年生	0	1	0.0	0.6
全体	43	163	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.34859	

取得免許、試験、その他の経験について

09 あなたが公立の高等学校教員採用選考試験を経て採用された際に取得していた（授与された）教員免許の種類について、教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経歴「あり」	民間企業等での勤務経歴「なし」	民間企業等での勤務経歴「あり」 N=142	民間企業等での勤務経歴「なし」 N=526	有意差	p値
普通免許状（専修、一種）	140	525	98.6	99.8	*	0.05401
特別免許状	3	1	2.1	0.2	***	0.00841
臨時免許状	1	2	0.7	0.4	X	0.60838
全体	142	526	-	-		

【09で「普通免許状（専修、一種）」と回答した方にうかがいます】

010 「普通免許状」を取得したタイミングや方法はどのようなものですか。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経歴「あり」	民間企業等での勤務経歴「なし」	民間企業等での勤務経歴「あり」 N=140	民間企業等での勤務経歴「なし」 N=525	有意差	p値
高等学校等卒業直後の大学等在学中に取得	100	475	71.4	90.5	***	0.00000
大学等を卒業・修了後、大学等に再度入学し科目等履修生等として取得	27	38	19.3	7.2	***	0.00002
大学等を卒業・修了後、大学等に再度入学し通信制課程で取得	18	13	12.9	2.5	***	0.00000
大学等を卒業・修了後、教職特別課程で取得	9	34	6.4	6.5	X	0.98376
その他	13	12	9.3	2.3	***	0.00011
全体	140	525	-	-		

011 高等学校以外に保有している免許状の種類について、教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	有意差	p値
幼稚園教諭免許状	0	6	0.0	1.1	X	0.20109
小学校教諭免許状	14	72	9.9	13.7	X	0.22668
中学校教諭免許状	82	382	57.7	72.6	***	0.00064
特別支援学校教諭免許状	11	12	7.7	2.3	***	0.00153
養護教諭免許状	2	1	1.4	0.2	*	0.05401
栄養教諭免許状	0	0	0.0	0.0	-	-
高等学校教諭免許状のみ	53	139	37.3	26.4	**	0.01088
全体	142	526	-	-	-	-

012 高等学校について、あなたが保有する免許状の教科等を教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	有意差	p値
国語	18	70	12.7	13.3	X	0.84338
地理歴史	24	75	16.9	14.3	X	0.43155
公民	24	70	16.9	13.3	X	0.27451
数学	16	92	11.3	17.5	*	0.07388
理科	16	69	11.3	13.1	X	0.55713
音楽	0	10	0.0	1.9	*	0.09783
美術	1	3	0.7	0.6	X	0.85441
工芸	1	0	0.7	0.0	*	0.05409
書道	4	6	2.8	1.1	X	0.14439
保健体育	13	67	9.2	12.7	X	0.24328
保健	2	3	1.4	0.6	X	0.30385
看護	1	1	0.7	0.2	X	0.31973
看護実習	0	0	0.0	0.0	-	-
家庭	4	21	2.8	4.0	X	0.51254
家庭実習	0	1	0.0	0.2	X	0.60309
情報	11	43	7.7	8.2	X	0.86800
情報実習	0	0	0.0	0.0	-	-
農業	8	18	5.6	3.4	X	0.22658
農業実習	0	0	0.0	0.0	-	-
工業	23	25	16.2	4.8	***	0.00000
工業実習	1	1	0.7	0.2	X	0.31973
商業	12	44	8.5	8.4	X	0.97392
商業実習	0	0	0.0	0.0	-	-
水産	0	1	0.0	0.2	X	0.60309
水産実習	0	0	0.0	0.0	-	-
福祉	2	4	1.4	0.8	X	0.46768
福祉実習	0	0	0.0	0.0	-	-
商船	0	0	0.0	0.0	-	-
商船実習	0	0	0.0	0.0	-	-
職業指導	0	2	0.0	0.4	X	0.46179
外国語	17	67	12.0	12.7	X	0.80705
宗教	0	0	0.0	0.0	-	-
柔道	1	0	0.7	0.0	*	0.05409
剣道	1	0	0.7	0.0	*	0.05409
情報技術	1	0	0.7	0.0	*	0.05409
建築	1	1	0.7	0.2	X	0.31973
インテリア	0	0	0.0	0.0	-	-
デザイン	0	0	0.0	0.0	-	-
情報処理	0	0	0.0	0.0	-	-
計算実務	0	0	0.0	0.0	-	-
全体	142	526	-	-	-	-

013 あなたが現在高等学校において主に担当している教科を教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	有意差	p値
国語	16	65	11.3	12.4	X	0.72406
地理歴史	19	57	13.4	10.8	X	0.39694
公民	18	42	12.7	8.0	*	0.08275
数学	12	89	8.5	16.9	**	0.01242
理科	13	55	9.2	10.5	X	0.64905
保健体育	12	63	8.5	12.0	X	0.23754
芸術	3	18	2.1	3.4	X	0.42751
外国語	16	65	11.3	12.4	X	0.72406
家庭（共通教科）	3	17	2.1	3.2	X	0.48739
情報（共通教科）	1	17	0.7	3.2	*	0.09881
理数	0	2	0.0	0.4	X	0.46179
総合的な探求の時間	4	23	2.8	4.4	X	0.40354
農業	7	17	4.9	3.2	X	0.33477
工業	22	22	15.5	4.2	***	0.00000
商業	9	34	6.3	6.5	X	0.95676
水産	0	0	0.0	0.0	-	-
家庭（専門教科）	1	8	0.7	1.5	X	0.45382
看護	1	0	0.7	0.0	*	0.05409
情報（専門教科）	0	0	0.0	0.0	-	-
福祉	1	3	0.7	0.6	X	0.85441
その他	3	15	2.1	2.9	X	0.62937
全体	142	526	-	-	-	-

014 あなたが受験した採用選考試験で、最終的に教諭（本務者）としての採用が決まった際に適用されたものについて、教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	有意差	p値
一般選考	121	478	85.2	90.9	**	0.04911
社会人を対象とした特別の選考（民間企業等経験による特別の選考）	2	0	1.4	0.0	***	0.00641
教職経験による特別の選考	14	29	9.9	5.5	*	0.06114
英語の資格等による特別の選考	3	6	2.1	1.1	X	0.37266
スポーツ・芸術での技能や実績による特別の選考	1	4	0.7	0.8	X	0.94500
国際貢献活動経験による特別の選考	1	0	0.7	0.0	*	0.05409
複数免許状の所持による特別の選考	0	0	0.0	0.0	-	-
前年度試験での実績による特別の選考	4	10	2.8	1.9	X	0.49903
いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別の選考	0	0	0.0	0.0	-	-
大学推薦による特別の選考	0	3	0.0	0.6	X	0.36708
障害に配慮した特別の選考	0	0	0.0	0.0	-	-
上記以外の資格や実績・経験等による特別の選考	2	3	1.4	0.6	X	0.30385
その他	1	3	0.7	0.6	X	0.85441
全体	142	526	-	-	-	-

参考資料

015 あなたが教諭（本務者）として採用された年度に、あなたはいつの都道府県・市等の公立学校教員採用選考試験を受験しましたか。

	件数		割合		割合（除無回答等）	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
1つ	124	431	87.3	81.9	87.3	82.1
2つ	13	68	9.2	12.9	9.2	13.0
3つ	4	19	2.8	3.6	2.8	3.6
4つ	0	6	0.0	1.1	0.0	1.1
5つ	1	1	0.7	0.2	0.7	0.2
無回答・判別不能	0	1	0.0	0.2	-	-
全体	142	526	100.0	100.0	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差： X		p値： 0.34140			

016 あなたは教諭（本務者）として採用されるまで、何年度にわたって公立学校教員採用選考試験を受験しましたか。

	件数		割合		割合（除無回答等）	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	民間企業等での勤務経験「あり」 N=141	民間企業等での勤務経験「なし」 N=522
1年度	43	255	30.3	48.5	30.5	48.9
2年度	32	85	22.5	16.2	22.7	16.3
3年度	18	69	12.7	13.1	12.8	13.2
4～5年度	26	65	18.3	12.4	18.4	12.5
6年度以上	22	48	15.5	9.1	15.6	9.2
無回答・判別不能	1	4	0.7	0.8	-	-
全体	142	526	100.0	100.0	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差： ***		p値： 0.00116			

017 あなたは教諭（本務者）として採用されるまで、どのくらいの期間、公立学校教員採用選考試験に関する準備をされましたか。大学等在学期間中と大学等卒業・修了後のそれぞれについてお答えください。

017 ① 高等学校卒業直後の大学等在学期間中の準備期間

	件数		割合		割合（除無回答等）	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
0年 0か月	75	96	52.8	18.3	52.8	18.3
～1年以下	44	267	31.0	50.8	31.0	50.9
～2年以下	8	67	5.6	12.7	5.6	12.8
～3年以下	5	31	3.5	5.9	3.5	5.9
～4年以下	8	54	5.6	10.3	5.6	10.3
4年より長い	2	10	1.4	1.9	1.4	1.9
無回答・判別不能	0	1	0.0	0.2	-	-
全体	142	526	100.0	100.0	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差： ***		p値： 0.00000			

017 ② 大学等卒業・修了後の準備期間

	件数		割合		割合（除無回答等）	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
0年 0か月	25	246	17.6	46.8	17.6	46.9
～1年以下	47	106	33.1	20.2	33.1	20.2
～2年以下	29	65	20.4	12.4	20.4	12.4
～3年以下	11	37	7.7	7.0	7.7	7.0
～4年以下	7	23	4.9	4.4	4.9	4.4
4年より長い	23	48	16.2	9.1	16.2	9.1
無回答・判別不能	0	1	0.0	0.2	-	-
全体	142	526	100.0	100.0	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差： ***		p値： 0.00000			

018 あなたが、教員を志望した理由はどのようなことですか。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	有意差	p値
継続的なキャリアアップの機会が得られる	10	22	7.0	4.2	X	0.15679
確実な収入が得られる	34	152	23.9	28.9	X	0.24256
安定した職業である	56	230	39.4	43.7	X	0.35930
特定の地域で勤務できる	34	72	23.9	13.7	***	0.00300
大学等で学んだことが活かせる	48	219	33.8	41.6	*	0.09088
経験・技能等を活かせる	72	207	50.7	39.4	**	0.01495
やりがいがある	81	333	57.0	63.3	X	0.17231
子供や若者の成長に影響を与えられる	69	285	48.6	54.2	X	0.23620
社会的弱者の手助けができる	3	25	2.1	4.8	X	0.16358
社会に貢献できる	38	158	26.8	30.0	X	0.44657
その他	10	33	7.0	6.3	X	0.74055
全体	142	526	-	-		

019 あなたが、公立学校教員採用選考試験を受験するに当たり、次のようなことはどの程度課題と感じましたか。

①準備のための時間を確保することが難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
あてはまる	48	117	33.8	22.2
どちらかというにあてはまる	41	149	28.9	28.3
どちらかというにあてはまらない	21	133	14.8	25.3
あてはまらない	32	127	22.5	24.1
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差： ***		p値： 0.00920	

②希望する自治体の試験の日程調整が難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
あてはまる	10	53	7.0	10.1
どちらかというにあてはまる	28	70	19.7	13.3
どちらかというにあてはまらない	36	136	25.4	25.9
あてはまらない	68	267	47.9	50.8
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差： X		p値： 0.21971	

③筆記試験の内容が多岐にわたり対策が難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
あてはまる	38	89	26.8	16.9
どちらかというあてはまる	40	193	28.2	36.7
どちらかというあてはまらない	24	128	16.9	24.3
あてはまらない	40	116	28.2	22.1
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00577	

④学習指導要領や教育時事等、新しい内容の事について学ぶことが難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
あてはまる	33	99	23.2	18.8
どちらかというあてはまる	46	208	32.4	39.5
どちらかというあてはまらない	28	124	19.7	23.6
あてはまらない	35	95	24.6	18.1
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.12012	

⑤論文試験の対策が難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
あてはまる	17	64	12.0	12.2
どちらかというあてはまる	47	154	33.1	29.3
どちらかというあてはまらない	37	163	26.1	31.0
あてはまらない	41	145	28.9	27.6
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.67694	

⑥面接試験の対策が難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
あてはまる	20	66	14.1	12.5
どちらかというあてはまる	45	145	31.7	27.6
どちらかというあてはまらない	38	177	26.8	33.7
あてはまらない	39	138	27.5	26.2
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.45988	

⑦模擬授業・場面指導の対策が難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
あてはまる	22	81	15.5	15.4
どちらかというあてはまる	40	141	28.2	26.8
どちらかというあてはまらない	31	129	21.8	24.5
あてはまらない	49	175	34.5	33.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.92607	

⑧教員免許状を取得することが難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
あてはまる	9	10	6.3	1.9
どちらかというあてはまる	16	42	11.3	8.0
どちらかというあてはまらない	35	141	24.6	26.8
あてはまらない	82	333	57.7	63.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: **		p値: 0.01960	

020 公立学校教員採用選考試験に関し、あればよいと思う制度・充実したほうがよいと思う制度等があれば教えてください。(複数回答)

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526	有意差	p値
より広域での採用説明会の開催	17	56	12.0	10.6	X	0.65327
複数の時期での採用説明会の開催	18	65	12.7	12.4	X	0.91864
より広域での採用選考試験の実施	28	112	19.7	21.3	X	0.68250
複数の時期での採用選考試験の実施	33	165	23.2	31.4	*	0.05979
筆記試験等の結果をより重視した採用選考試験の実施	28	73	19.7	13.9	*	0.08475
面接等での人物評価をより重視した採用選考試験の実施	64	242	45.1	46.0	X	0.84234
資格や経験、実績等をより重視した採用選考試験の実施	53	156	37.3	29.7	*	0.08041
試験制度等全般に関する情報発信の充実	24	77	16.9	14.6	X	0.50422
その他	17	46	12.0	8.7	X	0.24305
特になし	20	85	14.1	16.2	X	0.54659
全体	142	526	-	-		

参考資料

Q21 あなたは、教科指導等に関し、現在次のようなことについてどの程度自信を持っていますか。

①担当教科等に関する知識と理解

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	46	130	32.4	24.7
どちらかという自信を持っている	77	305	54.2	58.0
どちらかという自信を持っていない	18	79	12.7	15.0
自信を持っていない	1	12	0.7	2.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.20090	

②担当教科等の指導法に関する能力

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	36	100	25.4	19.0
どちらかという自信を持っている	80	318	56.3	60.5
どちらかという自信を持っていない	22	93	15.5	17.7
自信を持っていない	4	15	2.8	2.9
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.41734	

③指導用のICT(情報通信技術)技能

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	18	48	12.7	9.1
どちらかという自信を持っている	57	210	40.1	39.9
どちらかという自信を持っていない	58	211	40.8	40.1
自信を持っていない	9	57	6.3	10.8
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.29178	

④教材の選定・作成をすること

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	27	92	19.0	17.5
どちらかという自信を持っている	93	312	65.5	59.3
どちらかという自信を持っていない	18	110	12.7	20.9
自信を持っていない	4	12	2.8	2.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.17609	

⑤課題・試験問題の作成をすること

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	30	103	21.1	19.6
どちらかという自信を持っている	85	318	59.9	60.5
どちらかという自信を持っていない	23	96	16.2	18.3
自信を持っていない	4	9	2.8	1.7
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.77513	

⑥「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	19	60	13.4	11.4
どちらかという自信を持っている	71	233	50.0	44.3
どちらかという自信を持っていない	46	203	32.4	38.6
自信を持っていない	6	30	4.2	5.7
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.42791	

⑦教科横断的なスキルの指導(例:創造性、批判的思考力、問題解決能力)

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	16	48	11.3	9.1
どちらかという自信を持っている	74	198	52.1	37.6
どちらかという自信を持っていない	45	252	31.7	47.9
自信を持っていない	7	28	4.9	5.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00478	

⑧指導内容を考え授業計画を立てること

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	25	91	17.6	17.3
どちらかという自信を持っている	85	328	59.9	62.4
どちらかという自信を持っていない	29	100	20.4	19.0
自信を持っていない	3	7	2.1	1.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.87537	

⑨ 生徒の評価方法に関する理解

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	14	58	9.9	11.0
どちらかという自信を持っている	72	273	50.7	51.9
どちらかという自信を持っていない	51	171	35.9	32.5
自信を持っていない	5	24	3.5	4.6
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.83936	

⑩ PDCAサイクルを意識した継続的な授業改善

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	13	47	9.2	8.9
どちらかという自信を持っている	71	230	50.0	43.7
どちらかという自信を持っていない	52	219	36.6	41.6
自信を持っていない	6	30	4.2	5.7
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.54602	

⑪ 個に応じた学習手法

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	23	81	16.2	15.4
どちらかという自信を持っている	70	274	49.3	52.1
どちらかという自信を持っていない	44	155	31.0	29.5
自信を持っていない	5	16	3.5	3.0
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.94360	

⑫ 特別な支援を要する生徒への指導

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
自信を持っている	22	51	15.5	9.7
どちらかという自信を持っている	51	190	35.9	36.1
どちらかという自信を持っていない	55	226	38.7	43.0
自信を持っていない	14	59	9.9	11.2
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.25036	

Q22 あなたは、授業実践、生徒指導等に関し、現在次のようなことについて、どの程度できていると思いますか。

① 生徒に勉強ができると自信を持たせる

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	24	62	16.9	11.8
どちらかというできている	86	344	60.6	65.4
どちらかというできていない	28	110	19.7	20.9
できていない	4	10	2.8	1.9
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.36144	

② 生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	24	59	16.9	11.2
どちらかというできている	88	334	62.0	63.5
どちらかというできていない	25	126	17.6	24.0
できていない	5	7	3.5	1.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: **		p値: 0.04750	

③ 生徒がわからない時には、別の説明の仕方を工夫する

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	44	155	31.0	29.5
どちらかというできている	88	337	62.0	64.1
どちらかというできていない	8	31	5.6	5.9
できていない	2	3	1.4	0.6
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.74677	

④ デジタル技術の利用によって生徒の学習を支援する（例：コンピュータ、タブレット、電子黒板）

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	20	63	14.1	12.0
どちらかというできている	52	208	36.6	39.5
どちらかというできていない	54	177	38.0	33.7
できていない	16	78	11.3	14.8
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.51776	

参考資料

⑤生徒一人一人の学習状況を把握し、学習指導につなげている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	20	53	14.1	10.1
どちらかというできている	70	310	49.3	58.9
どちらかというできていない	45	148	31.7	28.1
できていない	7	15	4.9	2.9
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.14320	

⑥学級内の秩序を保つ指導を行う

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	44	155	31.0	29.5
どちらかというできている	77	314	54.2	59.7
どちらかというできていない	20	49	14.1	9.3
できていない	1	8	0.7	1.5
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.29894	

⑦生徒同士のコミュニケーションを促す

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	38	121	26.8	23.0
どちらかというできている	74	316	52.1	60.1
どちらかというできていない	28	82	19.7	15.6
できていない	2	7	1.4	1.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.38548	

⑧十分な授業準備をする

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	27	98	19.0	18.6
どちらかというできている	73	257	51.4	48.9
どちらかというできていない	32	144	22.5	27.4
できていない	10	27	7.0	5.1
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.59634	

⑨熱意を持って取り組む

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	59	209	41.5	39.7
どちらかというできている	71	270	50.0	51.3
どちらかというできていない	8	34	5.6	6.5
できていない	4	13	2.8	2.5
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.95897	

⑩生徒をよく理解する

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	39	118	27.5	22.4
どちらかというできている	83	327	58.5	62.2
どちらかというできていない	17	74	12.0	14.1
できていない	3	7	2.1	1.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.51764	

⑪キャリア教育の観点から生徒に指導・助言をする

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
できている	52	99	36.6	18.8
どちらかというできている	76	304	53.5	57.8
どちらかというできていない	11	111	7.7	21.1
できていない	3	12	2.1	2.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00001	

Q23 以下のことは、あなたにどの程度あてはまりますか。

①指導や学習についての新しいアイデアを進展させる努力をしている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	38	106	26.8	20.2
あてはまる	89	340	62.7	64.6
あてはまらない	13	76	9.2	14.4
まったくあてはまらない	2	4	1.4	0.8
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.15726	

②専門性を高めるための研修会等に参加する

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	24	70	16.9	13.3
あてはまる	61	211	43.0	40.1
あてはまらない	49	195	34.5	37.1
まったくあてはまらない	8	50	5.6	9.5
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.33664	

③同僚等と授業に関して相談や情報交換をする

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	37	113	26.1	21.5
あてはまる	84	318	59.2	60.5
あてはまらない	19	81	13.4	15.4
まったくあてはまらない	2	14	1.4	2.7
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.54978	

④教員としての仕事に使命感・責任感を有している

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	65	194	45.8	36.9
あてはまる	68	296	47.9	56.3
あてはまらない	7	30	4.9	5.7
まったくあてはまらない	2	6	1.4	1.1
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.27118	

⑤広い教養・常識を有している

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	35	76	24.6	14.4
あてはまる	85	325	59.9	61.8
あてはまらない	19	118	13.4	22.4
まったくあてはまらない	3	7	2.1	1.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00741	

⑥協調性・コミュニケーション能力を有している

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	43	148	30.3	28.1
あてはまる	82	321	57.7	61.0
あてはまらない	14	53	9.9	10.1
まったくあてはまらない	3	4	2.1	0.8
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.50573	

⑦他の教職員と積極的に関わりながら学校の中での役割を果たしている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	37	153	26.1	29.1
あてはまる	82	317	57.7	60.3
あてはまらない	19	49	13.4	9.3
まったくあてはまらない	4	7	2.8	1.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.28454	

⑧保護者や地域と連携・協働して良好な関係を築いている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	27	100	19.0	19.0
あてはまる	85	334	59.9	63.5
あてはまらない	26	85	18.3	16.2
まったくあてはまらない	4	7	2.8	1.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.56276	

⑨関係機関と連携・協働して課題対応等に取り組んでいる

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	26	68	18.3	12.9
あてはまる	80	312	56.3	59.3
あてはまらない	31	128	21.8	24.3
まったくあてはまらない	5	18	3.5	3.4
全体	142	526	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.42875	

参考資料

⑩学校事故等の危機を予測した未然防止や危機を察知した際の迅速な対応を意識して行動している

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	34	92	23.9	17.5
あてはまる	92	374	64.8	71.1
あてはまらない	14	52	9.9	9.9
まったくあてはまらない	2	8	1.4	1.5
全体	142	526	100.0	100.0
χ^2 検定結果	有意差: X		p値: 0.37392	

024 以下のことは、あなたにどの程度あてはまりますか。

①今の仕事にやりがいを感じている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	47	175	33.1	33.3
あてはまる	82	294	57.7	55.9
あてはまらない	11	42	7.7	8.0
まったくあてはまらない	2	15	1.4	2.9
全体	142	526	100.0	100.0
χ^2 検定結果	有意差: X		p値: 0.80309	

②今の仕事を通じて成長できている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	41	162	28.9	30.8
あてはまる	84	312	59.2	59.3
あてはまらない	13	40	9.2	7.6
まったくあてはまらない	4	12	2.8	2.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ^2 検定結果	有意差: X		p値: 0.89426	

③今の仕事で自分の能力を十分に発揮できている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	28	119	19.7	22.6
あてはまる	84	317	59.2	60.3
あてはまらない	26	78	18.3	14.8
まったくあてはまらない	4	12	2.8	2.3
全体	142	526	100.0	100.0
χ^2 検定結果	有意差: X		p値: 0.69246	

④全体としてみれば、この仕事に満足している

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=142	民間企業等での勤務経験「なし」 N=526
非常によくあてはまる	41	151	28.9	28.7
あてはまる	86	311	60.6	59.1
あてはまらない	9	47	6.3	8.9
まったくあてはまらない	6	17	4.2	3.2
全体	142	526	100.0	100.0
χ^2 検定結果	有意差: X		p値: 0.73859	

(3) 教員としての通算勤務年数が10年以下、民間企業等勤務経験の有無別の集計表

あなた自身のことについて

01 あなたの勤務している学校の都道府県を選んでください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
北海道	7	33	18.4	21.7
埼玉県	27	89	71.1	58.6
和歌山県	4	30	10.5	19.7
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.30492	

02 あなたの性別について、あてはまるものを選んでください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
男性	26	108	68.4	71.1
女性	12	42	31.6	27.6
答えたくない	0	2	0.0	1.3
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.70592	

03 あなたの年齢について、教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
20代	1	96	2.6	63.2
30代	29	54	76.3	35.5
40代	8	2	21.1	1.3
50代	0	0	0.0	0.0
60代	0	0	0.0	0.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: -		p値: -	

04 あなたの最終学歴について、教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
大学学部	27	121	71.1	79.6
大学院修士課程・大学院博士前期課程・専門職大学院（例：教職大学院）	9	31	23.7	20.4
大学院博士後期課程	1	0	2.6	0.0
その他	1	0	2.6	0.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: **		p値: 0.03771	

05 あなたが卒業・修了した大学等の学部・学科について、教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152	有意差	p値
教員養成系学部、研究科	6	37	15.8	24.3	X	0.25977
教員養成系以外の教育学系の学部、研究科	4	14	10.5	9.2	X	0.80434
教員養成系・教育学系以外の学部、研究科	31	105	81.6	69.1	X	0.12650
全体	38	152	-	-	-	-

06 あなたの勤務経験について、下記の①～⑤のそれぞれについて教えてください。

06 ① 教員としての通算勤務年数

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
5年以下	15	73	39.5	48.0
～10年以下	23	79	60.5	52.0
～20年以下	0	0	0.0	0.0
～30年以下	0	0	0.0	0.0
30年より長い	0	0	0.0	0.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: -		p値: -	

06 ② 上記①のうち、公立学校の教諭（本務者）としての通算勤務年数

	件数		割合		割合（除無回答等）	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152	民間企業等での勤務経験「あり」 N=37	民間企業等での勤務経験「なし」 N=149
5年以下	18	95	47.4	62.5	48.6	63.8
～10年以下	19	54	50.0	35.5	51.4	36.2
～20年以下	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
～30年以下	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
30年より長い	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答・判別不能	1	3	2.6	2.0	-	-
全体	38	152	100.0	100.0	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: -		p値: -			

06 ③ 教員以外の他の仕事での勤務年数

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
0年	0	127	0.0	83.6
～1年以下	2	8	5.3	5.3
～3年以下	14	8	36.8	5.3
～5年以下	5	6	13.2	3.9
5年より長い	17	3	44.7	2.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00000	

参考資料

06 ④ 上記③のうち、「民間企業社員・団体職員」での勤務年数

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
0年	1	152	2.6	100.0
～1年以下	3	0	7.9	0.0
～3年以下	15	0	39.5	0.0
～5年以下	7	0	18.4	0.0
5年より長い	12	0	31.6	0.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00000	

06 ⑤ 上記③のうち、「公務員」としての勤務年数

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
0年	34	152	89.5	100.0
～1年以下	2	0	5.3	0.0
～3年以下	0	0	0.0	0.0
～5年以下	1	0	2.6	0.0
5年より長い	1	0	2.6	0.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: -		p値: -	

07 あなたが公立の高等学校の教諭（本務者）として最初に働き始めたときの年齢について、教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
20代	18	143	47.4	94.1
30代	18	9	47.4	5.9
40歳以上	2	0	5.3	0.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00000	

08 現在担任をもっていますか。担任をもっている場合、何年生の担任であるかについても教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
担任をもっている	21	91	55.3	59.9
副担任をもっている	12	48	31.6	31.6
担任をもっていない	5	13	13.2	8.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.67370	

【「担任を持っている」と回答した方にかかいます】

08_担任 何年生の担任であるか教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=21	民間企業等での勤務経験「なし」 N=91
1年生	7	36	33.3	39.6
2年生	6	28	28.6	30.8
3年生	8	24	38.1	26.4
4年生	0	3	0.0	3.3
全体	21	91	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.63420	

【「副担任を持っている」と回答した方にかかいます】

08_副担任 何年生の副担任であるか教えてください。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=12	民間企業等での勤務経験「なし」 N=48
1年生	4	24	33.3	50.0
2年生	3	15	25.0	31.3
3年生	5	9	41.7	18.8
4年生	0	0	0.0	0.0
全体	12	48	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: -		p値: -	

取得免許、試験、その他の経験について

09 あなたが公立の高等学校教員採用選考試験を経て採用された際に取得していた（授与された）教員免許の種類について、教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152	有意差	p値
普通免許状（専修、一種）	37	151	97.4	99.3	X	0.28629
特別免許状	1	1	2.6	0.7	X	0.28629
臨時免許状	1	1	2.6	0.7	X	0.28629
全体	38	152	-	-		

【09で「普通免許状（専修、一種）」と回答した方にかかいます】

010 「普通免許状」を取得したタイミングや方法はどのようなものですか。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=37	民間企業等での勤務経験「なし」 N=151	有意差	p値
高等学校等卒業直後の大学等在学中に取得	25	135	67.6	89.4	***	0.00083
大学等を卒業・修了後、大学等に再度入学し科目等履修生等として取得	6	13	16.2	8.6	X	0.16888
大学等を卒業・修了後、大学等に再度入学し通信制課程で取得	5	2	13.5	1.3	***	0.00045
大学等を卒業・修了後、教職特別課程で取得	3	6	8.1	4.0	X	0.29109
その他	1	2	2.7	1.3	X	0.54880
全体	37	151	-	-		

Q11 高等学校以外に保有している免許状の種類について、教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152	有意差	p値
幼稚園教諭免許状	0	1	0.0	0.7	X	0.61615
小学校教諭免許状	2	23	5.3	15.1	X	0.10748
中学校教諭免許状	25	115	65.8	75.7	X	0.21660
特別支援学校教諭免許状	1	2	2.6	1.3	X	0.56059
養護教諭免許状	0	0	0.0	0.0	-	-
栄養教諭免許状	0	0	0.0	0.0	-	-
高等学校教諭免許状のみ	12	37	31.6	24.3	X	0.36173
全体	38	152	-	-	-	-

Q12 高等学校について、あなたが保有する免許状の教科等を教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152	有意差	p値
国語	9	20	23.7	13.2	X	0.10657
地理歴史	6	24	15.8	15.8	-	1.00000
公民	7	20	18.4	13.2	X	0.40591
数学	2	25	5.3	16.4	*	0.07738
理科	5	28	13.2	18.4	X	0.44368
音楽	0	2	0.0	1.3	X	0.47717
美術	0	1	0.0	0.7	X	0.61615
工芸	0	0	0.0	0.0	-	-
書道	1	2	2.6	1.3	X	0.56059
保健体育	2	20	5.3	13.2	X	0.17371
保健	0	0	0.0	0.0	-	-
看護	0	0	0.0	0.0	-	-
看護実習	0	0	0.0	0.0	-	-
家庭	1	5	2.6	3.3	X	0.83568
家庭実習	0	1	0.0	0.7	X	0.61615
情報	0	5	0.0	3.3	X	0.25720
情報実習	0	0	0.0	0.0	-	-
農業	1	7	2.6	4.6	X	0.58791
農業実習	0	0	0.0	0.0	-	-
工業	4	4	10.5	2.6	**	0.03020
工業実習	0	1	0.0	0.7	X	0.61615
商業	1	4	2.6	2.6	-	1.00000
商業実習	0	0	0.0	0.0	-	-
水産	0	0	0.0	0.0	-	-
水産実習	0	0	0.0	0.0	-	-
福祉	0	1	0.0	0.7	X	0.61615
福祉実習	0	0	0.0	0.0	-	-
商船	0	0	0.0	0.0	-	-
商船実習	0	0	0.0	0.0	-	-
職業指導	0	0	0.0	0.0	-	-
外国語	8	21	21.1	13.8	X	0.26721
宗教	0	0	0.0	0.0	-	-
柔道	0	0	0.0	0.0	-	-
剣道	0	0	0.0	0.0	-	-
情報技術	0	0	0.0	0.0	-	-
建築	0	0	0.0	0.0	-	-
インテリア	0	0	0.0	0.0	-	-
デザイン	0	0	0.0	0.0	-	-
情報処理	0	0	0.0	0.0	-	-
計算実務	0	0	0.0	0.0	-	-
全体	38	152	-	-	-	-

Q13 あなたが現在高等学校において主に担当している教科を教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152	有意差	p値
国語	9	20	23.7	13.2	X	0.10657
地理歴史	5	20	13.2	13.2	-	1.00000
公民	4	15	10.5	9.9	X	0.90376
数学	2	25	5.3	16.4	*	0.07738
理科	4	23	10.5	15.1	X	0.46709
保健体育	2	20	5.3	13.2	X	0.17371
芸術	0	5	0.0	3.3	X	0.25720
外国語	8	21	21.1	13.8	X	0.26721
家庭（共通教科）	1	4	2.6	2.6	-	1.00000
情報（共通教科）	0	0	0.0	0.0	-	-
理数	0	1	0.0	0.7	X	0.61615
総合的な探求の時間	1	12	2.6	7.9	X	0.25038
農業	1	6	2.6	3.9	X	0.70014
工業	4	4	10.5	2.6	**	0.03020
商業	1	4	2.6	2.6	-	1.00000
水産	0	0	0.0	0.0	-	-
家庭（専門教科）	0	4	0.0	2.6	X	0.31216
看護	0	0	0.0	0.0	-	-
情報（専門教科）	0	0	0.0	0.0	-	-
福祉	0	1	0.0	0.7	X	0.61615
その他	0	0	0.0	0.0	-	-
全体	38	152	-	-	-	-

Q14 あなたが受験した採用選考試験で、最終的に教諭（本務者）としての採用が決まった際に適用されたものについて、教えてください。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152	有意差	p値
一般選考	28	125	73.7	82.2	X	0.23373
社会人を対象とした特別の選考（民間企業等経験による特別の選考）	2	0	5.3	0.0	***	0.00446
教職経験による特別の選考	5	17	13.2	11.2	X	0.73378
英語の資格等による特別の選考	3	3	7.9	2.0	*	0.06193
スポーツ・芸術での技能や実績による特別の選考	0	2	0.0	1.3	X	0.47717
国際貢献活動経験による特別の選考	1	0	2.6	0.0	**	0.04493
複数免許状の所持による特別の選考	0	0	0.0	0.0	-	-
前年度試験での実績による特別の選考	1	7	2.6	4.6	X	0.58791
いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別の選考	0	0	0.0	0.0	-	-
大学推薦による特別の選考	0	2	0.0	1.3	X	0.47717
障害に配慮した特別の選考	0	0	0.0	0.0	-	-
上記以外の資格や実績・経験等による特別の選考	0	1	0.0	0.7	X	0.61615
その他	0	1	0.0	0.7	X	0.61615
全体	38	152	-	-	-	-

参考資料

015 あなたが教諭（本務者）として採用された年度に、あなたはいくつの都道府県・市等の公立学校教員採用選考試験を受験しましたか。

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
1つ	32	132	84.2	86.8
2つ	4	18	10.5	11.8
3つ	2	2	5.3	1.3
4つ	0	0	0.0	0.0
5つ	0	0	0.0	0.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差:	-	p値:	-

016 あなたは教諭（本務者）として採用されるまで、何年度にわたって公立学校教員採用選考試験を受験しましたか。

	件数		割合		割合（除無回答等）	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=151
1年度	15	73	39.5	48.0	39.5	48.3
2年度	6	20	15.8	13.2	15.8	13.2
3年度	5	21	13.2	13.8	13.2	13.9
4～5年度	7	24	18.4	15.8	18.4	15.9
6年度以上	5	13	13.2	8.6	13.2	8.6
無回答・判別不能	0	1	0.0	0.7	-	-
全体	38	152	100.0	100.0	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差:	X	p値:	0.83614		

017 あなたは教諭（本務者）として採用されるまで、どのくらいの期間、公立学校教員採用選考試験に関する準備をされましたか。大学等在学期間中と大学等卒業・修了後のそれぞれについてお答えください。

017 ① 高等学校等卒業直後の大学等在学期間中の準備期間

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
0年 0か月	21	28	55.3	18.4
～1年以下	10	79	26.3	52.0
～2年以下	4	23	10.5	15.1
～3年以下	1	9	2.6	5.9
～4年以下	2	10	5.3	6.6
4年より長い	0	3	0.0	2.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差:	***	p値:	0.00048

017 ② 大学等卒業・修了後の準備期間

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
0年 0か月	5	66	13.2	43.4
～1年以下	15	35	39.5	23.0
～2年以下	6	17	15.8	11.2
～3年以下	2	15	5.3	9.9
～4年以下	1	7	2.6	4.6
4年より長い	9	12	23.7	7.9
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差:	***	p値:	0.00195

018 あなたが、教員を志望した理由はどのようなことですか。（複数回答）

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152	有意差	p値
継続的なキャリアアップの機会が得られる	2	6	5.3	3.9	X	0.71792
確実な収入が得られる	11	57	28.9	37.5	X	0.32527
安定した職業である	16	76	42.1	50.0	X	0.38375
特定の地域で勤務できる	8	23	21.1	15.1	X	0.37696
大学等で学んだことが活かせる	11	57	28.9	37.5	X	0.32527
経験・技能等を活かせる	25	61	65.8	40.1	***	0.00448
やりがいがある	20	92	52.6	60.5	X	0.37624
子供や若者の成長に影響を与えられる	24	84	63.2	55.3	X	0.37949
社会的弱者の手助けができる	1	9	2.6	5.9	X	0.41666
社会に貢献できる	12	44	31.6	28.9	X	0.75030
その他	2	7	5.3	4.6	X	0.86441
全体	38	152	-	-		

019 あなたが、公立学校教員採用選考試験を受験するに当たり、次のようなことはどの程度課題と感じましたか。

①準備のための時間を確保することが難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
あてはまる	14	37	36.8	24.3
どちらかというあてはまる	13	36	34.2	23.7
どちらかというあてはまらない	1	35	2.6	23.0
あてはまらない	10	44	26.3	28.9
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差:	**	p値:	0.02013

②希望する自治体の試験の日程調整が難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
あてはまる	3	18	7.9	11.8
どちらかというあてはまる	10	18	26.3	11.8
どちらかというあてはまらない	7	37	18.4	24.3
あてはまらない	18	79	47.4	52.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差:	X	p値:	0.14875

③筆記試験の内容が多岐にわたり対策が難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
あてはまる	12	32	31.6	21.1
どちらかというにあてはまる	8	47	21.1	30.9
どちらかというにあてはまらない	3	35	7.9	23.0
あてはまらない	15	38	39.5	25.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: **		p値: 0.04129	

④学習指導要領や教育時事等、新しい内容の事について学ぶことが難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
あてはまる	8	36	21.1	23.7
どちらかというにあてはまる	14	54	36.8	35.5
どちらかというにあてはまらない	4	35	10.5	23.0
あてはまらない	12	27	31.6	17.8
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.15460	

⑤論文試験の対策が難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
あてはまる	5	26	13.2	17.1
どちらかというにあてはまる	11	40	28.9	26.3
どちらかというにあてはまらない	7	42	18.4	27.6
あてはまらない	15	44	39.5	28.9
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.48375	

⑥面接試験の対策が難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
あてはまる	5	28	13.2	18.4
どちらかというにあてはまる	10	34	26.3	22.4
どちらかというにあてはまらない	8	49	21.1	32.2
あてはまらない	15	41	39.5	27.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.31198	

⑦模擬授業・場面指導の対策が難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
あてはまる	6	34	15.8	22.4
どちらかというにあてはまる	12	34	31.6	22.4
どちらかというにあてはまらない	5	39	13.2	25.7
あてはまらない	15	45	39.5	29.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.19688	

⑧教員免許状を取得することが難しい

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
あてはまる	1	3	2.6	2.0
どちらかというにあてはまる	5	11	13.2	7.2
どちらかというにあてはまらない	10	27	26.3	17.8
あてはまらない	22	111	57.9	73.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.32541	

Q20 公立学校教員採用選考試験に関し、あればよいと思う制度・充実したほうがよいと思う制度等があれば教えてください。(複数回答)

	件数		割合		χ ² 検定結果	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152	有意差	p値
より広域での採用説明会の開催	5	11	13.2	7.2	X	0.23976
複数の時期での採用説明会の開催	6	14	15.8	9.2	X	0.23722
より広域での採用選考試験の実施	6	31	15.8	20.4	X	0.52139
複数の時期での採用選考試験の実施	4	49	10.5	32.2	***	0.00761
筆記試験等の結果をより重視した採用選考試験の実施	6	35	15.8	23.0	X	0.33207
面接等での人物評価をより重視した採用選考試験の実施	20	67	52.6	44.1	X	0.34390
資格や経験、実績等をより重視した採用選考試験の実施	11	30	28.9	19.7	X	0.21702
試験制度等全般に関する情報発信の充実	3	11	7.9	7.2	X	0.88957
その他	3	16	7.9	10.5	X	0.62863
特になし	8	29	21.1	19.1	X	0.78347
全体	38	152	-	-		

参考資料

Q21 あなたは、教科指導等に関し、現在次のようなことについてどの程度自信を持っていますか。

①担当教科等に関する知識と理解

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	11	29	28.9	19.1
どちらかという自信を持っている	22	80	57.9	52.6
どちらかという自信を持っていない	4	36	10.5	23.7
自信を持っていない	1	7	2.6	4.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.22660	

②担当教科等の指導法に関する能力

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	9	22	23.7	14.5
どちらかという自信を持っている	20	77	52.6	50.7
どちらかという自信を持っていない	7	46	18.4	30.3
自信を持っていない	2	7	5.3	4.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.36762	

③指導用のICT(情報通信技術)技能

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	6	13	15.8	8.6
どちらかという自信を持っている	16	74	42.1	48.7
どちらかという自信を持っていない	14	52	36.8	34.2
自信を持っていない	2	13	5.3	8.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.50355	

④教材の選定・作成をすること

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	8	19	21.1	12.5
どちらかという自信を持っている	23	68	60.5	44.7
どちらかという自信を持っていない	4	58	10.5	38.2
自信を持っていない	3	7	7.9	4.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: **		p値: 0.01236	

⑤課題・試験問題の作成をすること

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	6	22	15.8	14.5
どちらかという自信を持っている	20	75	52.6	49.3
どちらかという自信を持っていない	10	52	26.3	34.2
自信を持っていない	2	3	5.3	2.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.58661	

⑥「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	8	17	21.1	11.2
どちらかという自信を持っている	17	60	44.7	39.5
どちらかという自信を持っていない	11	68	28.9	44.7
自信を持っていない	2	7	5.3	4.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.23003	

⑦教科横断的なスキルの指導(例:創造性、批判的思考力、問題解決能力)

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	6	11	15.8	7.2
どちらかという自信を持っている	17	55	44.7	36.2
どちらかという自信を持っていない	11	71	28.9	46.7
自信を持っていない	4	15	10.5	9.9
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.15060	

⑧指導内容を考え授業計画を立てること

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	7	18	18.4	11.8
どちらかという自信を持っている	22	82	57.9	53.9
どちらかという自信を持っていない	8	47	21.1	30.9
自信を持っていない	1	5	2.6	3.3
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.54168	

⑨ 生徒の評価方法に関する理解

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	3	13	7.9	8.6
どちらかという自信を持っている	15	59	39.5	38.8
どちらかという自信を持っていない	18	65	47.4	42.8
自信を持っていない	2	15	5.3	9.9
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.82852	

⑩ PDCAサイクルを意識した継続的な授業改善

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	3	15	7.9	9.9
どちらかという自信を持っている	21	63	55.3	41.4
どちらかという自信を持っていない	12	65	31.6	42.8
自信を持っていない	2	9	5.3	5.9
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.49391	

⑪ 個に応じた学習手法

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	9	26	23.7	17.1
どちらかという自信を持っている	15	64	39.5	42.1
どちらかという自信を持っていない	12	57	31.6	37.5
自信を持っていない	2	5	5.3	3.3
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.71027	

⑫ 特別な支援を要する生徒への指導

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
自信を持っている	9	15	23.7	9.9
どちらかという自信を持っている	11	50	28.9	32.9
どちらかという自信を持っていない	14	66	36.8	43.4
自信を持っていない	4	21	10.5	13.8
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.15086	

Q22 あなたは、授業実践、生徒指導等に関し、現在次のようなことについて、どの程度できていると思いますか。

① 生徒に勉強ができる自信を持たせる

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	7	17	18.4	11.2
どちらかというできている	20	80	52.6	52.6
どちらかというできていない	9	52	23.7	34.2
できていない	2	3	5.3	2.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.31311	

② 生徒が学習の価値を見いだせるよう手助けする

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	9	17	23.7	11.2
どちらかというできている	21	82	55.3	53.9
どちらかというできていない	6	52	15.8	34.2
できていない	2	1	5.3	0.7
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: **		p値: 0.01204	

③ 生徒がわからない時には、別の説明の仕方を工夫する

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	14	46	36.8	30.3
どちらかというできている	20	95	52.6	62.5
どちらかというできていない	3	10	7.9	6.6
できていない	1	1	2.6	0.7
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.55035	

④ デジタル技術の利用によって生徒の学習を支援する（例：コンピュータ、タブレット、電子黒板）

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	12	28	31.6	18.4
どちらかというできている	11	70	28.9	46.1
どちらかというできていない	12	33	31.6	21.7
できていない	3	21	7.9	13.8
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: *		p値: 0.08282	

参考資料

⑤生徒一人一人の学習状況を把握し、学習指導につなげている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	6	13	15.8	8.6
どちらかというできている	14	81	36.8	53.3
どちらかというできていない	15	52	39.5	34.2
できていない	3	6	7.9	3.9
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.21447	

⑥学級内の秩序を保つ指導を行う

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	15	41	39.5	27.0
どちらかというできている	17	84	44.7	55.3
どちらかというできていない	6	22	15.8	14.5
できていない	0	5	0.0	3.3
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.31677	

⑦生徒同士のコミュニケーションを促す

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	14	46	36.8	30.3
どちらかというできている	14	75	36.8	49.3
どちらかというできていない	9	28	23.7	18.4
できていない	1	3	2.6	2.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.58798	

⑧十分な授業準備をする

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	7	31	18.4	20.4
どちらかというできている	20	68	52.6	44.7
どちらかというできていない	10	43	26.3	28.3
できていない	1	10	2.6	6.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.72227	

⑨熱意を持って取り組む

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	18	65	47.4	42.8
どちらかというできている	18	73	47.4	48.0
どちらかというできていない	1	10	2.6	6.6
できていない	1	4	2.6	2.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.80887	

⑩生徒をよく理解する

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	9	41	23.7	27.0
どちらかというできている	26	88	68.4	57.9
どちらかというできていない	2	21	5.3	13.8
できていない	1	2	2.6	1.3
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.41425	

⑪キャリア教育の観点から生徒に指導・助言をする

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
できている	17	24	44.7	15.8
どちらかというできている	18	71	47.4	46.7
どちらかというできていない	2	53	5.3	34.9
できていない	1	4	2.6	2.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00010	

Q23 以下のことは、あなたにどの程度あてはまりますか。

①指導や学習についての新しいアイデアを進展させる努力をしている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	11	37	28.9	24.3
あてはまる	22	92	57.9	60.5
あてはまらない	3	22	7.9	14.5
まったくあてはまらない	2	1	5.3	0.7
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.14640	

②専門性を高めるための研修会等に参加する

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	8	25	21.1	16.4
あてはまる	16	59	42.1	38.8
あてはまらない	9	54	23.7	35.5
まったくあてはまらない	5	14	13.2	9.2
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.52921	

③同僚等と授業に関して相談や情報交換をする

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	16	44	42.1	28.9
あてはまる	17	79	44.7	52.0
あてはまらない	3	26	7.9	17.1
まったくあてはまらない	2	3	5.3	2.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.17764	

④教員としての仕事に使命感・責任感を有している

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	22	61	57.9	40.1
あてはまる	12	78	31.6	51.3
あてはまらない	4	12	10.5	7.9
まったくあてはまらない	0	1	0.0	0.7
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.15801	

⑤広い教養・常識を有している

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	12	18	31.6	11.8
あてはまる	20	90	52.6	59.2
あてはまらない	4	40	10.5	26.3
まったくあてはまらない	2	4	5.3	2.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: ***		p値: 0.00862	

⑥協調性・コミュニケーション能力を有している

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	13	46	34.2	30.3
あてはまる	21	88	55.3	57.9
あてはまらない	2	18	5.3	11.8
まったくあてはまらない	2	0	5.3	0.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: **		p値: 0.02399	

⑦他の教職員と積極的に関わりながら学校の中での役割を果たしている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	12	48	31.6	31.6
あてはまる	18	86	47.4	56.6
あてはまらない	6	17	15.8	11.2
まったくあてはまらない	2	1	5.3	0.7
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.16553	

⑧保護者や地域と連携・協働して良好な関係を築いている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	8	26	21.1	17.1
あてはまる	18	95	47.4	62.5
あてはまらない	9	30	23.7	19.7
まったくあてはまらない	3	1	7.9	0.7
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: **		p値: 0.02640	

⑨関係機関と連携・協働して課題対応等に取り組んでいる

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	9	18	23.7	11.8
あてはまる	19	84	50.0	55.3
あてはまらない	8	45	21.1	29.6
まったくあてはまらない	2	5	5.3	3.3
全体	38	152	100.0	100.0
χ ² 検定結果	有意差: X		p値: 0.23336	

参考資料

⑩学校事故等の危機を予測した未然防止や危機を察知した際の迅速な対応を意識して行動している

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	11	17	28.9	11.2
あてはまる	22	113	57.9	74.3
あてはまらない	5	19	13.2	12.5
まったくあてはまらない	0	3	0.0	2.0
全体	38	152	100.0	100.0
χ^2 検定結果	有意差: **		p値: 0.03797	

024 以下のことは、あなたにどの程度あてはまりますか。

①今の仕事にやりがいを感じている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	8	53	21.1	34.9
あてはまる	25	79	65.8	52.0
あてはまらない	4	16	10.5	10.5
まったくあてはまらない	1	4	2.6	2.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ^2 検定結果	有意差: X		p値: 0.41251	

②今の仕事を通じて成長できている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	8	57	21.1	37.5
あてはまる	24	78	63.2	51.3
あてはまらない	4	13	10.5	8.6
まったくあてはまらない	2	4	5.3	2.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ^2 検定結果	有意差: X		p値: 0.26179	

③今の仕事で自分の能力を十分に発揮できている

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	8	38	21.1	25.0
あてはまる	22	84	57.9	55.3
あてはまらない	5	26	13.2	17.1
まったくあてはまらない	3	4	7.9	2.6
全体	38	152	100.0	100.0
χ^2 検定結果	有意差: X		p値: 0.42195	

④全体としてみれば、この仕事に満足している

	件数		割合	
	民間企業等での勤務経験「あり」	民間企業等での勤務経験「なし」	民間企業等での勤務経験「あり」 N=38	民間企業等での勤務経験「なし」 N=152
非常によくあてはまる	9	47	23.7	30.9
あてはまる	26	77	68.4	50.7
あてはまらない	1	23	2.6	15.1
まったくあてはまらない	2	5	5.3	3.3
全体	38	152	100.0	100.0
χ^2 検定結果	有意差: *		p値: 0.09404	